

IIXIL

ビューステージ S style
本体 面材

* M A M 6 5 G *

取付説明書

- この度は、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付け説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付け説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味



警告

- 取付けを誤った場合に、使用者などが死亡または重傷を負う危険が想定されます。



注意

- 取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。

一般情報に関する記号



ポイント

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付け説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- 取付け説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。



補足

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<施工の前に>



警告

- ・床面・格子に、足がかりになるものを設置しないでください。転落するおそれがあります。



注意

- 製品破損による人への被害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。
 - ・ボルト、ねじは弊社純正品の規定本数を使い、下記締付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。
 - φ4ねじ：2.5N・m ± 0.5N・m (25±5kgf・cm)
 - φ5ねじ：3N・m ± 0.5N・m (30±5kgf・cm)
 - M6ボルト：5.2N・m ± 0.5N・m (52±5kgf・cm)
 - M8ボルト：12.5N・m ± 0.5N・m (125±5kgf・cm)
 - ・製品の改造は絶対にしないでください。

<施工上のご注意>



注意

- 漏水のおそれがありますので、下記事項をお守りください。
 - ・指定の個所（特に接続部）にシーリング材を充てんしてください。
 - ・外壁の上から部材を取付ける場合は、シーリング材を下穴に充てんしてからねじ止めしてください。
 - ・シリコン系シーリング材を使用する場合は、当社指定の脱アルコール型シーリング材を使用してください。

シーリング材メーカー	品名および品番
信越化学工業（株）	シーラント72
モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン（合）	トスシール380
ダウ・東レ（株）	SE960

<施工上のお願い>

補足

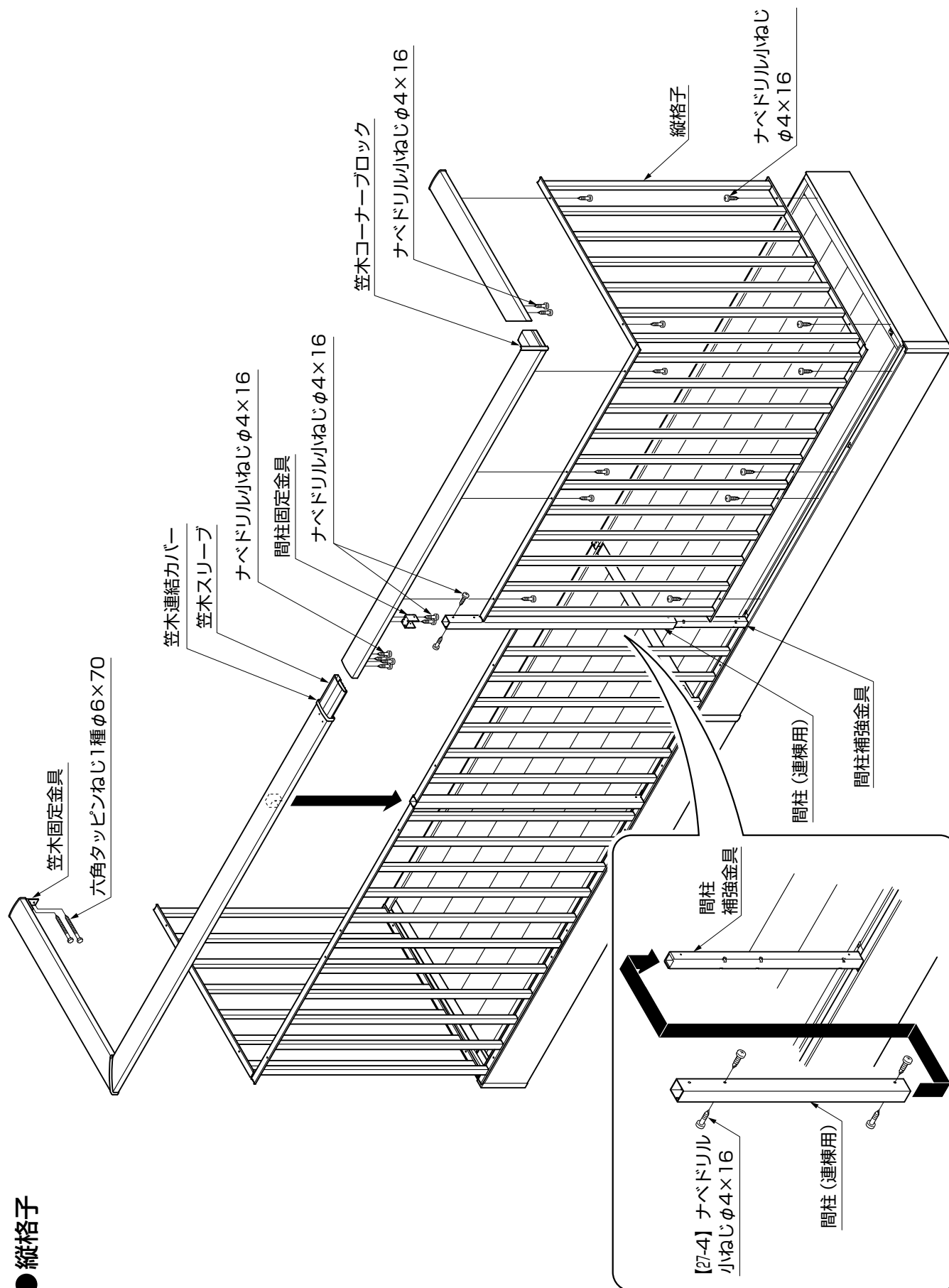
- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付け説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付け説明書にしたがってください。
- 取付け説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- 施工工事にあたっては、安全に施工を行ってください。
 - ・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、耳、手、足の保護具）を正しく使用してください。
 - ・作業場所の整理整頓を行うとともに、安全確保を行ってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行ってください。
 - ・作業者が相互に安全確認を行ってください。健康状態を十分確認し、健康管理を実施してください。
 - ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行い、救助を第一に心がけてください。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。
- サイディングパネルの取付けおよび注意事項は、サイディングメーカー様の施工要領書にしたがってください。
- サイディングのねじ止めの際は、必ずサイディングパネルに下穴（φ4.5）をあけてください。
- ねじは斜めに打たないでください。
- ねじ止めは、サイディングパネルの上・中・下に1ヵ所ずつ、各種柱のピッチごとに取付けてください。
- サイディングパネルを連結する際には、移動柱が2本取付けていることを確認し、必ず端部より25mm以上確保して固定してください。

INDEX

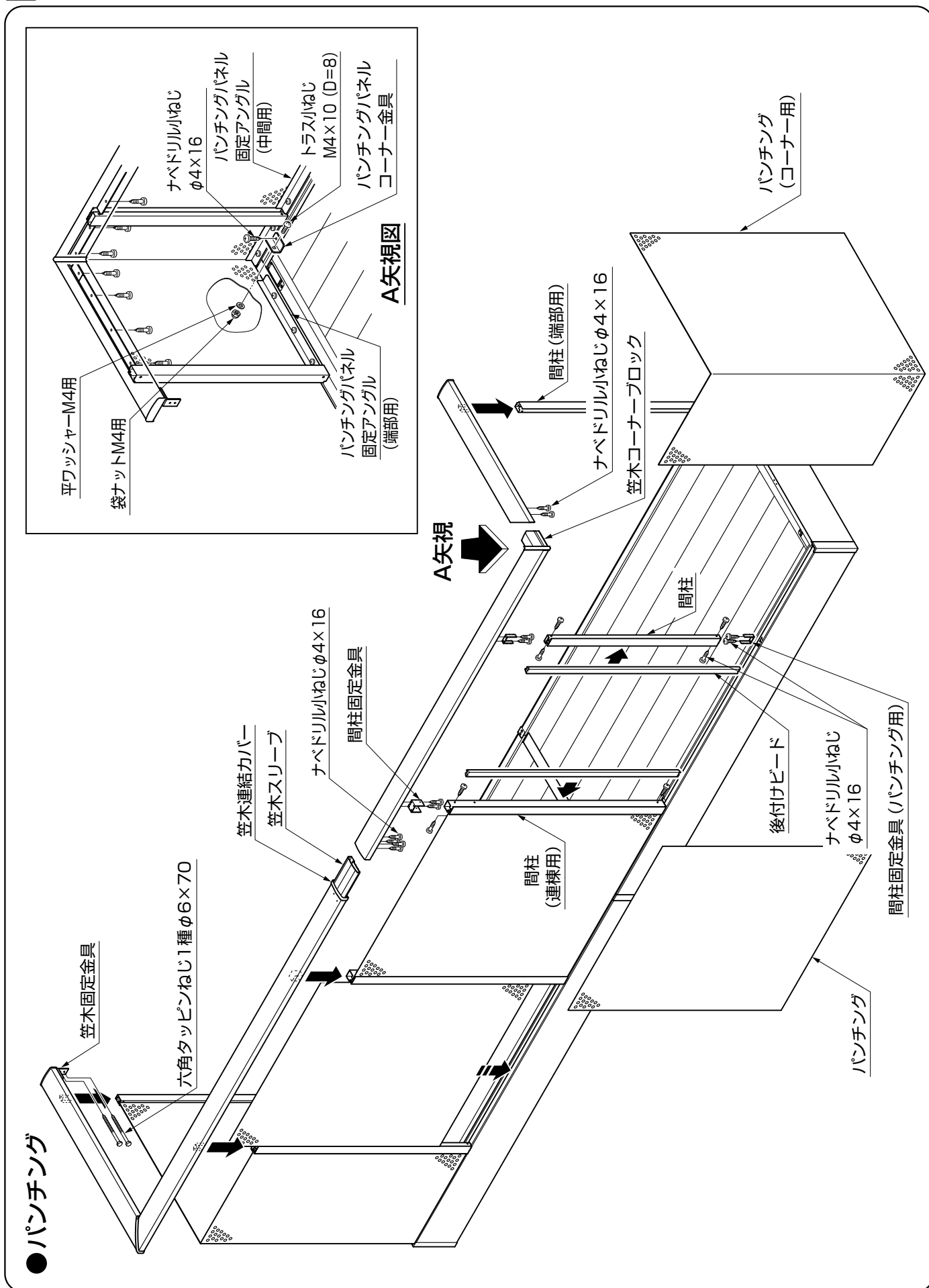
1 構造説明図	3
2 施工の流れ	12
3 取付け前の確認事項	14
4 面材の施工	16
■縦格子の取付け	16
■パンチングパネルの取付け	18
■パネル、パネルマットの取付け	22
■横格子面材、横格子ルーバーの取付け	26
■フレームレスの取付け	30
■縦スリット・横スリット・縦化粧格子・横化粧格子の取付け	34
■サイディングの取付け	38
■サイディング/パンチングパネルの取付け	44
5 戸袋逃げ柱の施工	48
6 足掛かり防止ネットの施工	50
7 納まり図	52

1 構造説明図 ※図は連棟タイプを示します。

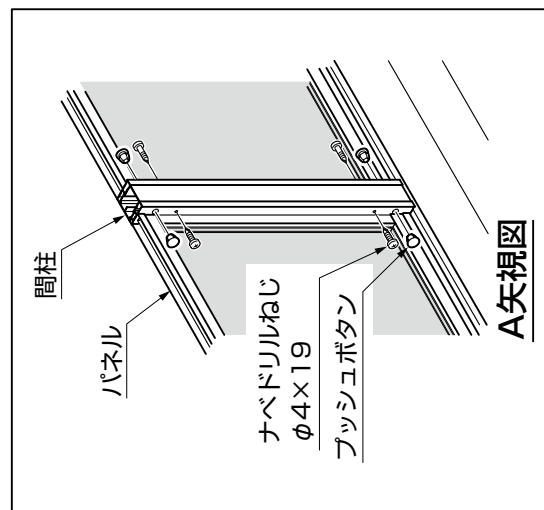
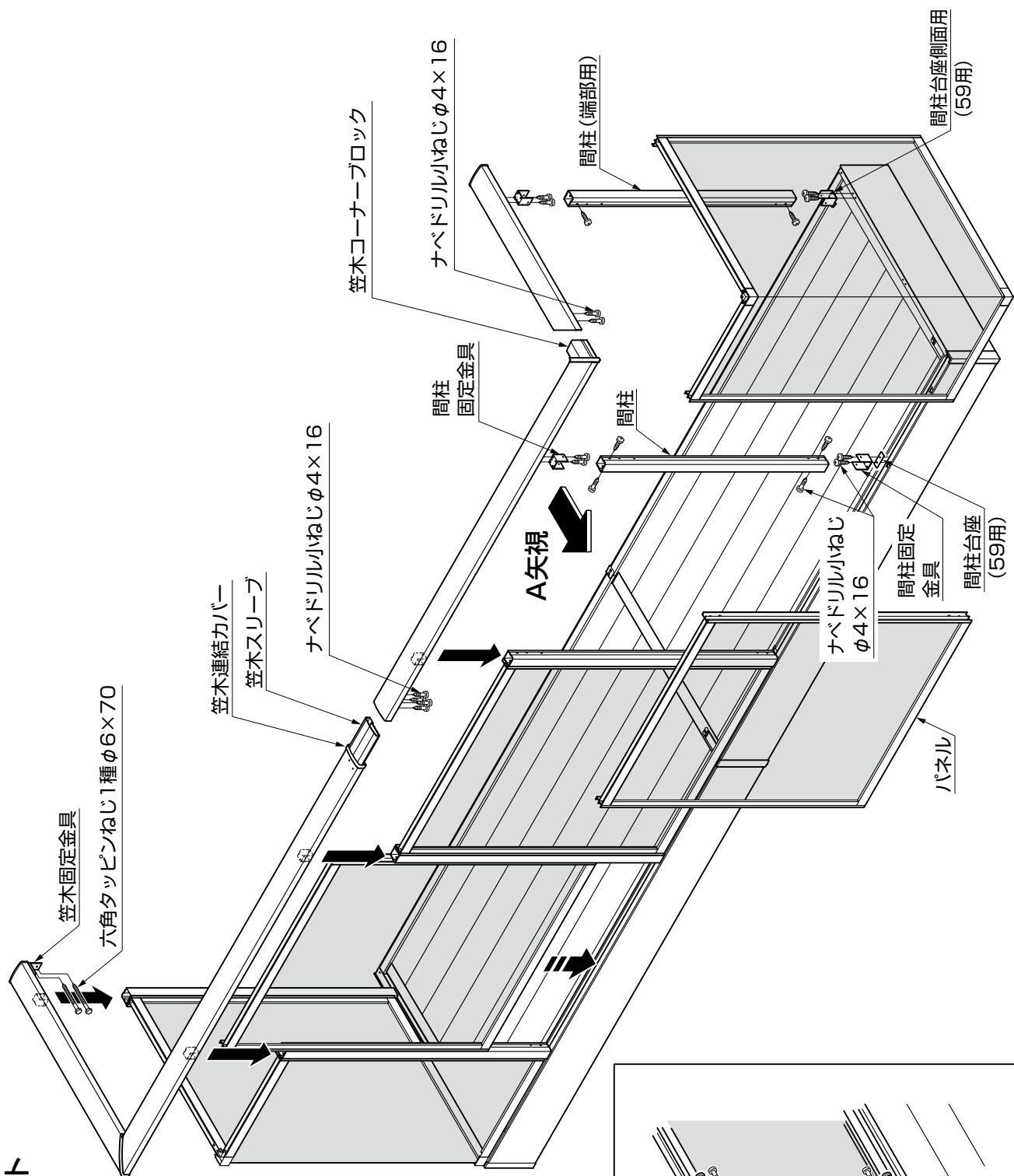
●縦格子



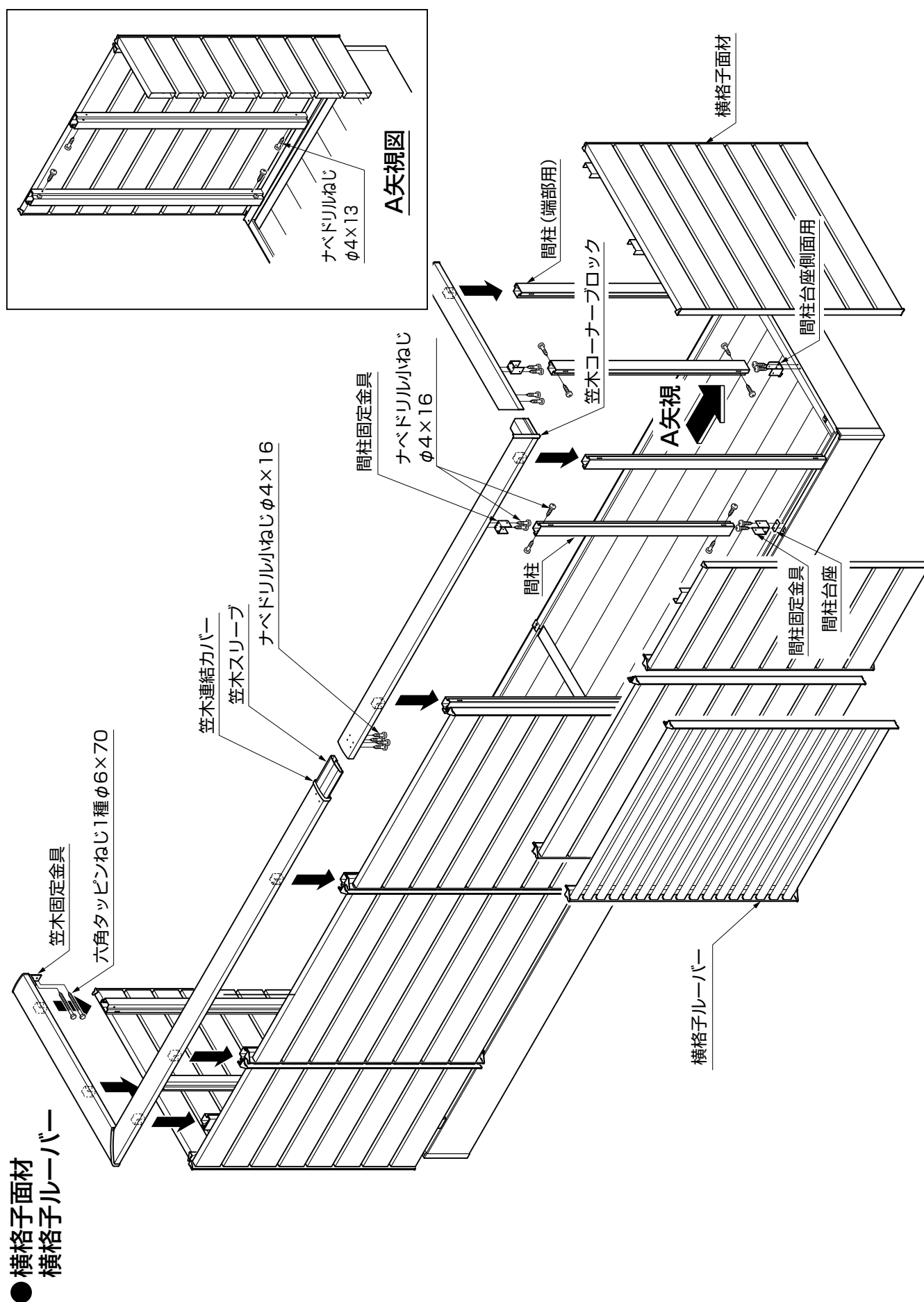
1 構造説明図 (つづき)



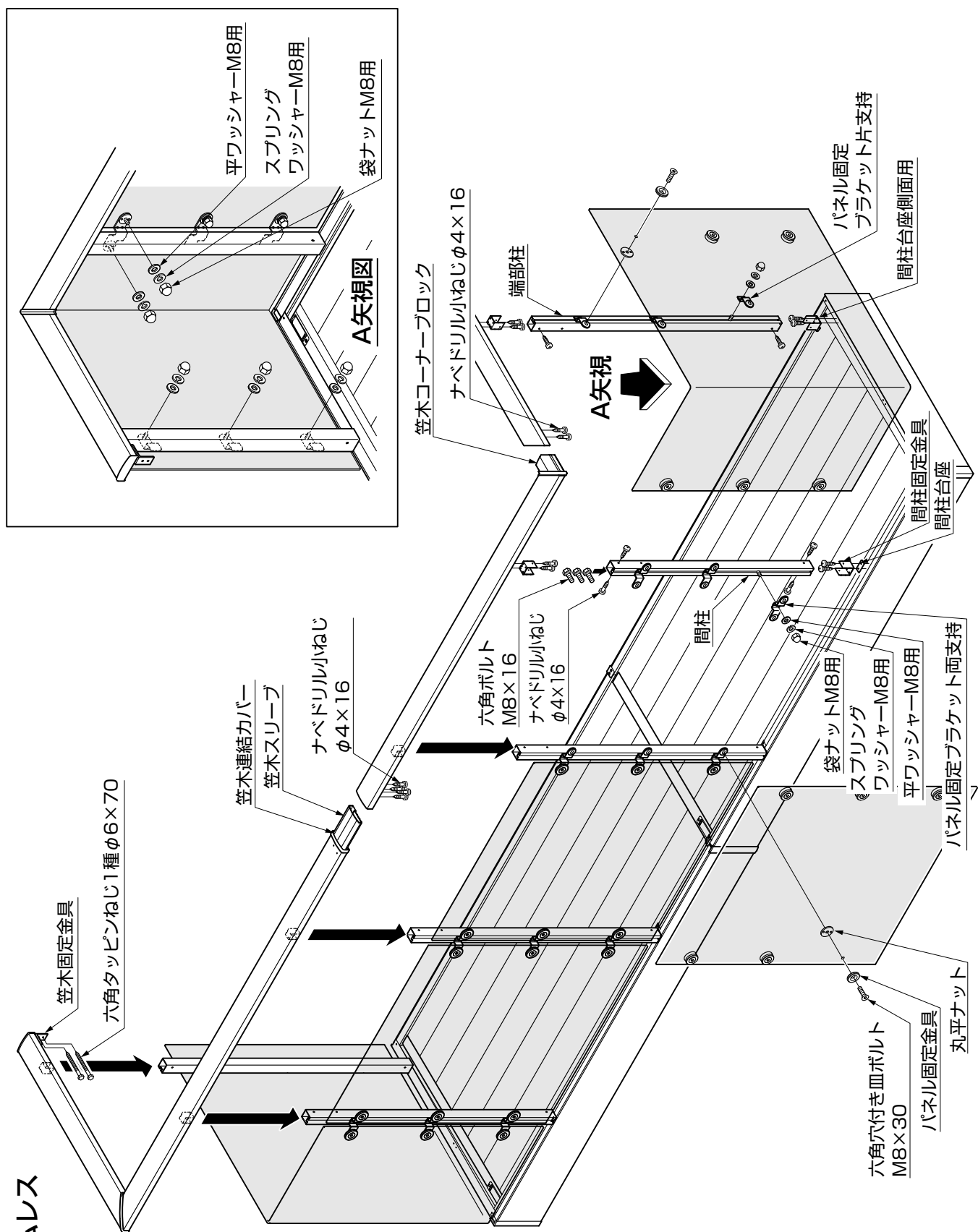
● パネル・パネルマット



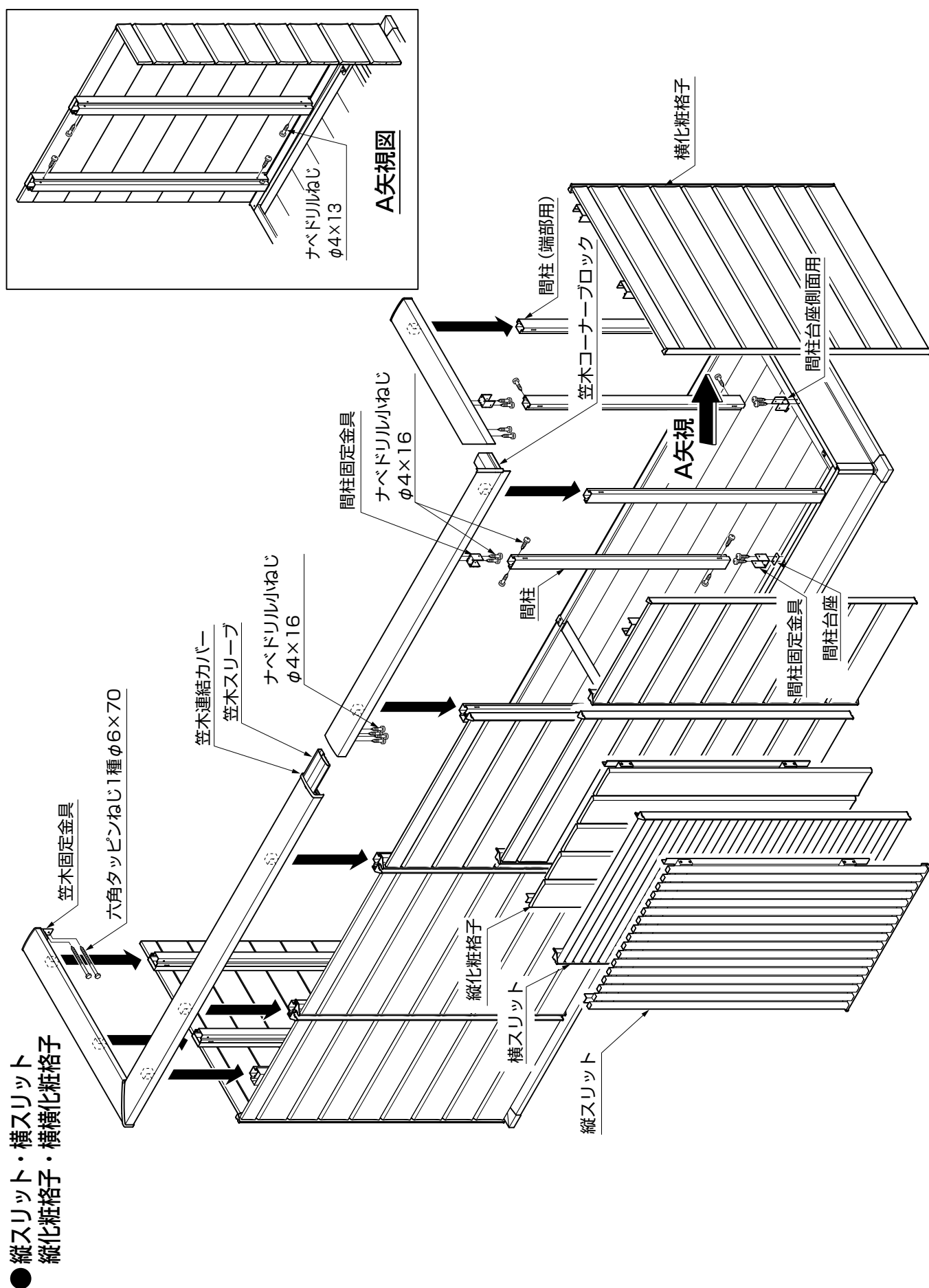
1 構造説明図（つづき）



●フレームレス



1 構造説明図 (つづき)



メモページ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

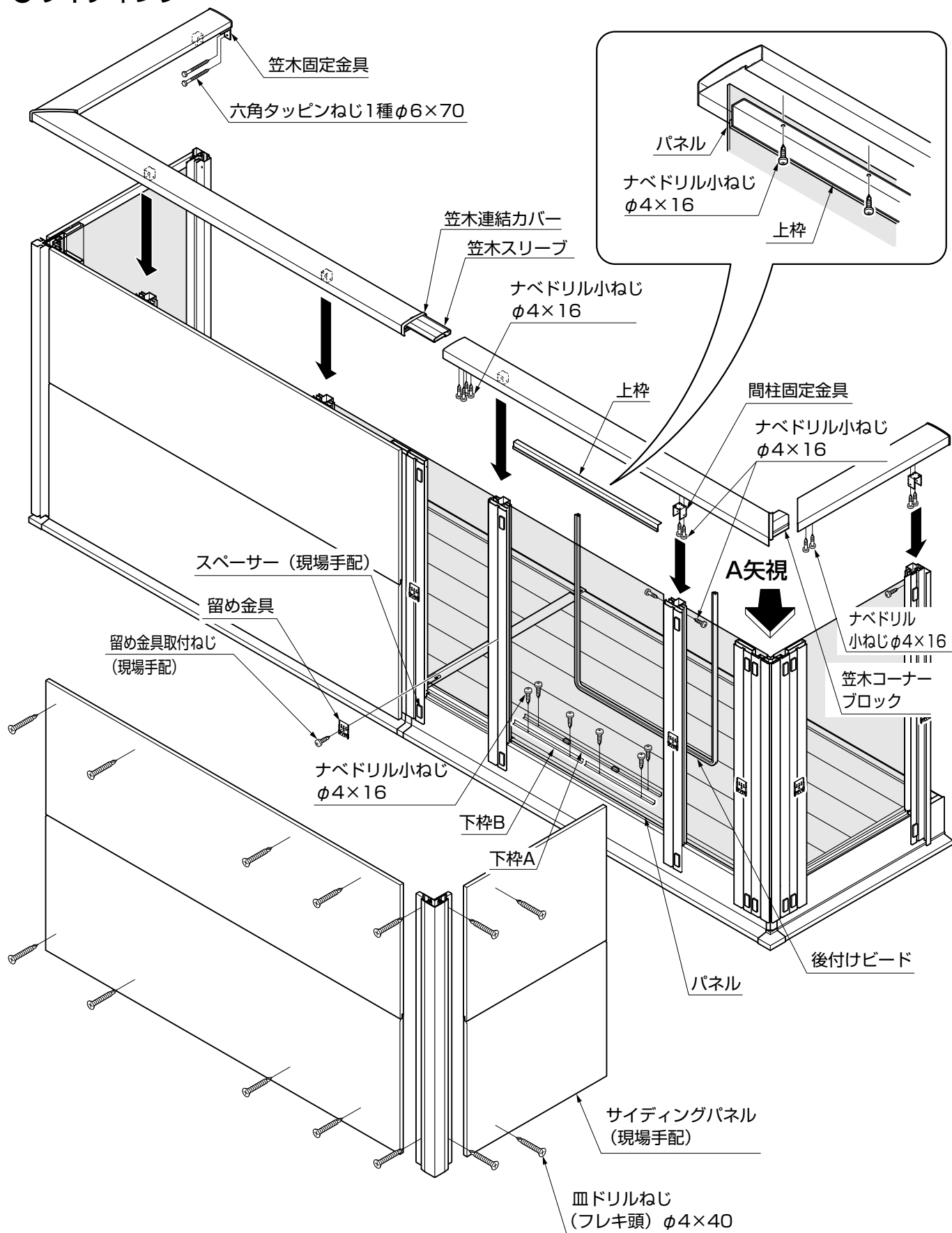
.....

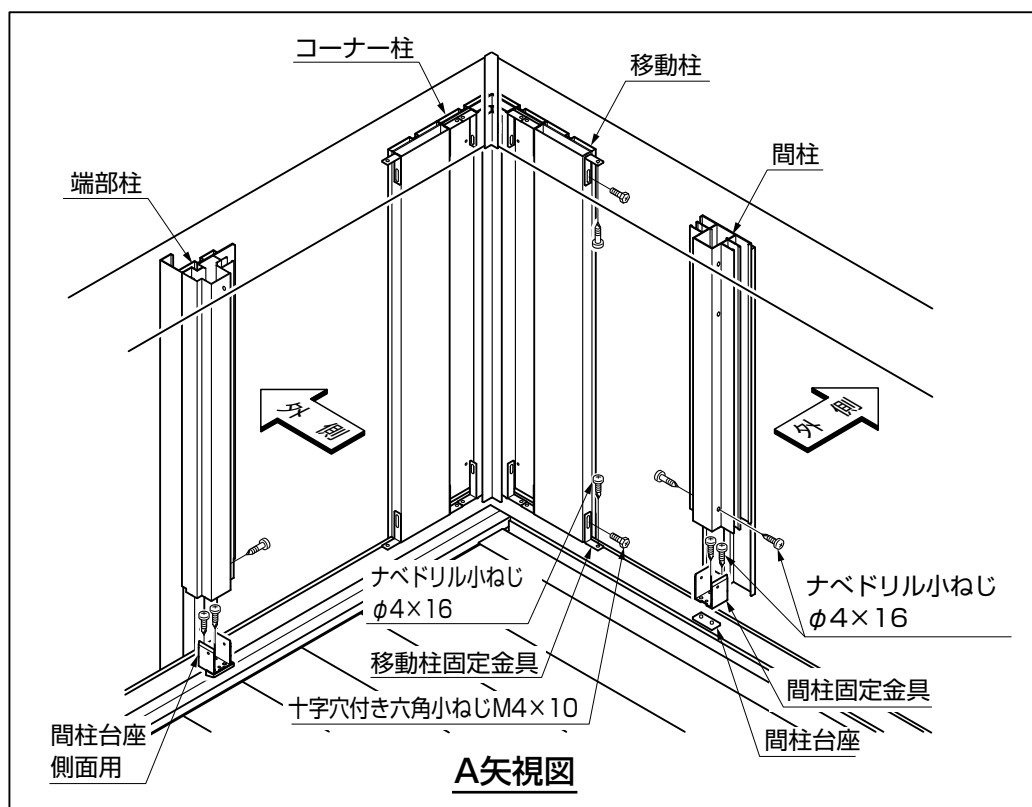
.....

.....

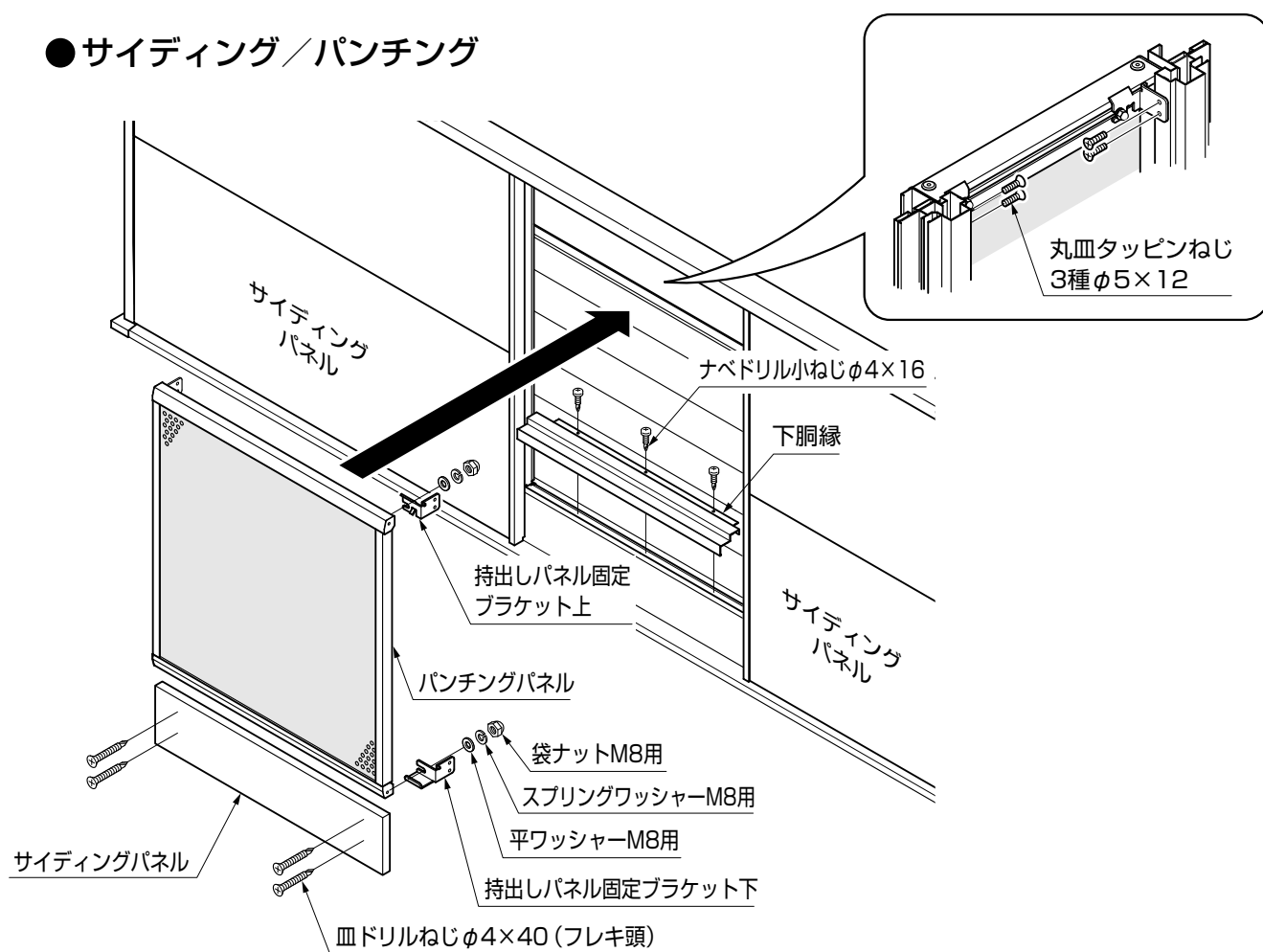
1 構造説明図 (つづき)

●サイディング



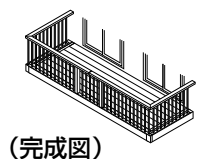


●サイディング／パンチング



2 施工の流れ ※取付ける面材の種類、納まり、施工形態を確認してください。

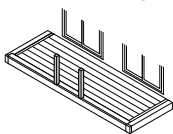
縦格子



(完成図)

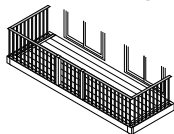
間柱の取付け

P.16~



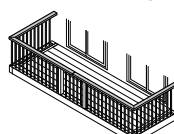
面材の取付け

P.16~

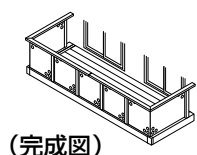


笠木の取付け

P.16~



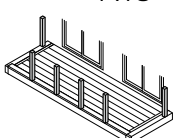
パンチングパネル



(完成図)

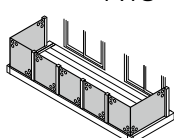
柱の取付け

P.18~



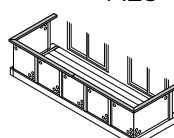
面材の取付け

P.18~



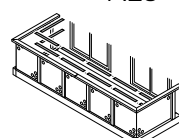
笠木の取付け

P.20~

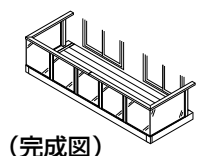


固定アングルの取付け

P.20~



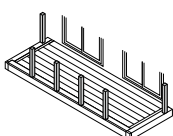
パネル



(完成図)

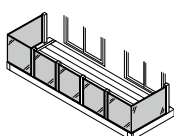
柱の取付け

P.22~



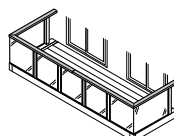
面材の取付け

P.22~

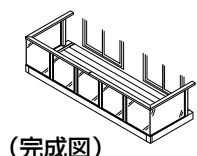


笠木の取付け

P.24~



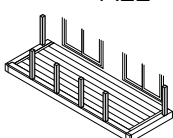
パネルマット



(完成図)

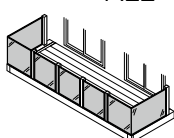
柱の取付け

P.22~



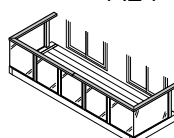
面材の取付け

P.22~

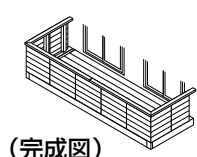


笠木の取付け

P.24~



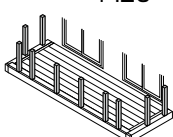
横格子面材



(完成図)

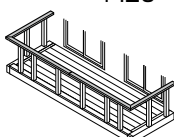
柱の取付け

P.26~



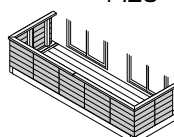
笠木の取付け

P.26~

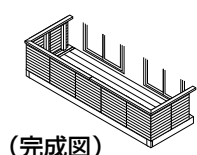


面材の取付け

P.28~



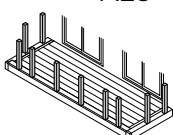
横格子ルーバー



(完成図)

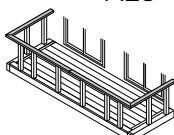
柱の取付け

P.26~



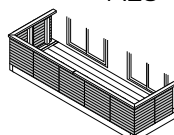
笠木の取付け

P.26~

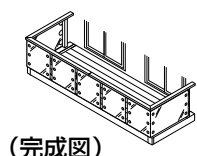


面材の取付け

P.28~



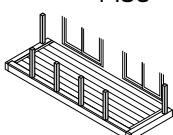
フレームレス



(完成図)

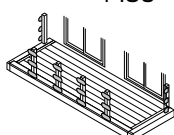
柱の取付け

P.30~



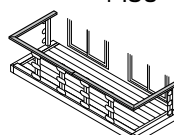
固定ブラケットの取付け

P.30~



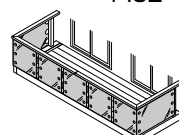
笠木の取付け

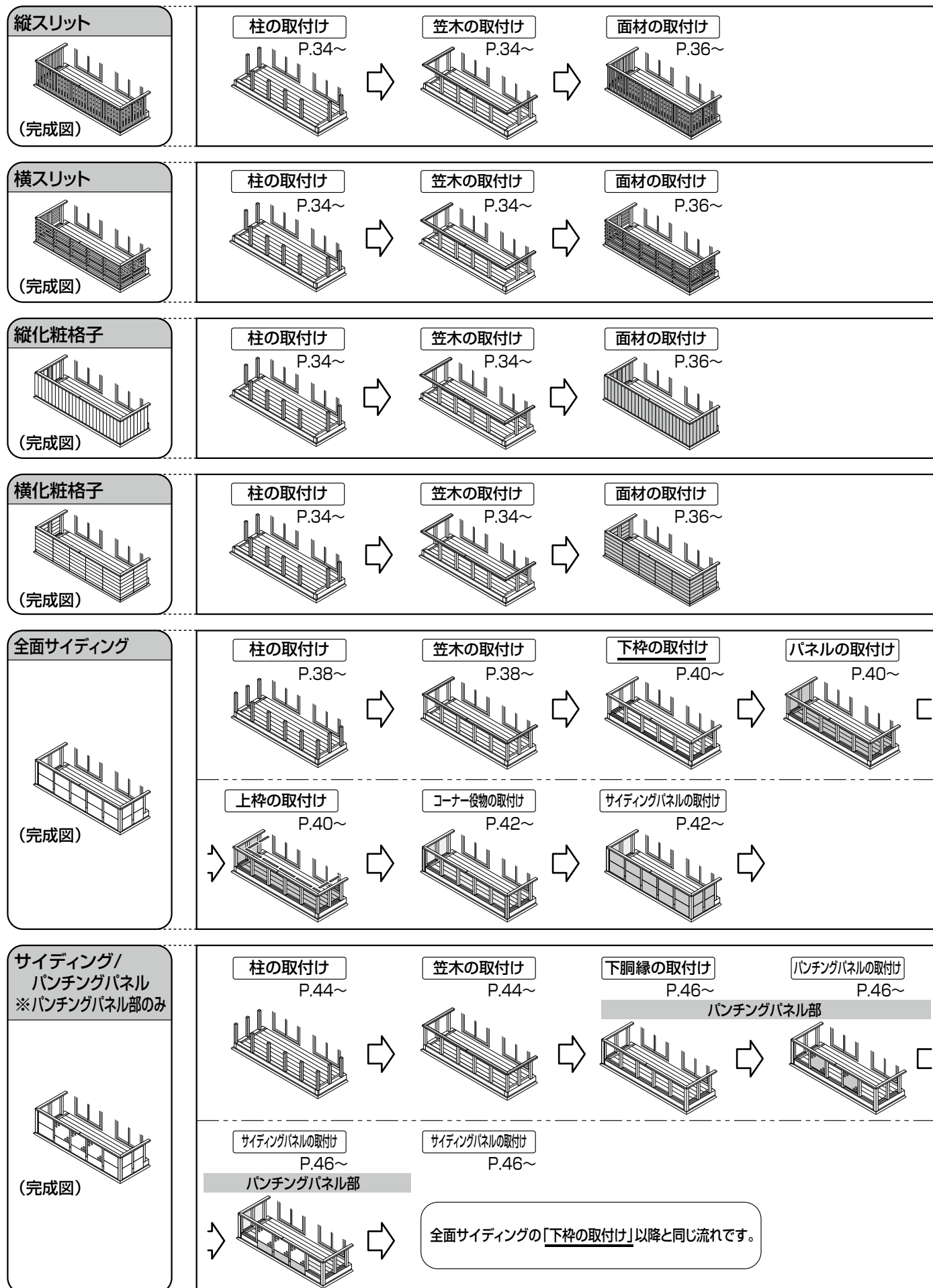
P.30~



面材の取付け

P.32~





3 取付け前の確認事項

1 サイディング施工時の現場手配品について

○サイディング：金属または窯業サイディング



表3-1 バルコニー寸法表

	L寸法				D寸法					H寸法
	1.0間 (2000)	1.5間 (3000)	2.0間 (4000)	2.5間通し (5000)	2R	3R	4R	5R	6R	
関東間	1820	2730	3640	4550						
九州四国間	1910	2865	3820	4775	585	885	1185	1485	1785	1233
メーター	2000	3000	4000	5000						

※A=62+s+t

※B=22+s+t

t：サイディング厚さ

s：金具止め施工：5

ねじ止め施工：0

※H寸法はサイディングを取付ける高さを示します。

①表3-1を参考にサイディング必要枚数を手配してください。

金属サイディング：厚さ20mmまで取付け可能。

窯業サイディング：厚さ18mm、重さ18kg/㎡まで取付け可能。

○コーナー役物

①コーナー部、連結部に使用する役物を手配してください。

○留め金具、スペーサー ※金具止め施工の場合のみ

ポイント

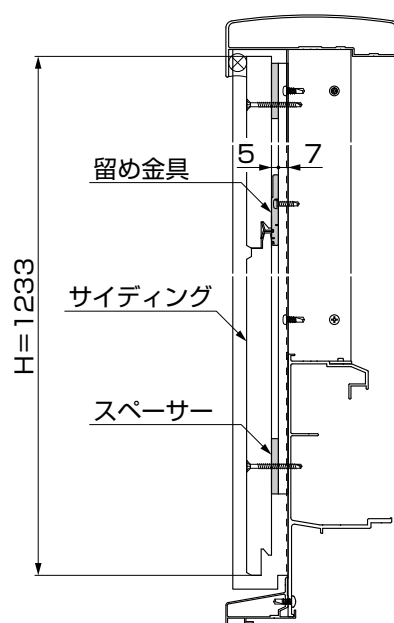


図3-1 金具止め施工

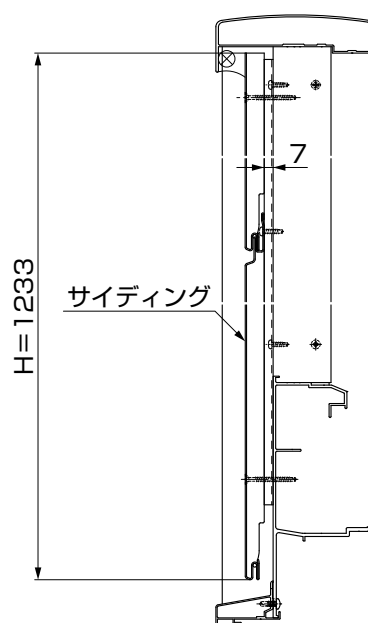


図3-2 ねじ止め施工

●サイディングの取付けには、『金具止め施工』と『ねじ止め施工』が可能です。

●サイディングパネルの取付けおよび注意事項は、サイディングメーカー様の施工要領書にしたがってください。

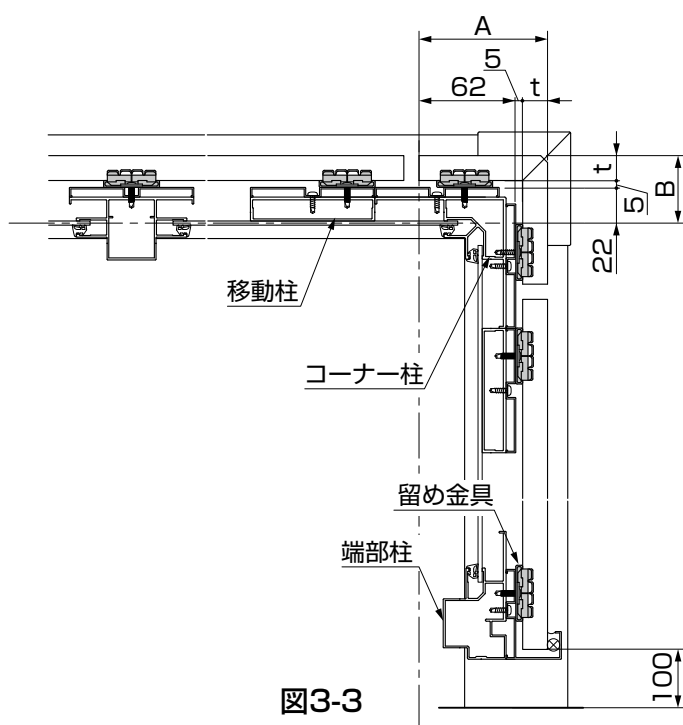


図3-3

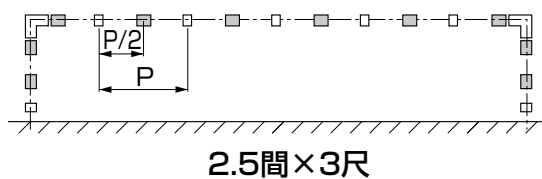
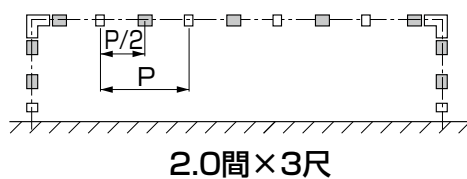
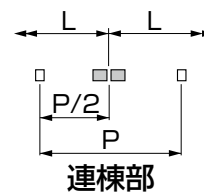
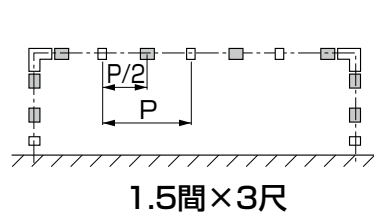
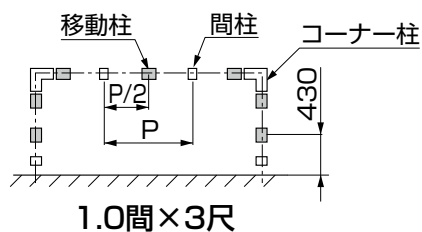
表3-2 柱本数表

間口寸法	柱種類	出幅寸法			
		2尺	3尺	4尺	5・6尺
1.0間 (2000)	コーナー柱	2	2	2	2
	間柱	2	2	4	4
	端部柱	2	2	2	2
	移動柱	5	7	7	9
1.5間 (3000)	コーナー柱	2	2	2	2
	間柱	3	3	5	5
	端部柱	2	2	2	2
	移動柱	6	8	8	10
2.0間 (4000)	コーナー柱	2	2	2	2
	間柱	4	4	6	6
	端部柱	2	2	2	2
	移動柱	7	9	9	11
2.5間通し (5000)	コーナー柱	2	2	2	2
	間柱	5	5	7	7
	端部柱	2	2	2	2
	移動柱	8	10	10	12

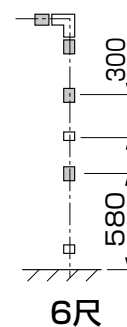
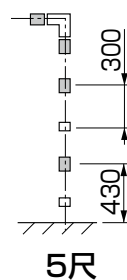
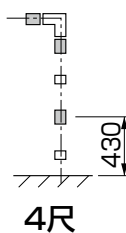
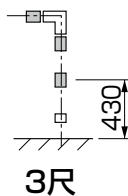
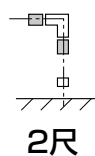
①金具止め施工の場合、図3-3、表3-2を参考に留め金具とスペーサーの必要個数を手配してください。

② 移動柱の取付け位置

○間口方向



○出幅方向



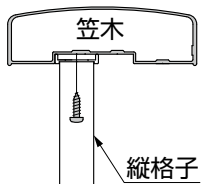
4 面材の施工

■ 縦格子の取付け

ポイント

- 「長さ部品セット」、「妻梁部品セット」、「連結根太部品セット」(連棟時)に入っているねじで取付けてください。

4 笠木の取付け



内側

【25-4】 【26-4】ナベドリル小ねじ $\phi 4 \times 16$

3 笠木コーナブロック

3 4 笠木

シーリング材

$\phi 4.5$ 下穴

4 笠木固定金具

【25-5】 【26-5】

六角タッピンねじ1種 $\phi 6 \times 70$

【25-4】 【26-4】

ナベドリル小ねじ $\phi 4 \times 16$

【25-4】 【26-4】

ナベドリル小ねじ $\phi 4 \times 16$

2 縦格子

【25-4】 【26-4】

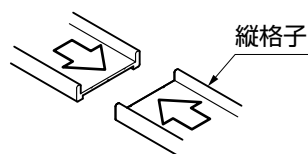
ナベドリル小ねじ $\phi 4 \times 16$

妻梁

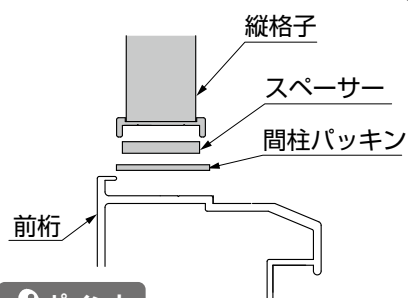
2 スペース

2 間柱パッキン

2 面材の取付け



縦格子



縦格子

スペース

間柱パッキン

前桁

前桁

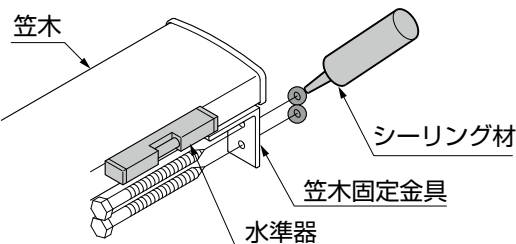
ポイント

- 縦格子を接続する場合は矢印の刻印を合わせてください。

ポイント

- 間柱パッキンは前桁の穴位置に張付けてください。(胴差のみ)

4 笠木の取付け



ポイント

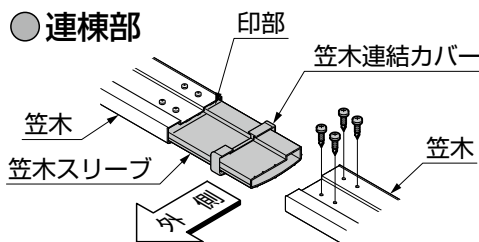
- 指定箇所には、必ずシーリングを充てんしてください。
- 笠木固定金具は垂直になるように取付けてください。

3 笠木の組立て

ポイント

- 笠木スリーブ中央にある印部に笠木連結カバーがくるようにしてください。

●連棟部



〈連棟部〉

3 笠木スリーブ

3 笠木連結カバー

【27-4】ナベドリル小ねじφ4×16

3 間柱固定金具

【25-4】 【26-4】 【28-1】
ナベドリル小ねじφ4×16

【27-4】 ナベドリル
小ねじφ4×16

1 間柱 (連棟用)

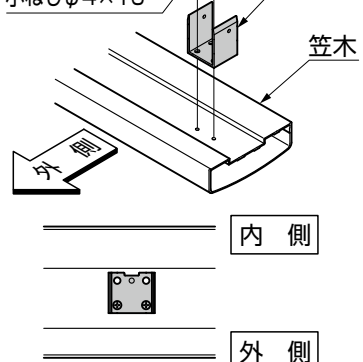
【27-4】 ナベドリル小ねじφ4×16

3 笠木の組立て

【25-4】 【26-4】

【28-1】 ナベドリル

小ねじφ4×16



ポイント

- 「ねじ」や「ワッシャー」などは図中の梱包番号 (例 【28-1】) を参照してください。

1 間柱の取付け

●連棟の場合

- ①間柱 (連棟用) を間柱補強金具に「ナベドリル小ねじφ4×16」で取付けてください。

2 面材の取付け

- ①間柱パッキンを前桁にあいている穴位置に張付けてください。
- ②スペーサーを縦格子の下胴縁に取付けてください。
- ③縦格子を前桁、妻梁に「ナベドリル小ねじφ4×16」で取付けてください。

3 笠木の組立て

- ①笠木を笠木コーナブロックに差込んで、「ナベドリル小ねじφ4×16」で取付けてください。

●連棟の場合

- ②間柱固定金具を笠木に「ナベドリル小ねじφ4×16」で取付けてください。
- ③笠木スリーブを片側の笠木に「ナベドリル小ねじφ4×16」で取付けてください。
- ④笠木連結カバーを笠木にはめ込んでください。

ポイント

- 逆側の笠木は次の手順で取付けます。

4 笠木の取付け

- ①外壁に下穴φ4.5をあけ、シーリングしてください。
- ②笠木を縦格子に「ナベドリル小ねじφ4×16」で取付けてください。
- ③笠木固定金具を躯体に「六角タッピンねじ1種φ6×70」で取付けてください。

●連棟の場合

- ④片側の笠木を取付けた後、連結する側の笠木を笠木スリーブに「ナベドリル小ねじφ4×16」で取付けてください。
- ⑤連結した笠木を縦格子に「ナベドリル小ねじφ4×16」で取付けてください。
- ⑥笠木を間柱 (連棟用) に「ナベドリル小ねじφ4×16」で取付けてください。

1 間柱の取付け

●連棟の場合

前 後

上側 下側

間柱

268.5 30

30

30

ポイント

- 間柱 (連棟用) には前後、上下があります。取付け向きを間違えないようにしてください。

1 間柱補強金具

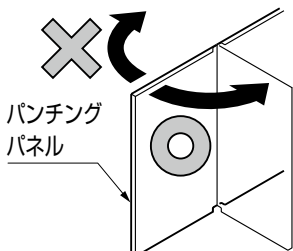
4 面材の施工（つづき）

■ パンチングパネルの取付け

ポイント

- 「長さ部品セット」、「妻梁部品セット」、「連結根太部品セット」（連棟時）に入っているねじで取付けてください。

4 面材の取付け



ポイント

- コーナー部のパンチングパネルはくぼみを内側にして折り曲げてください。

4 パンチングパネル

【25-14】【26-18】 平ワッシャーM4用

【25-13】【26-17】 袋ナットM4用

3 面材の取付け前準備

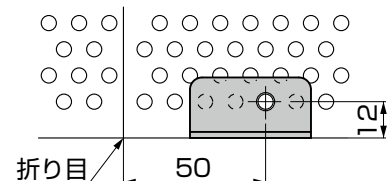


図4-2 パンチングパネル
コーナー金具取付け位置

ポイント

- 面材取付け前にパンチングパネルコーナー金具を取付けてください。

3 パンチングパネル コーナー金具

トラス小ねじM4×10 (D=8)

ナベドリル小ねじφ4×16 (※1)

1 取付け前の確認事項

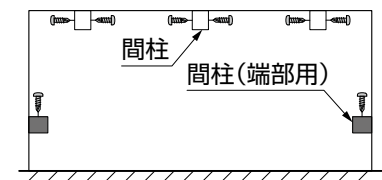
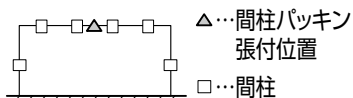
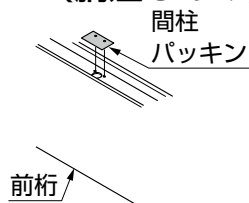


図4-1 柱の使い分けとねじの取付け本数

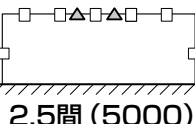
ポイント

- 間柱（端部用）には間柱固定金具用の穴加工が片側にしかありません。

2 柱の取付け (胴差しのみ)



2.0間 (4000)



2.5間 (5000)

ポイント

- 2.0間 (4000) と2.5間 (5000) の場合、間柱が取付かない箇所にも前桁の穴部に間柱パッキンを張付けてください。

2 間柱 (端部用)

【25-4】【26-4】【28-1】
ナベドリル小ねじφ4×16

2 間柱

【25-4】【26-4】【28-1】
ナベドリル小ねじφ4×16

2 間柱固定金具

間柱パッキン

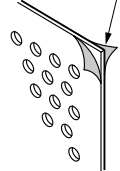
【25-4】【26-4】【28-1】
ナベドリル小ねじφ4×16

妻梁

4 面材の取付け

養生テープ

イボ付き
軍手

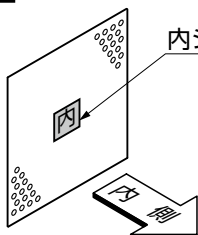


ポイント

- パンチングパネルの養生テープはイボ付き軍手などではがすと簡単にはがれます。

4 面材の取付け

内シール

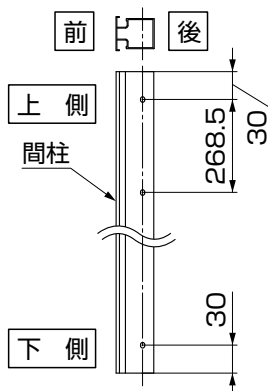


ポイント

- パンチングパネルには表裏があります。内シールのある方を内側にしてください。

2 柱の取付け

●連棟の場合



ポイント

- 間柱（連棟用）には前後、上下があります。取付け向きを間違えないようにしてください。

〈連棟部〉

[27-4] ナベドリル小ねじφ4×16

2 間柱（連棟用）

間柱補強金具

前桁

ポイント

- 「ねじ」や「ワッシャー」などは図中の梱包番号（例【28-1】）を参照してください。

1 取付け前の確認事項

- ①柱の使い分けとねじの取付け個所を確認してください。（図4-1参照）

2 柱の取付け

- ①間柱固定金具を前桁、妻梁に「ナベドリル小ねじφ4×16」で取付けてください。
- ②間柱、間柱（端部用）を間柱固定金具に「ナベドリル小ねじφ4×16」で取付けてください。

●連棟の場合

- ③間柱（連棟用）を間柱補強金具に「ナベドリル小ねじφ4×16」で取付けてください。

3 面材の取付け前準備

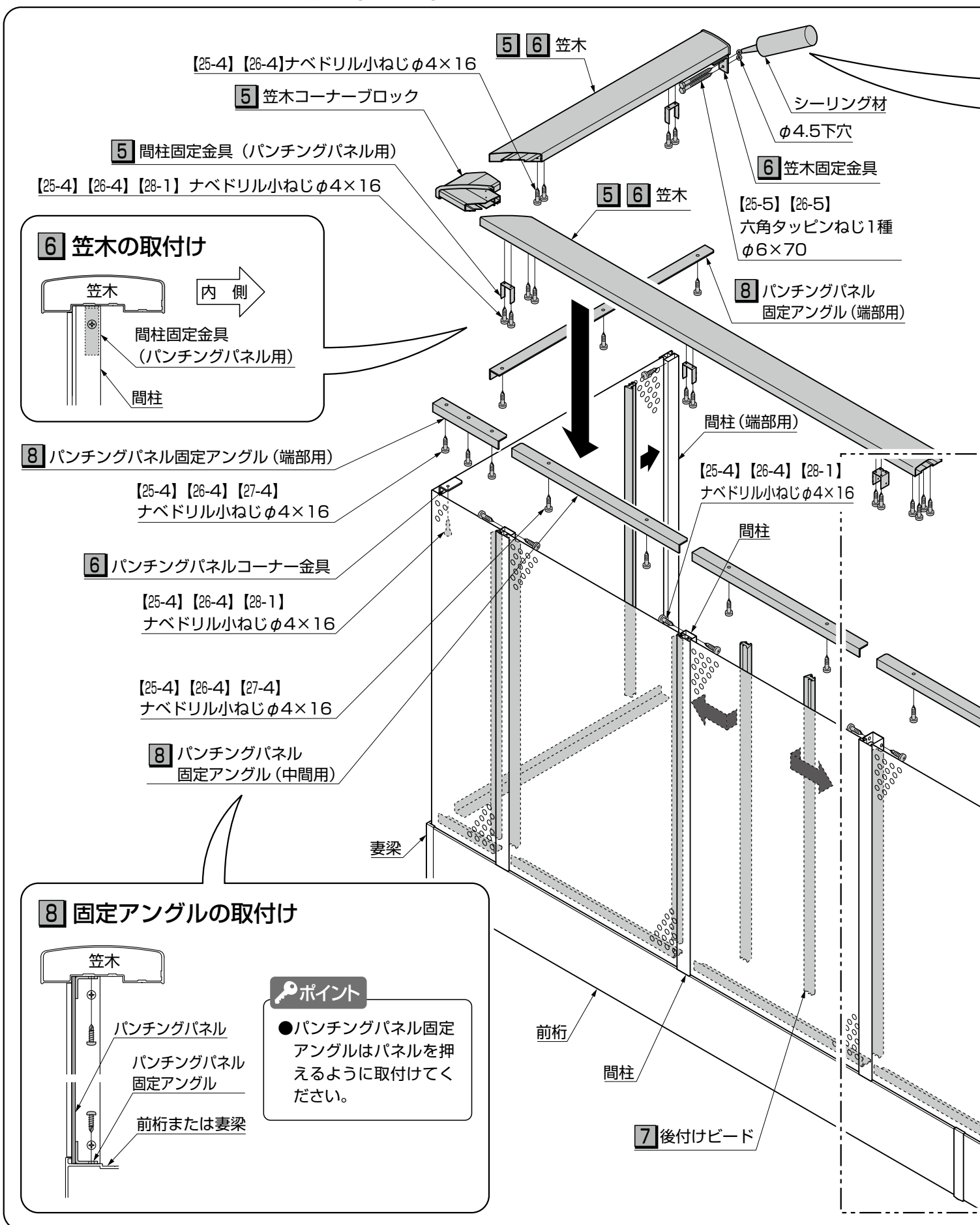
- ①パンチングパネルコーナー金具をパンチングパネルに「トラス小ねじM4×10（D=8）」「袋ナットM4用」「平ワッシャーM4用」で取付けてください。

4 面材の取付け

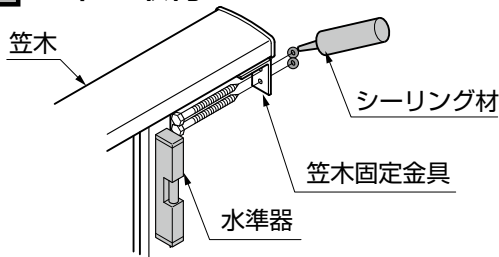
- ①妻梁を固定している「ナベドリル小ねじφ4×16（※1）」を取外してください。
- ②パンチングパネルを間柱に差込んでください。
- ③パンチングパネルコーナー金具を妻梁に取外した「ナベドリル小ねじφ4×16（※1）」で共締めしてください。

4 面材の施工 (つづき)

■ パンチングパネルの取付け (つづき)



6 笠木の取付け



ポイント

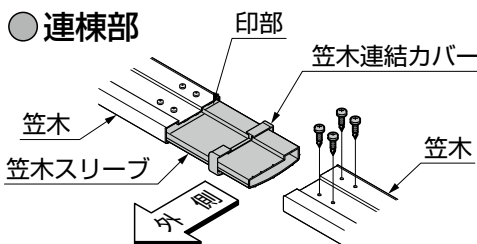
- 指定箇所には、必ずシーリングを充てんしてください。
- 笠木固定金具は垂直になるように取付けてください。

5 笠木の組立て

ポイント

- 笠木スリーブ中央にある印部に笠木連結カバーがくるようにしてください。

●連棟部



5 笠木の組立て

- ①笠木を笠木コーナブロックに差込んで「ナベドリル小ねじφ4×16」で取付けてください。
- ②間柱固定金具（パンチングパネル用）を笠木に「ナベドリル小ねじφ4×16」で取付けてください。

●連棟の場合

- ③間柱固定金具を笠木に「ナベドリル小ねじφ4×16」で取付けてください。
- ④笠木スリーブを片側の笠木に「ナベドリル小ねじφ4×16」で取付けてください。
- ⑤笠木連結カバーを笠木にはめ込んでください。

ポイント

- 逆側の笠木は次の手順で取付けます。

6 笠木の取付け

- ①穴加工（φ4.5下穴）を外壁にし、シーリングをしてください。
- ②笠木を柱とパンチングパネルコーナー金具に「ナベドリル小ねじφ4×16」で取付けてください。
- ③笠木固定金具を躯体に「六角タッピンねじ1種φ6×70」で取付けてください。

●連棟の場合

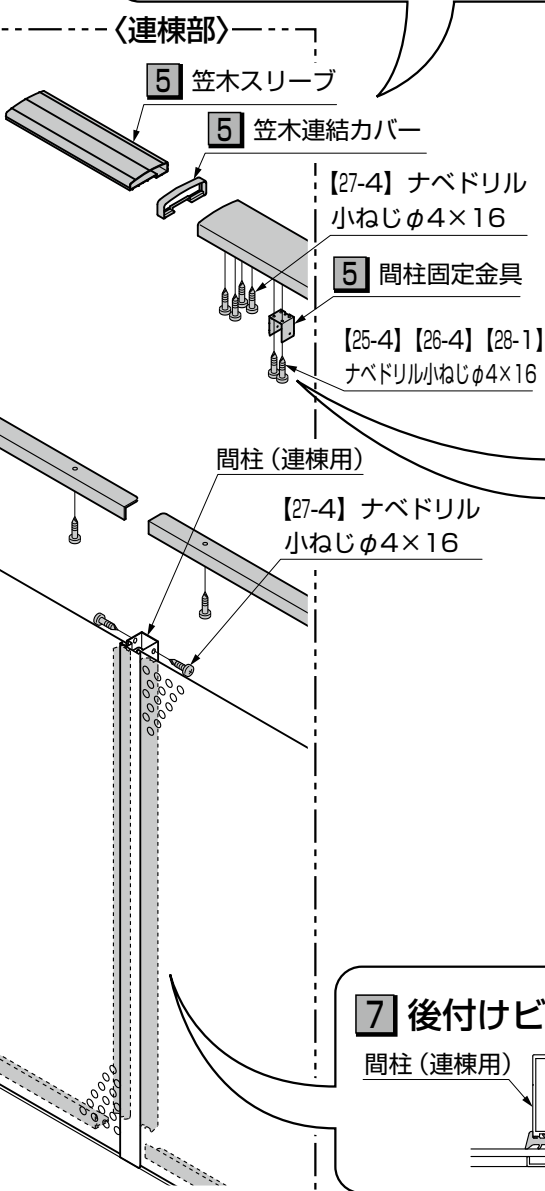
- ④片側の笠木を取付けた後、連結する側の笠木を笠木スリーブに「ナベドリル小ねじφ4×16」で取付けてください。
- ⑤連結した笠木を間柱（連棟用）に「ナベドリル小ねじφ4×16」で取付けてください。

7 後付けビードの取付け

- ①後付けビードを柱に差込んでください。

8 固定アングルの取付け

- ①パンチングパネル固定アングルを笠木、前桁、妻梁に「ナベドリル小ねじφ4×16」で取付けてください。

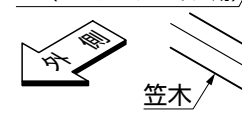


5 笠木の組立て

【25-4】【26-4】【28-1】

ナベドリル小ねじφ4×16

5 間柱固定金具
(パンチングパネル用)

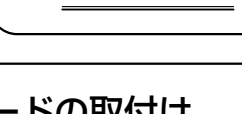
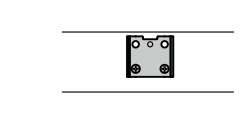
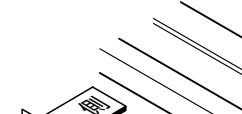


●連棟の場合

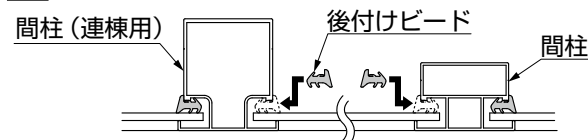
【25-4】【26-4】【28-1】

ナベドリル小ねじφ4×16

5 間柱固定金具



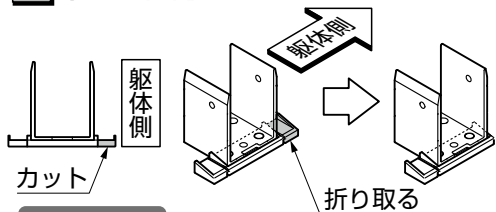
7 後付けビードの取付け



4 面材の施工 (つづき)

■ パネル、パネルマットの取付け

2 柱の取付け



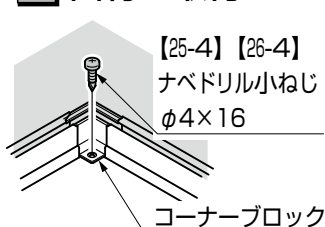
ポイント

- 間柱台座側面用の躯体側の一部を溝に合わせて切断してください。

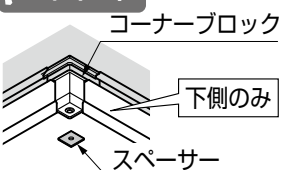
ポイント

- 「長さ部品セット」、「妻梁部品セット」、「連結根太部品セット」(連棟時)に入っているねじで取付けてください。

3 面材の取付け

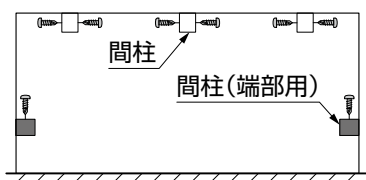


ポイント



- コーナブロックの穴に合わせてスペーサーを張り、ねじ止めしてください。

1 取付け前の確認事項

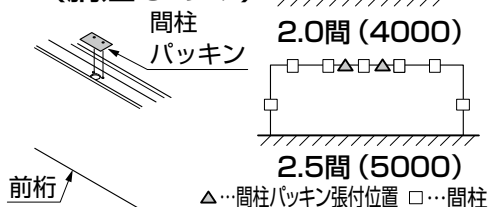


ポイント

- 間柱(端部用)には間柱固定金具用の穴加工が片側にしかありません。

図4-3 柱の使い分けとねじの取付け本数

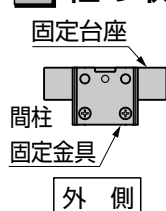
2 柱の取付け (胴差しのみ)



ポイント

- 2.0間(4000)と2.5間(5000)の場合、間柱が取付かない箇所にも前桁の穴部に間柱パッキンを張付けてください。

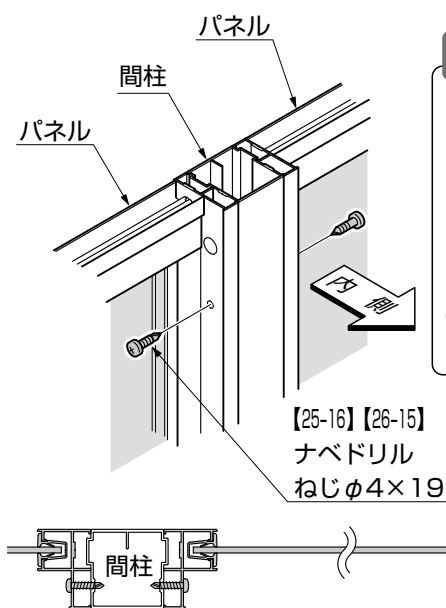
2 柱の取付け



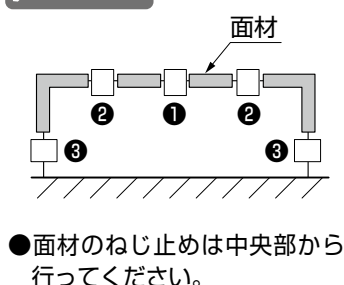
ポイント

- 間柱固定金具は2つの穴があいている方を外側にしてください。

3 面材の取付け



ポイント



ポイント

●「ねじ」や「ワッシャー」などは図中の梱包番号(例【28-1】)を参照してください。

1 取付け前の確認事項

①柱の使い分けとねじの取付け個所を確認してください。(図4-3参照)

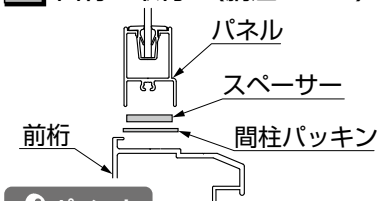
2 柱の取付け

- ①間柱台座側面用(59用)を加工してください。
- ②各取付金具を前桁、妻梁に「ナベドリル小ねじφ4×16」で取付けてください。
- ③間柱、間柱(端部用)を各取付金具に「ナベドリル小ねじφ4×16」で取付けてください。

●連棟の場合

- ④間柱(連棟用)を間柱補強金具に「ナベドリル小ねじφ4×16」で取付けてください。

3 面材の取付け(胴差しのみ)



ポイント

●間柱パッキンは前桁の穴位置に張付けてください。(胴差しのみ)

3 面材の取付け

- ①前桁、妻梁にあいている穴位置にパッキンを取付けてください。
- ②パネルを柱に差込んで「ナベドリルねじφ4×19」で取付けてください。
- ③パネルのコーナブロックを前桁に「ナベドリル小ねじφ4×16」で固定してください。

〈連棟部〉

【25-16】【26-15】
ナベドリル
ねじφ4×19

2 間柱(連棟用)

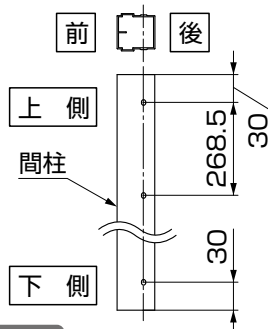
【25-16】【26-15】
ナベドリル
ねじφ4×19

【27-4】ナベドリル
小ねじφ4×16

間柱補強金具

2 柱の取付け

●連棟の場合

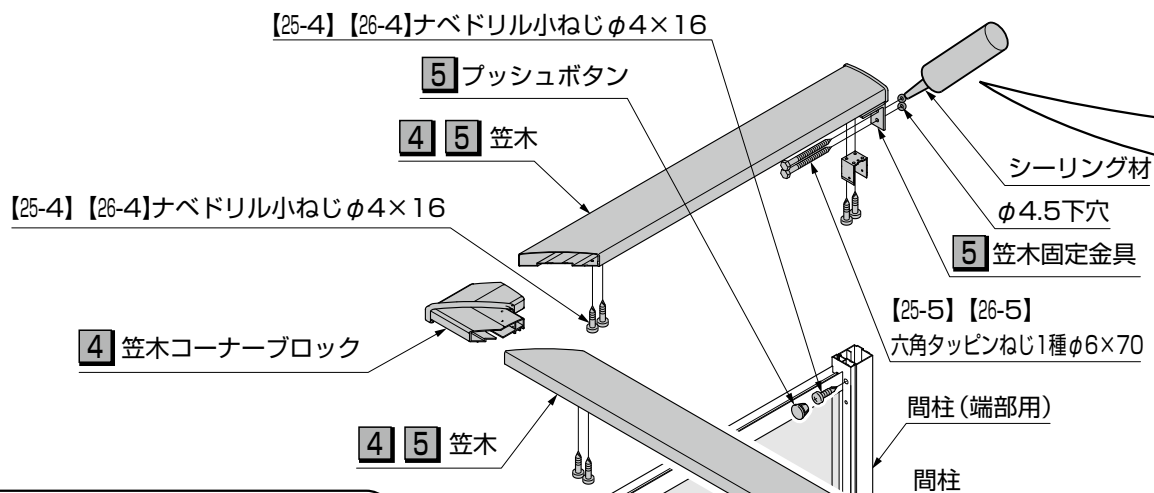


ポイント

●間柱(連棟用)には前後、上下があります。取付け向きを間違えないようにしてください。

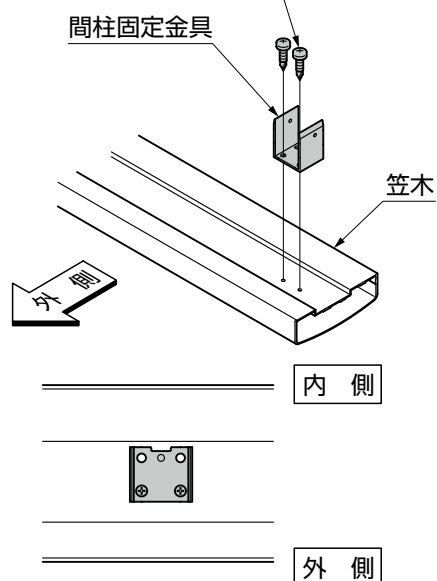
4 面材の施工 (つづき)

■ パネル、パネルマットの取付け (つづき)



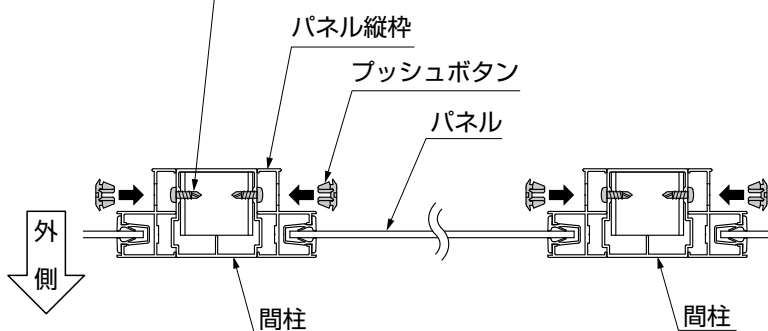
4 笠木の組立て

[25-4] [26-4] [28-1]
ナベドリル小ねじφ4×16



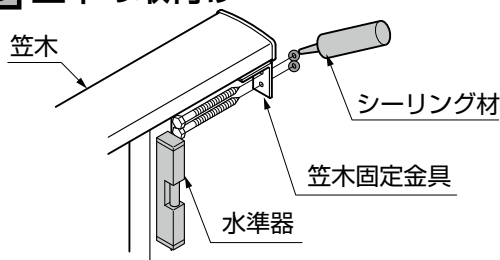
5 笠木の取付け

[25-4] [26-4] ナベドリル小ねじφ4×16



間柱 (連棟用)

5 笠木の取付け

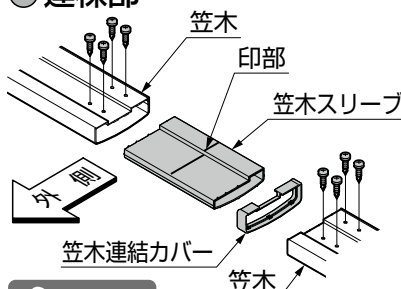


ポイント

- 指定箇所には、必ずシーリングを充てんしてください。
- 笠木固定金具は垂直になるように取付けてください。

4 笠木の組立て

●連棟部



ポイント

- 笠木スリーブ中央にある印部に笠木連結力バーがくるようにしてください。

4 笠木の組立て

- ①笠木を笠木コーナブロックに差込んで「ナベドリル小ねじφ4×16」で取付けてください。
- ②間柱固定金具を笠木に「ナベドリル小ねじφ4×16」で取付けてください。

●連棟の場合

- ③笠木スリーブを片側の笠木に「ナベドリル小ねじφ4×16」で取付けてください。
- ④笠木連結力バーを笠木にはめ込んでください。

ポイント

- 逆側の笠木は後の手順で取付けます。

5 笠木の取付け

- ①外壁に下穴φ4.5をあけ、シーリングしてください。
- ②笠木を柱に「ナベドリル小ねじφ4×16」で取付けてください。
- ③笠木固定金具を躯体に「六角タッピンねじ1種φ6×70」で取付けてください。
- ④パネルの縦枠にプッシュボタンを取付けてください。

●連棟の場合

- ⑤片側の笠木を取付けた後、連結する側の笠木を笠木スリーブに「ナベドリル小ねじφ4×16」で取付けてください。
- ⑥連結した笠木を間柱（連棟用）に「ナベドリル小ねじφ4×16」で取付けてください。

〈連棟部〉

4 笠木スリーブ

4 笠木連結力バー

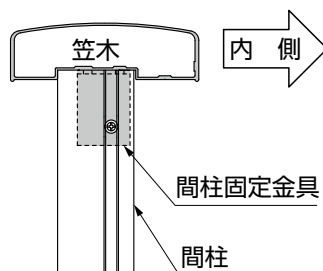
【27-4】ナベドリル小ねじφ4×16

4 間柱固定金具

【25-4】【26-4】【28-1】ナベドリル小ねじφ4×16

パネル

5 笠木の取付け



5 プッシュボタン

【27-4】ナベドリル小ねじφ4×16

4 面材の施工 (つづき)

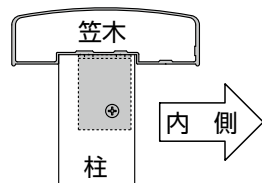
■ 横格子面材・横格子ルーバーの取付け

ポイント

- 「長さ部品セット」、「妻梁部品セット」、「連結根太部品セット」(連棟時)に入っているねじで取付けてください。

1 笠木コーナーブロック

4 笠木の取付け



1 取付け前の確認事項

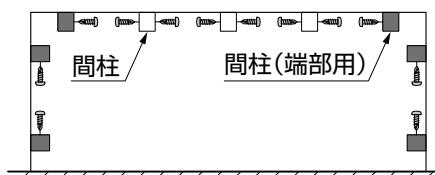


図4-4 柱の使い分けとねじの取付け本数 (2~4尺)

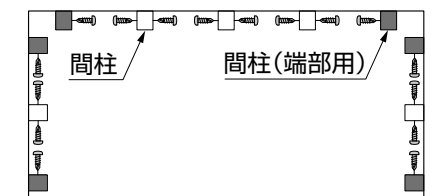
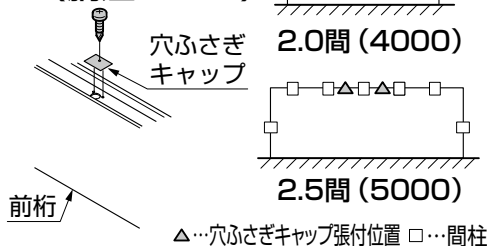


図4-5 柱の使い分けとねじの取付け本数 (5、6尺)

ポイント

- 間柱(端部用)には間柱固定金具用の穴加工が片側にしかありません。

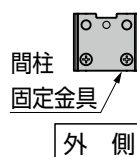
2 柱の取付け (胴差しのみ)



ポイント

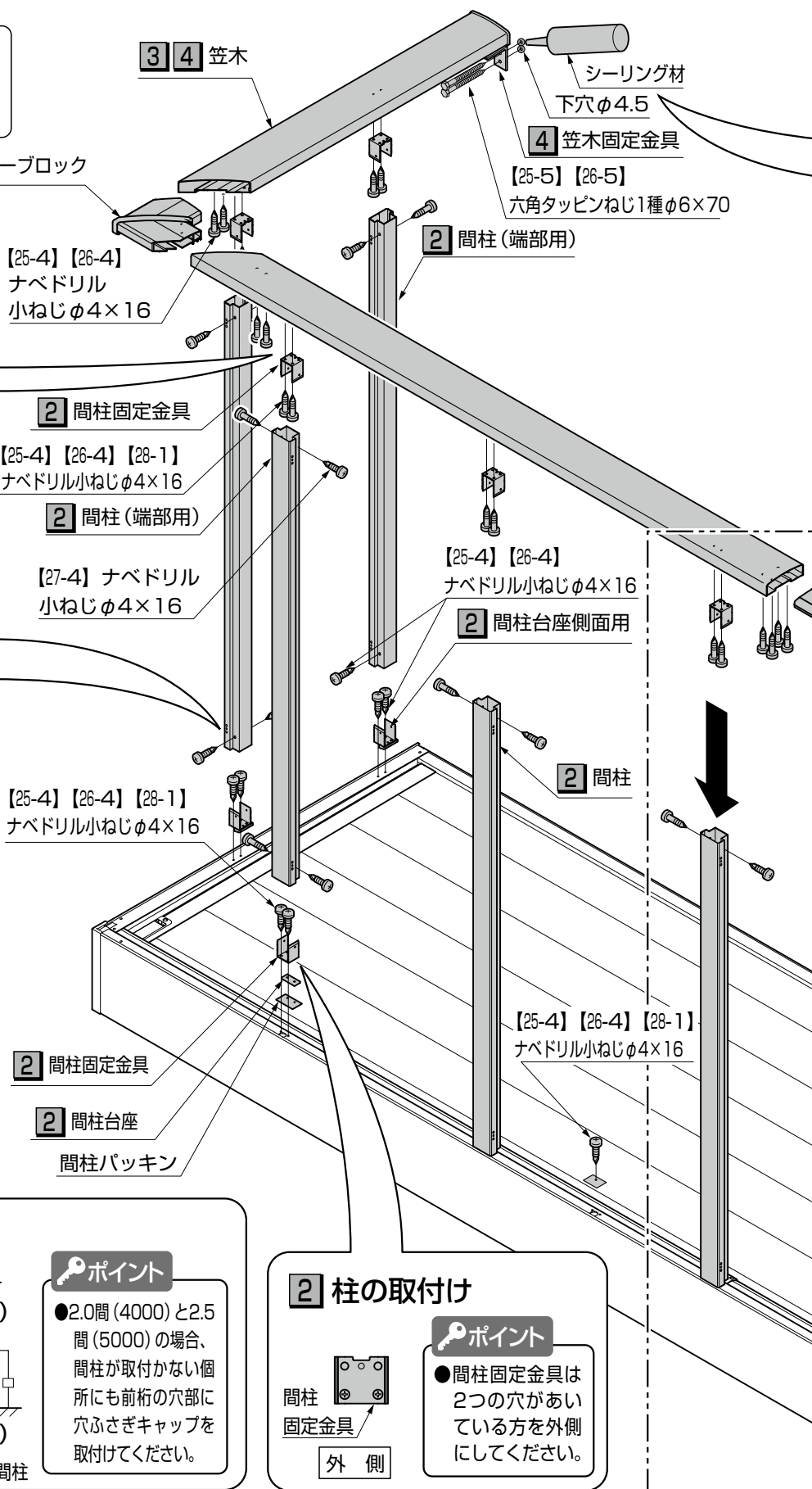
- 2.0間(4000)と2.5間(5000)の場合、間柱が取付かない箇所にも前桁の穴部に穴ふさぎキャップを取付けてください。

2 柱の取付け

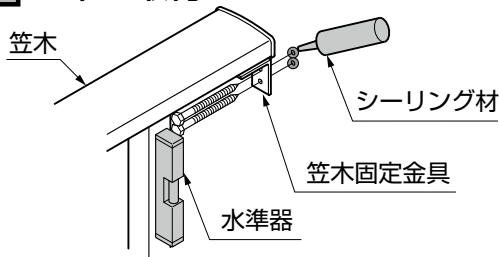


ポイント

- 間柱固定金具は2つの穴があいている方を外側にしてください。



4 笠木の取付け



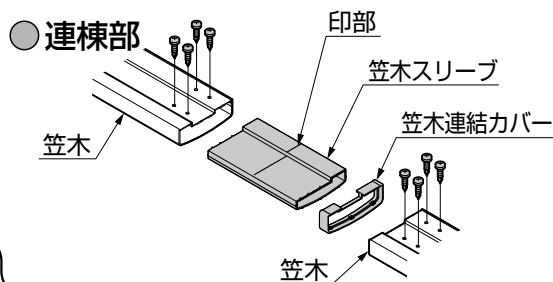
ポイント

- 指定個所には、必ずシーリングを充てんしてください。
- 笠木固定金具は垂直になるように取付けてください。

3 笠木の組立て

ポイント

- 笠木スリーブ中央にある印部に笠木連結力バーがくるようにしてください。



〈連棟部〉

3 笠木スリーブ

3 笠木連結力バー

【27-4】ナベドリル小ねじφ4×16

3 笠木の組立て

【25-4】【26-4】【28-1】
ナベドリル小ねじφ4×16

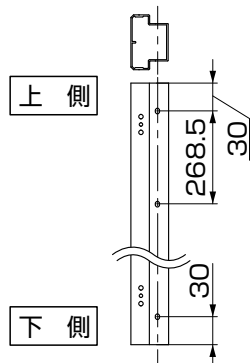


【27-4】ナベドリル小ねじφ4×16

2 間柱 (連棟用)

2 柱の取付け

●連棟の場合



ポイント

- 間柱 (連棟用) には前後、上下があります。取付け向きを間違えないようにしてください。

ポイント

- 「ねじ」や「ワッシャー」などは図中の梱包番号 (例 【28-1】) を参照してください。

1 取付け前の確認事項

- ①柱の使い分けとねじの取付け個所を確認してください。
(図4-4、図4-5参照)

2 柱の取付け

- ①各取付金具を前桁、妻梁に「ナベドリル小ねじφ4×16」で取付けてください。
- ②間柱、間柱 (端部用) を各取付金具に「ナベドリル小ねじφ4×16」で取付けてください。

●連棟の場合

- ③連棟施工の場合、間柱 (連棟用) を間柱補強金具に「ナベドリル小ねじφ4×16」で取付けてください。

3 笠木の組立て

- ①笠木を笠木コーナブロックに差込み「ナベドリル小ねじφ4×16」で取付けてください。
- ②間柱固定金具を笠木に「ナベドリル小ねじφ4×16」で取付けてください。

●連棟の場合

- ③笠木スリーブを笠木に「ナベドリル小ねじφ4×16」で取付けてください。
- ④笠木連結力バーを笠木にはめ込んでください。

ポイント

- 逆側の笠木は次の手順で取付けます。

4 笠木の取付け

- ①外壁に下穴φ4.5をあけ、シーリングしてください。
- ②笠木を柱に「ナベドリル小ねじφ4×16」で取付けてください。
- ③笠木固定金具を躯体に「六角タッピンねじ1種φ6×70」で取付けてください。

●連棟の場合

- ①片側の笠木を取付けた後、連結する側の笠木を笠木スリーブに「ナベドリル小ねじφ4×16」で取付けてください。
- ②連結した笠木を間柱 (連棟用) に「ナベドリル小ねじφ4×16」で取付けてください。

4 面材の施工 (つづき)

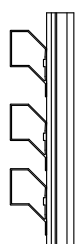
■ 横格子面材・横格子ルーバーの取付け (つづき)

ポイント

- 図は横格子面材で示しています。横格子ルーバーも取付けは同様です。
- 面材は対角を出してから取付けてください。

● 上下の判別方法

上側



下側

キャップ

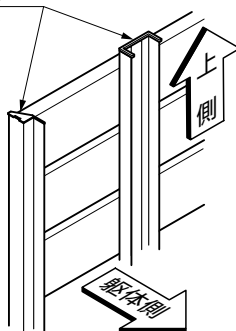


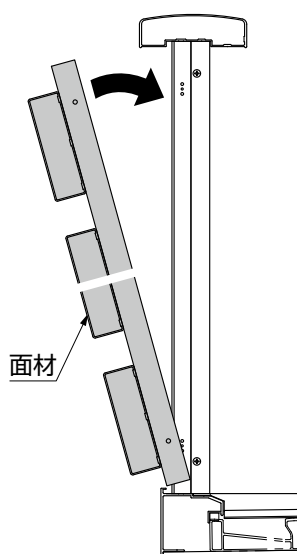
図4-6
横格子ルーバー

図4-7
横格子面材

ポイント

- キャップがある方が上側になります。

● 面材の入れ方

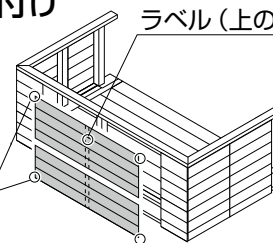


面材

5 面材の取付け

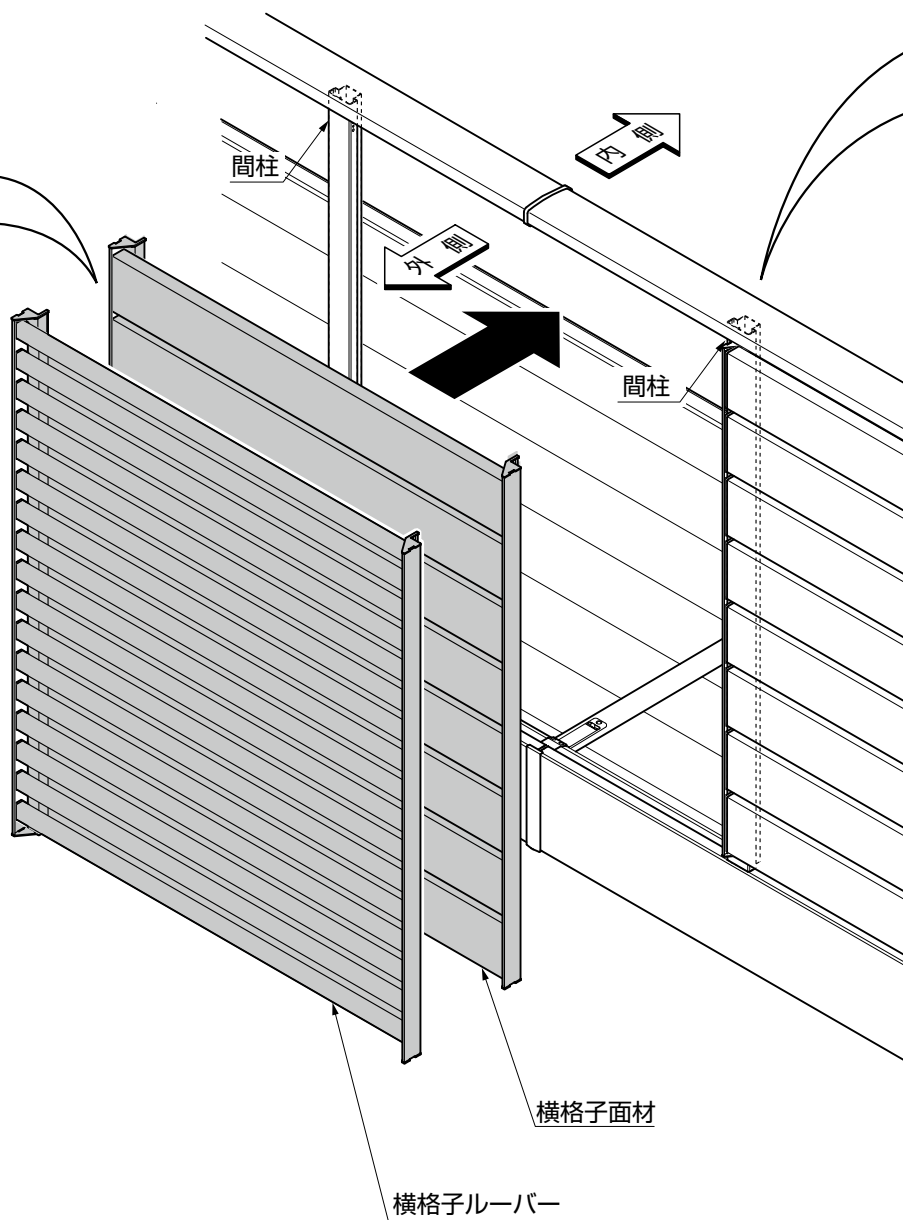
ラベル (上のみ)

キャップ



ポイント

- 2.0間 (4000) の面材は上下2分割になっています。取付けに注意してください。



間柱

外側

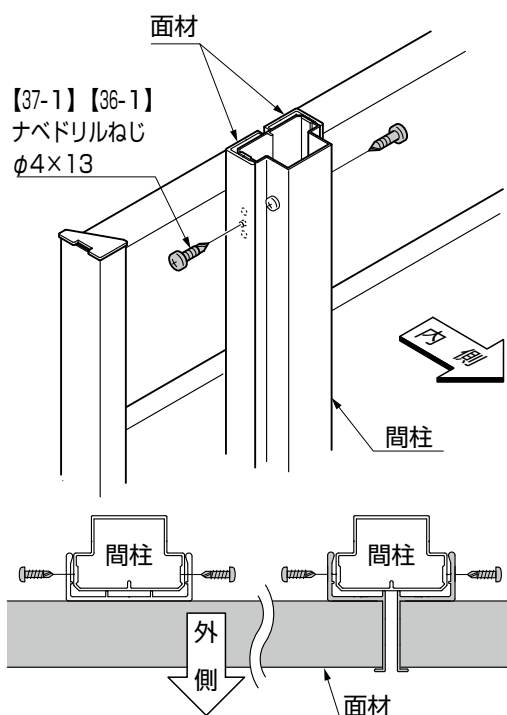
内側

間柱

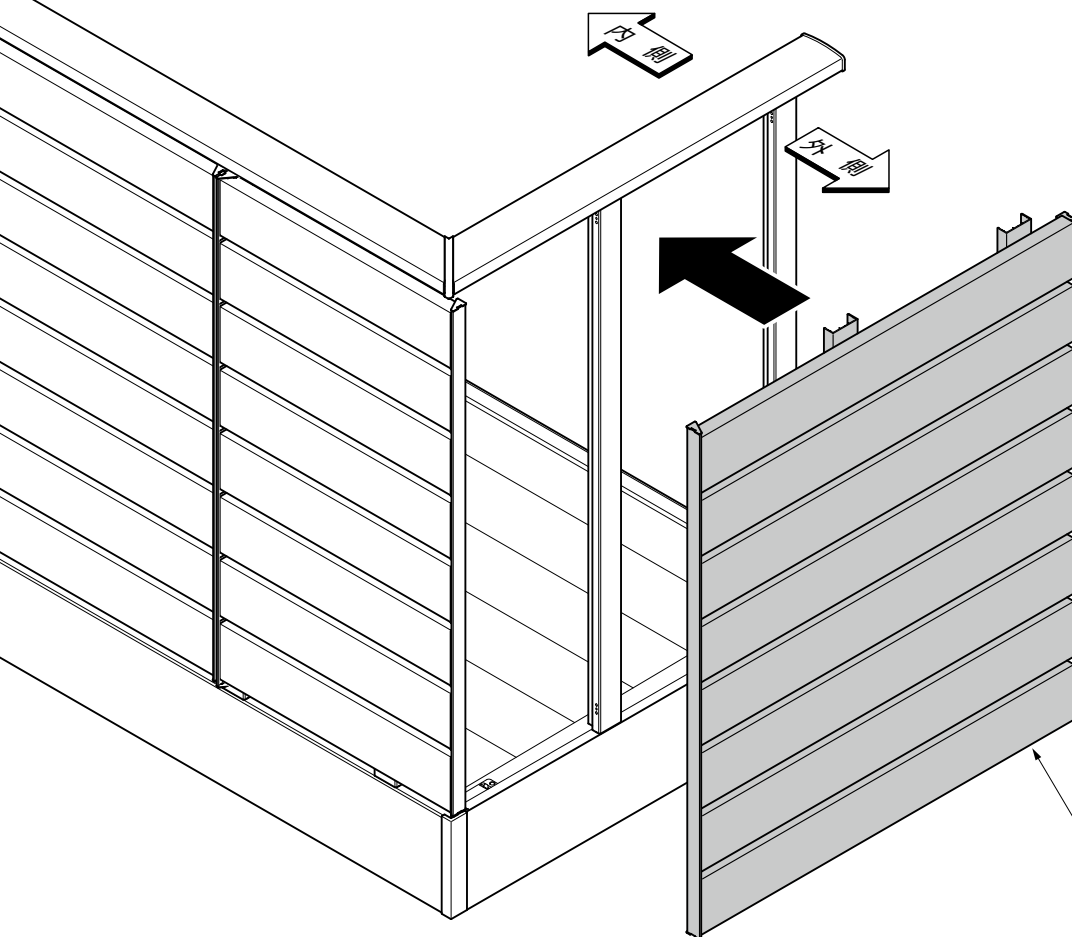
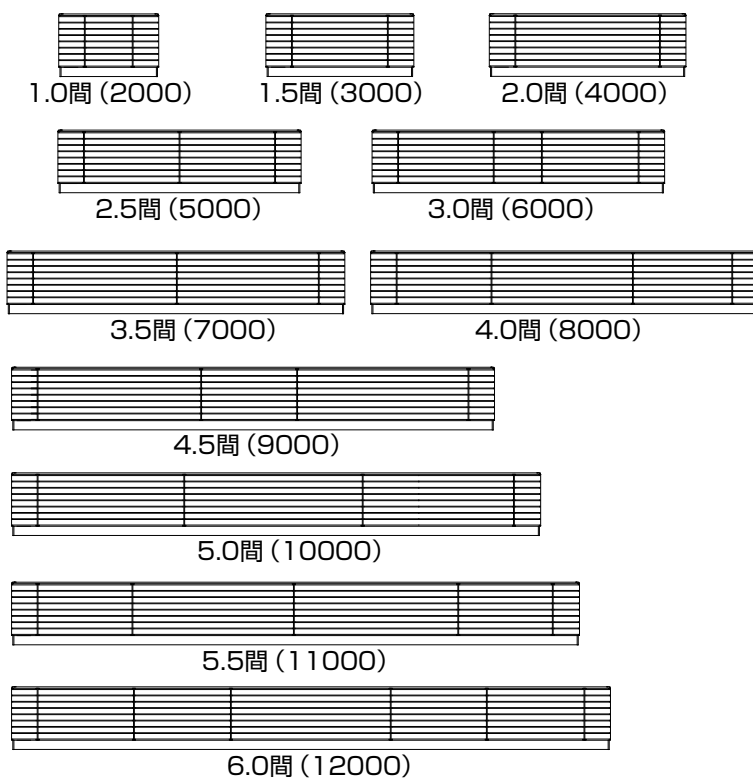
横格子面材

横格子ルーバー

5 面材の取付け



● 面材の割付け



5 面材の取付け

- ①面材を間柱に設置してください。
- ②面材を間柱に「ナベドリルねじφ4×13」で取付けてください。

横格子面材

4 面材の施工 (つづき)

■ フレームレスの取付け

ポイント

- 「長さ部品セット」、「妻梁部品セット」、「連結根太部品セット」(連棟時)に入っているねじで取付けてください。

3 柱の組立て

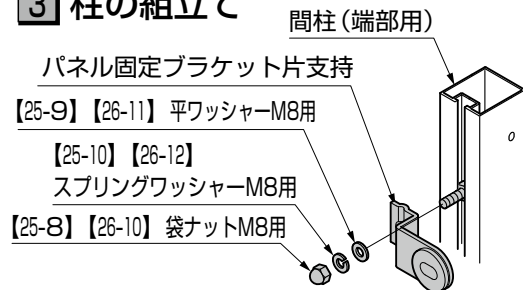


図4-10 間柱 (端部用) の場合

1 取付け前の確認事項

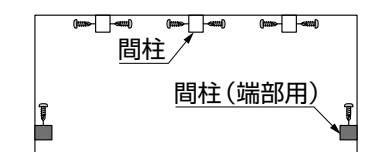


図4-8 柱の使い分けとねじの取付け本数 (2~4尺)

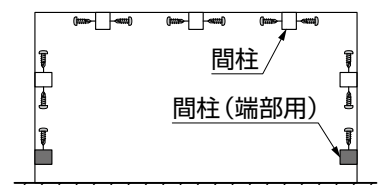
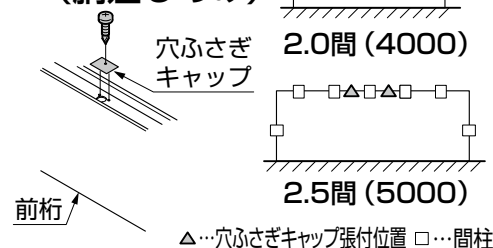


図4-9 柱の使い分けとねじの取付け本数 (5、6尺)

ポイント

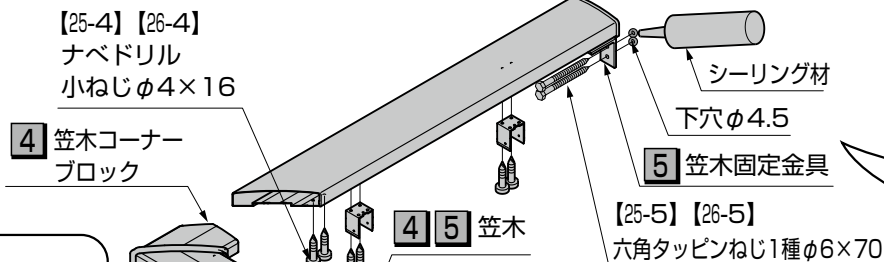
- 間柱 (端部用) には間柱固定金具用の穴加工が片側にしかありません。

2 柱の取付け (胴差しのみ)



ポイント

- 2.0間 (4000) と 2.5間 (5000) の場合、間柱が取付かない箇所にも前桁の穴部に穴ふさぎキャップを取付けてください。



4 笠木コーナーブロック

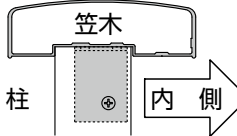
【25-4】 【26-4】
ナベドリル
小ねじφ4×16

シーリング材
下穴φ4.5

5 笠木固定金具

【25-5】 【26-5】
六角タッピンねじ1種φ6×70

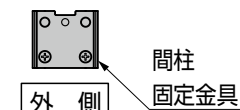
5 笠木の取付け



【25-7】 【26-9】 【27-7】 【28-6】
六角ボルトM8×16

【25-4】 【26-4】
ナベドリル 小ねじφ4×16

2 柱の取付け



ポイント

- 間柱固定金具は2つの穴があいている方を外側にしてください。

【25-4】 【26-4】
ナベドリル
小ねじφ4×16

2 間柱台座側面用

【25-4】 【26-4】 【28-1】
ナベドリル
小ねじφ4×16

2 間柱固定金具

2 間柱台座

間柱パッキン

【25-4】 【26-4】 【28-1】
ナベドリル 小ねじφ4×16

【25-8】 【26-10】 【27-8】 【28-7】
袋ナットM8用

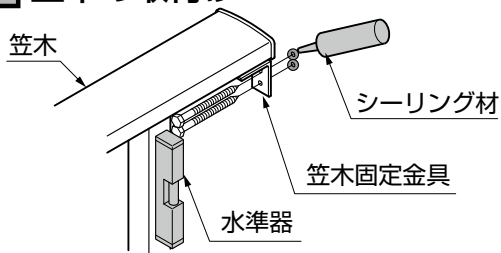
【25-10】 【26-12】 【27-10】 【28-9】
スプリングワッシャー-M8用

【25-9】 【26-11】 【27-9】 【28-8】
平ワッシャー-M8用

3 パネル固定ブラケット両支持

前桁

5 笠木の取付け



ポイント

- 指定個所には、必ずシーリングを充てんしてください。
- 笠木固定金具は垂直になるように取付けてください。

ポイント

- 「ねじ」や「ワッシャー」などは図中の梱包番号(例【28-1】)を参照してください。

1 取付け前の確認事項

- ①柱の使い分けとねじの取付け個所を確認してください。(図4-8、図4-9参照)

2 柱の取付け

- ①各取付金具を前桁、妻梁に「ナベドリル小ねじφ4×16」で取付けてください。
 - ②間柱、間柱(端部用)を各取付金具に「ナベドリル小ねじφ4×16」で取付けてください。
- 連棟の場合
- ③間柱(連棟用)を間柱補強金具に「ナベドリル小ねじφ4×16」で取付けてください。

3 柱の組立て

- ①「六角ボルトM8×16」を柱に挿入してください。
- ②パネル固定ブラケットを柱に「平ワッシャーM8用」「スプリングワッシャーM8用」「袋ナットM8用」で取付けてください。

4 笠木の組立て

- ①笠木を笠木コーナブロックに差込み「ナベドリル小ねじφ4×16」で取付けてください。
 - ②間柱固定金具を笠木に「ナベドリル小ねじφ4×16」で取付けてください。
- 連棟の場合
- ③笠木スリーブを笠木に「ナベドリル小ねじφ4×16」で取付けてください。
 - ④笠木連結カバーを笠木にはめ込んでください。

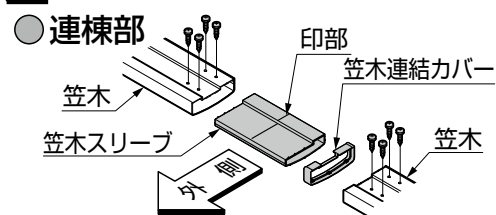
ポイント

- 逆側の笠木は後の手順で取付けます。

5 笠木の取付け

- ①外壁に下穴φ4.5をあけ、シーリングしてください。
 - ②笠木を柱に「ナベドリル小ねじφ4×16」で取付けてください。
 - ③笠木固定金具を躯体に「六角タッピンねじ1種φ6×70」で取付けてください。
- 連棟の場合
- ④片側の笠木を取付けた後、連結する側の笠木を笠木スリーブに「ナベドリル小ねじφ4×16」で取付けてください。
 - ⑤連結した笠木を間柱(連棟用)に「ナベドリル小ねじφ4×16」で取付けてください。

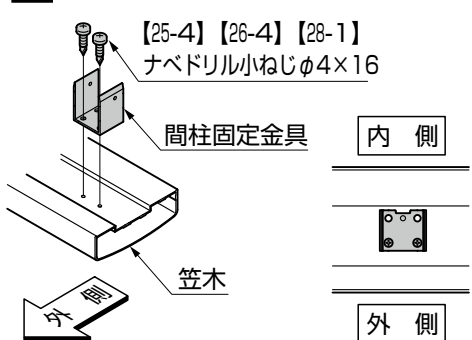
4 笠木の組立て



ポイント

- 笠木スリーブ中央にある印部に笠木連結カバーがくるようにしてください。

4 笠木の組立て



〈連棟部〉

4 笠木スリーブ

4 笠木連結カバー

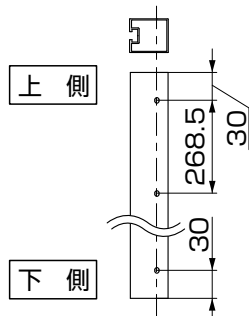
【27-4】ナベドリル小ねじφ4×16

【27-4】ナベドリル小ねじφ4×16

2 間柱(連棟用)

2 柱の取付け

●連棟の場合



ポイント

- 間柱(連棟用)には前後、上下があります。取付け向きを間違えないようにしてください。

4 面材の施工 (つづき)

■フレームレスの取付け (つづき)

6 面材の取付け

1 パネルの組立て

○切詰めが必要な場合

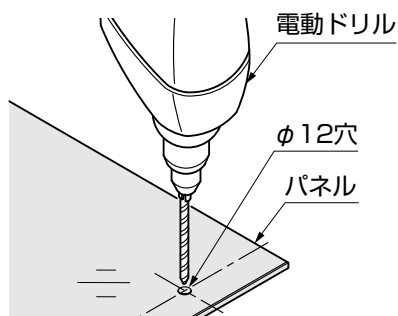
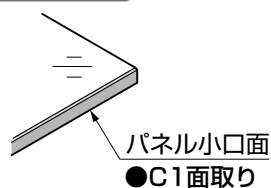


図4-11

⚠ 注意

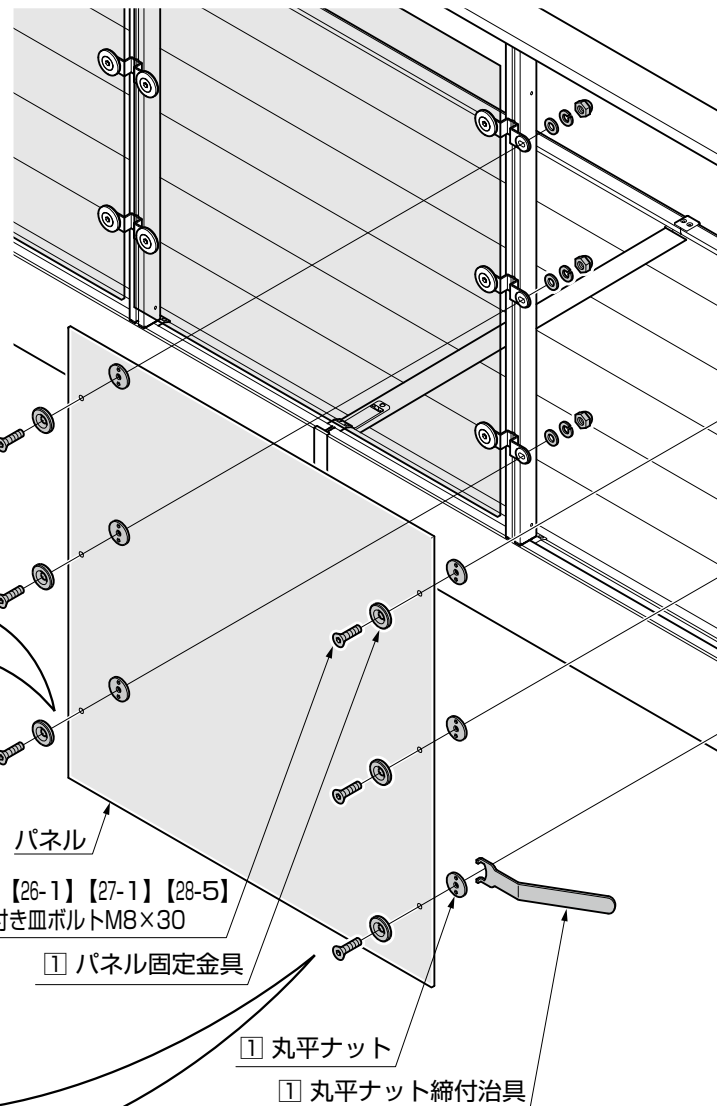
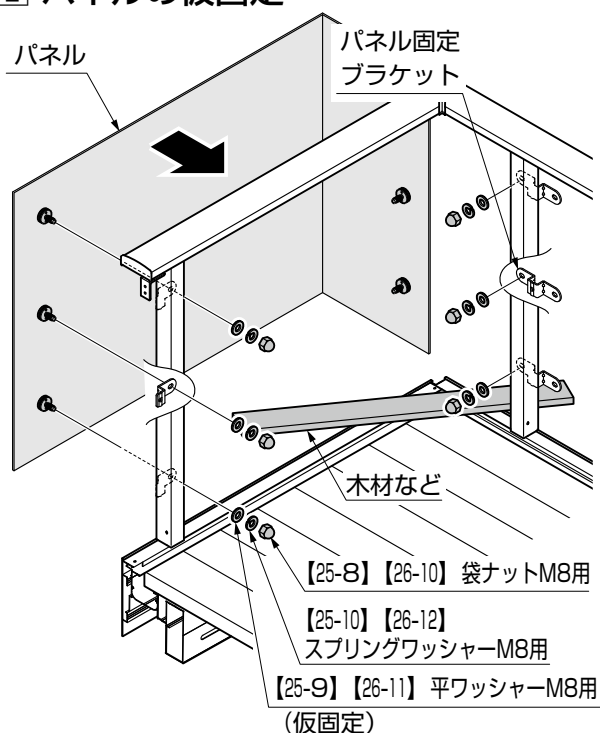
●穴をあける際はバリなどがないようにしてください。

⚠ 注意



●パネルを切詰めした場合は、必ずパネル小口面の面取りを行ってください。パネルの小口にてケガをするおそれがあります。

2 パネルの仮固定



3 パネルの本固定

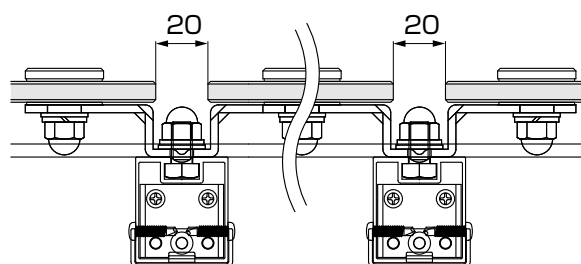
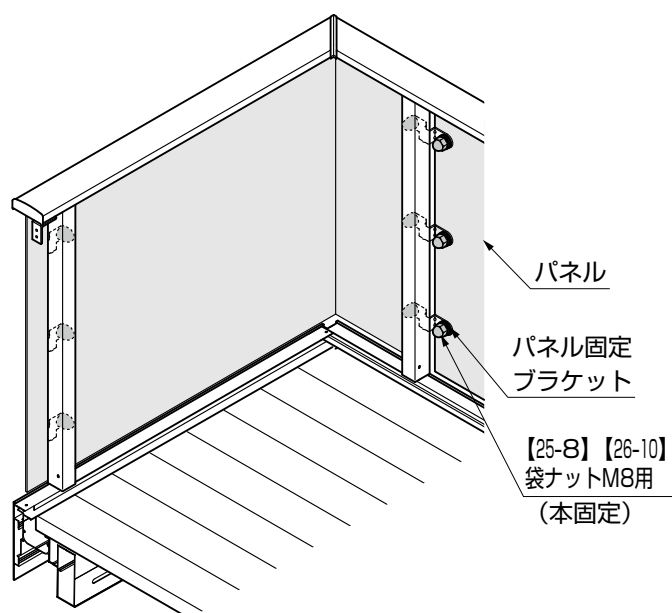
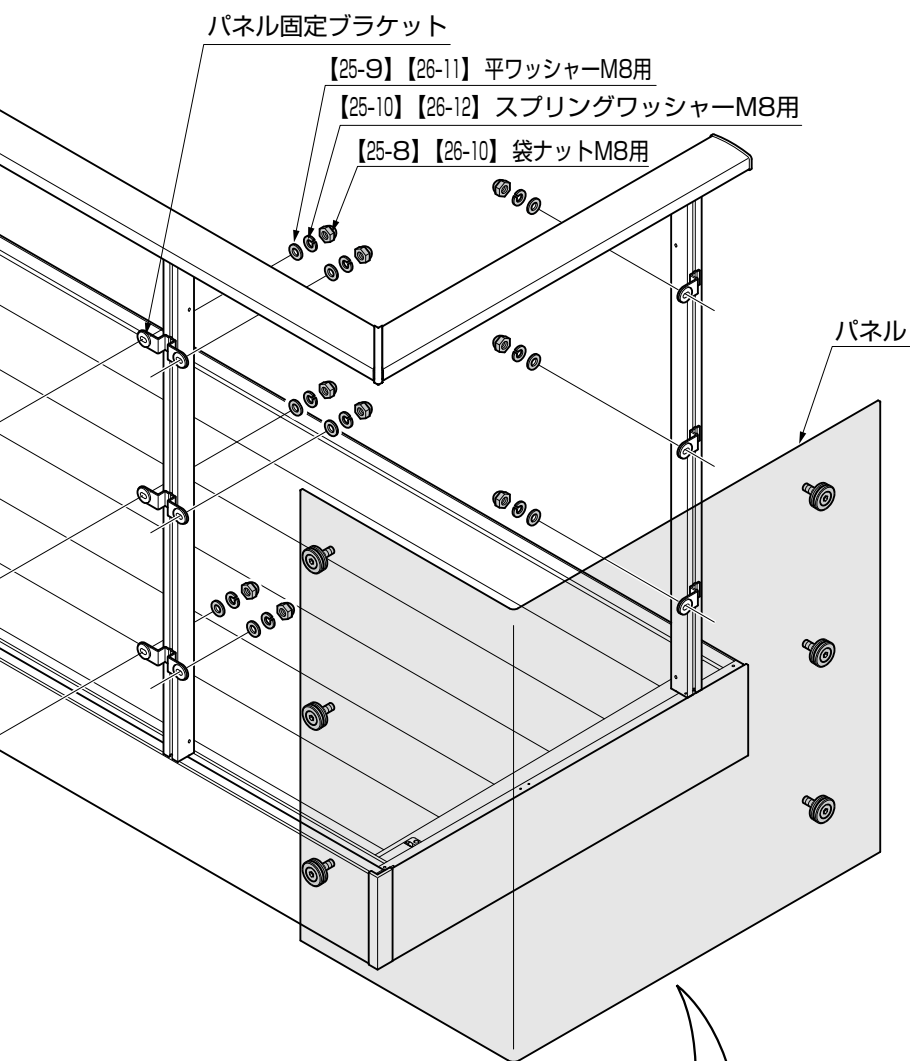


図4-12 パネルのチリ寸法の調整



6 面材の取付け

1 パネルの組立て

- ① パネル固定金具と丸平ナットをパネルに「六角穴付き皿ボルトM8×30」で取付けてください。

ポイント

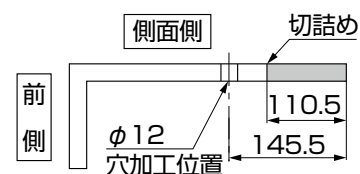
- 側面用は取付けの向きに注意してください。

○ 切詰めが必要な場合

- ② パネルにφ12の穴加工をしてください。(図4-11参照)

ポイント

- 4～6尺の場合は側面パネルの切詰めが必要となります。



2 パネルの仮固定

- ① 床にかい木などを置いてください。

ポイント

- フレームレスパネルを仮固定しやすくするために床に木材などを置いてください。

- ② パネルをパネル固定ブラケットに「平ワッシャーM8用」「スプリングワッシャーM8用」「袋ナットM8用」で仮固定してください。

3 パネルの本固定

- ① パネル左右のチリ寸法を調整してください。(図4-12参照)
- ② 「袋ナットM8用」を本締めして、パネルをパネル固定ブラケットに固定してください。

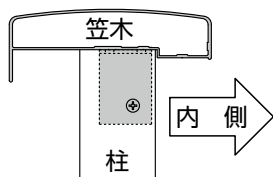
4 面材の施工 (つづき)

■縦スリット・横スリット・縦化粧格子・横化粧格子の取付け

ポイント

- 「長さ部品セット」、「妻梁部品セット」、「連結根太部品セット」(連棟時)に入っているねじで取付けてください。

4 笠木の取付け



1 取付け前の確認事項

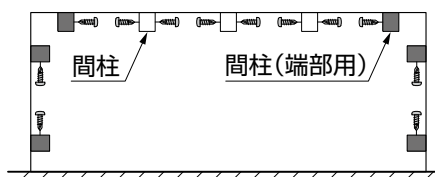


図4-4 柱の使い分けとねじの取付け本数 (2~4尺)

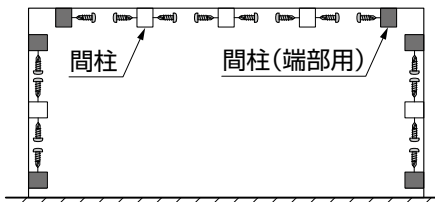


図4-5 柱の使い分けとねじの取付け本数 (5、6尺)

ポイント

- 間柱 (端部用) には間柱固定金具用の穴加工が片側にしかありません。

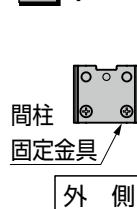
2 柱の取付け (胴差しのみ)



ポイント

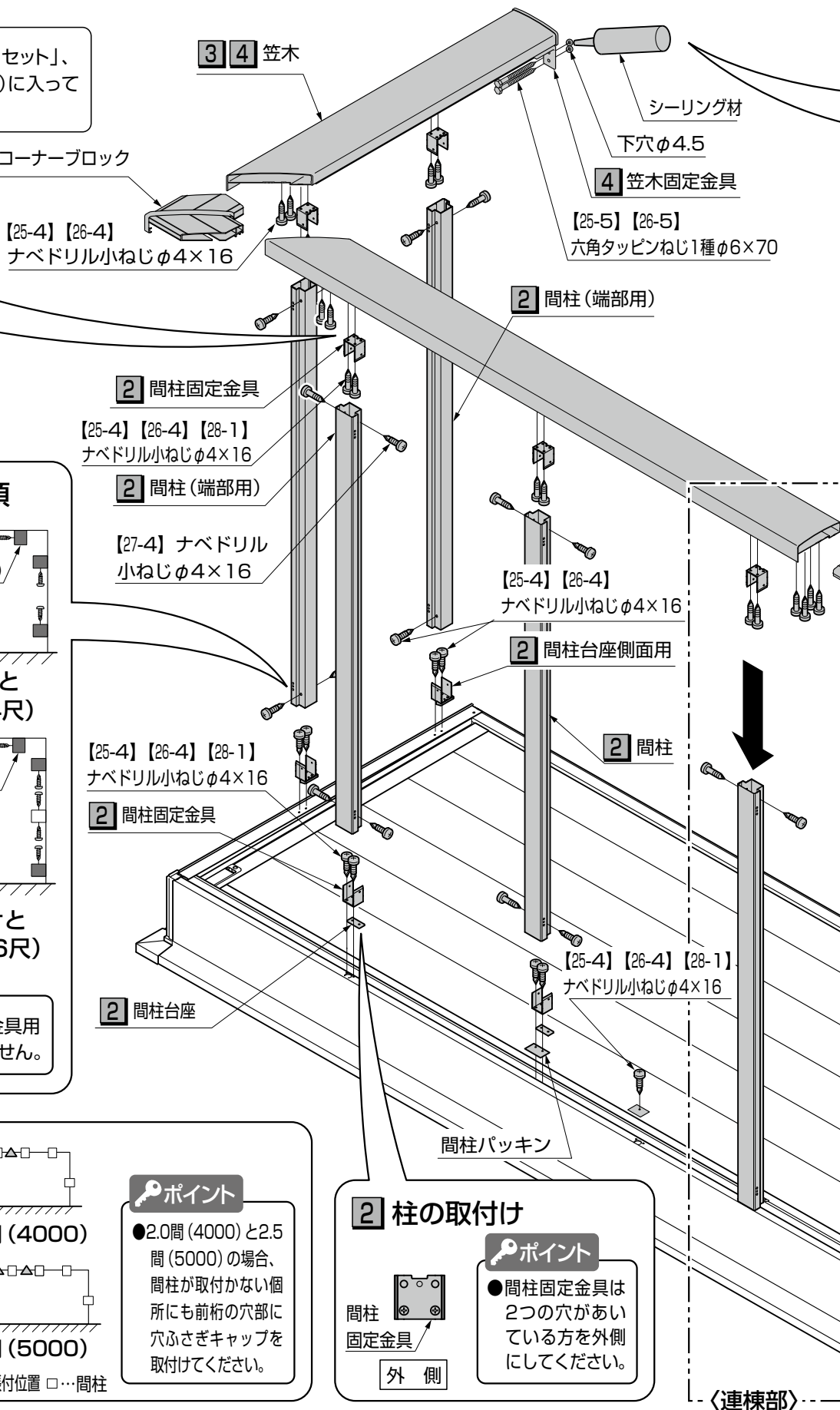
- 2.0間 (4000) と2.5間 (5000) の場合、間柱が取付かない箇所にも前桁の穴部に穴ふさぎキャップを取付けてください。

2 柱の取付け



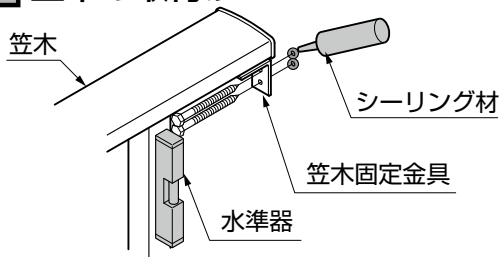
ポイント

- 間柱固定金具は2つの穴があいている方を外側にしてください。



〈連棟部〉

4 笠木の取付け



ポイント

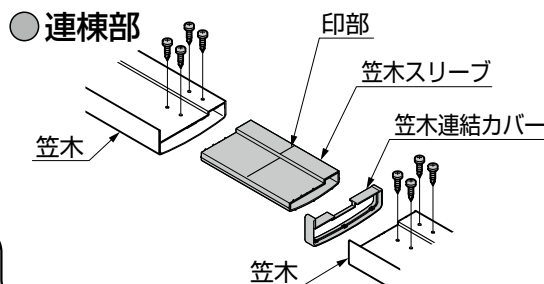
- 指定個所には、必ずシーリングを充てんしてください。
- 笠木固定金具は垂直になるように取付けてください。

3 笠木の組立て

ポイント

- 笠木スリーブ中央にある印部に笠木連結力バーがくるようにしてください。

●連棟部

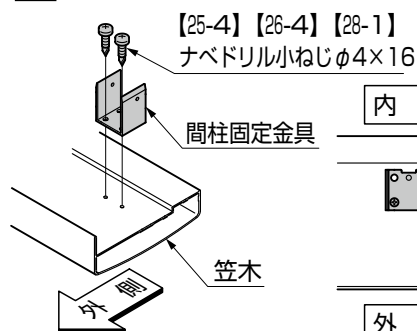


3 笠木スリーブ

3 笠木連結力バー

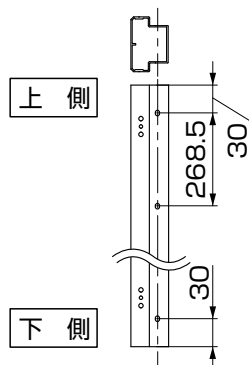
【27-4】ナベドリル
小ねじφ4×16

3 笠木の組立て



2 柱の取付け

●連棟の場合



ポイント

- 間柱（連棟用）には前後、上下があります。取付け向きを間違えないようにしてください。

ポイント

- 「ねじ」や「ワッシャー」などは図中の梱包番号(例【28-1】)を参照してください。

1 取付け前の確認事項

- ①柱の使い分けとねじの取付け個所を確認してください。
(図4-13、図4-14参照)

2 柱の取付け

- ①各取付金具を桁、妻梁に「ナベドリル小ねじφ4×16」で取付けてください。
- ②間柱、間柱(端部用)を各取付金具に「ナベドリル小ねじφ4×16」で取付けてください。

●連棟の場合

- ③連棟施工の場合、間柱(連棟用)を間柱補強金具に「ナベドリル小ねじφ4×16」で取付けてください。

3 笠木の組立て

- ①笠木を笠木コーナブロックに差込み「ナベドリル小ねじφ4×16」で取付けてください。
- ②間柱固定金具を笠木に「ナベドリル小ねじφ4×16」で取付けてください。

●連棟の場合

- ③笠木スリーブを笠木に「ナベドリル小ねじφ4×16」で取付けてください。
- ④笠木連結力バーを笠木にはめ込んでください。

ポイント

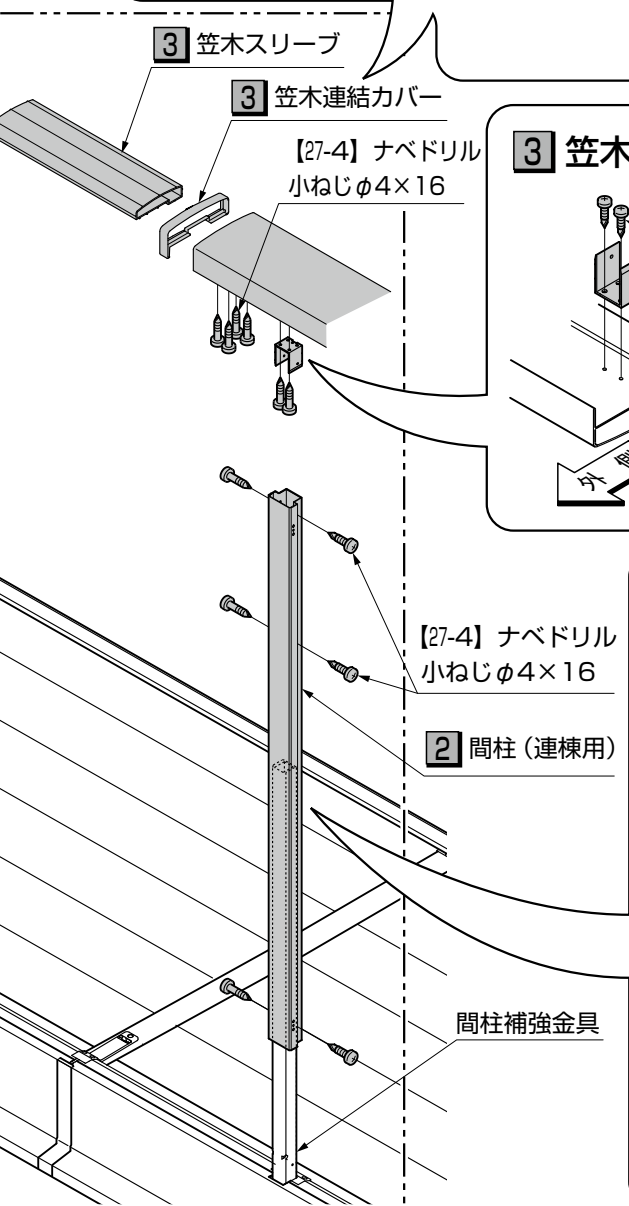
- 逆側の笠木は後の手順で取付けます。

4 笠木の取付け

- ①外壁に下穴φ4.5をあけ、シーリングしてください。
- ②笠木を柱に「ナベドリル小ねじφ4×16」で取付けてください。
- ③笠木固定金具を躯体に「六角タッピンねじ1種φ6×70」で取付けてください。

●連棟の場合

- ④片側の笠木を取付けた後、連結する側の笠木を笠木スリーブに「ナベドリル小ねじφ4×16」で取付けてください。
- ⑤連結した笠木を間柱(連棟用)に「ナベドリル小ねじφ4×16」で取付けてください。



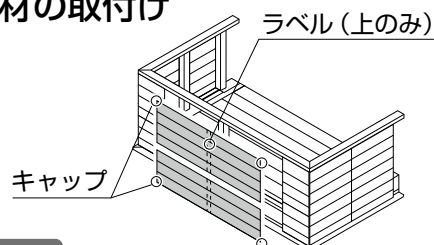
4 面材の施工 (つづき)

■縦スリット・横スリット・縦化粧格子・横化粧格子の取付け (つづき)

ポイント

- 図は横化粧格子で示しています。縦スリット・横スリット・縦化粧格子も取付けは同様です。
- 面材は対角を出してから取付けてください。

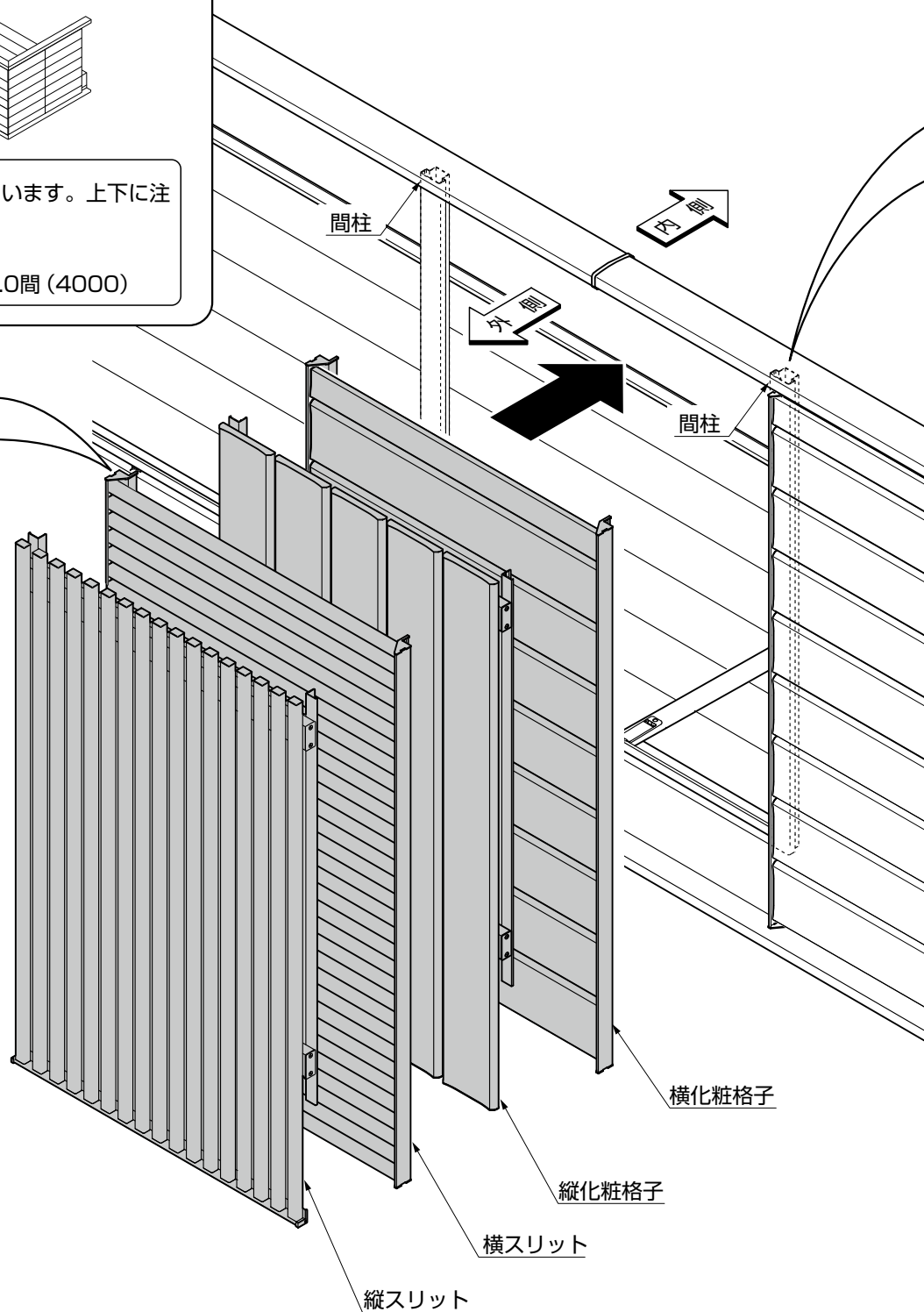
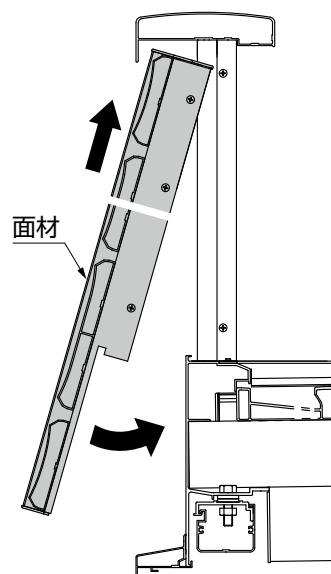
5 面材の取付け



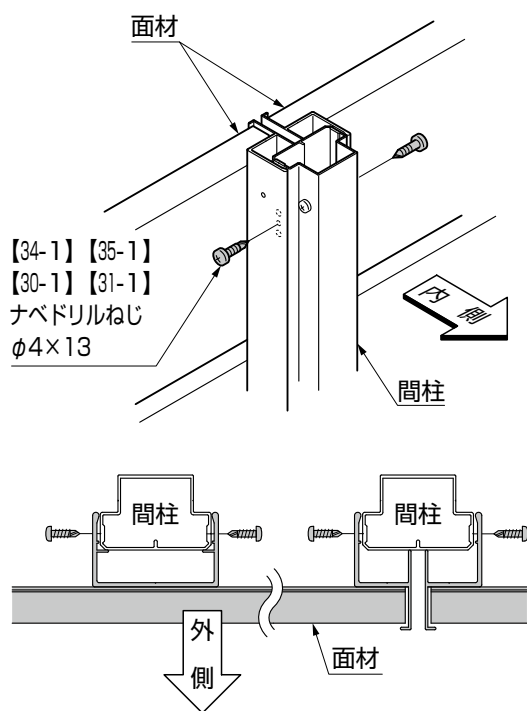
ポイント

- 下記の面材は上下2分割になっています。上下に注意して取付けてください。
横スリット：2.0間 (4000)
横化粧格子：1.5間 (3000)、2.0間 (4000)

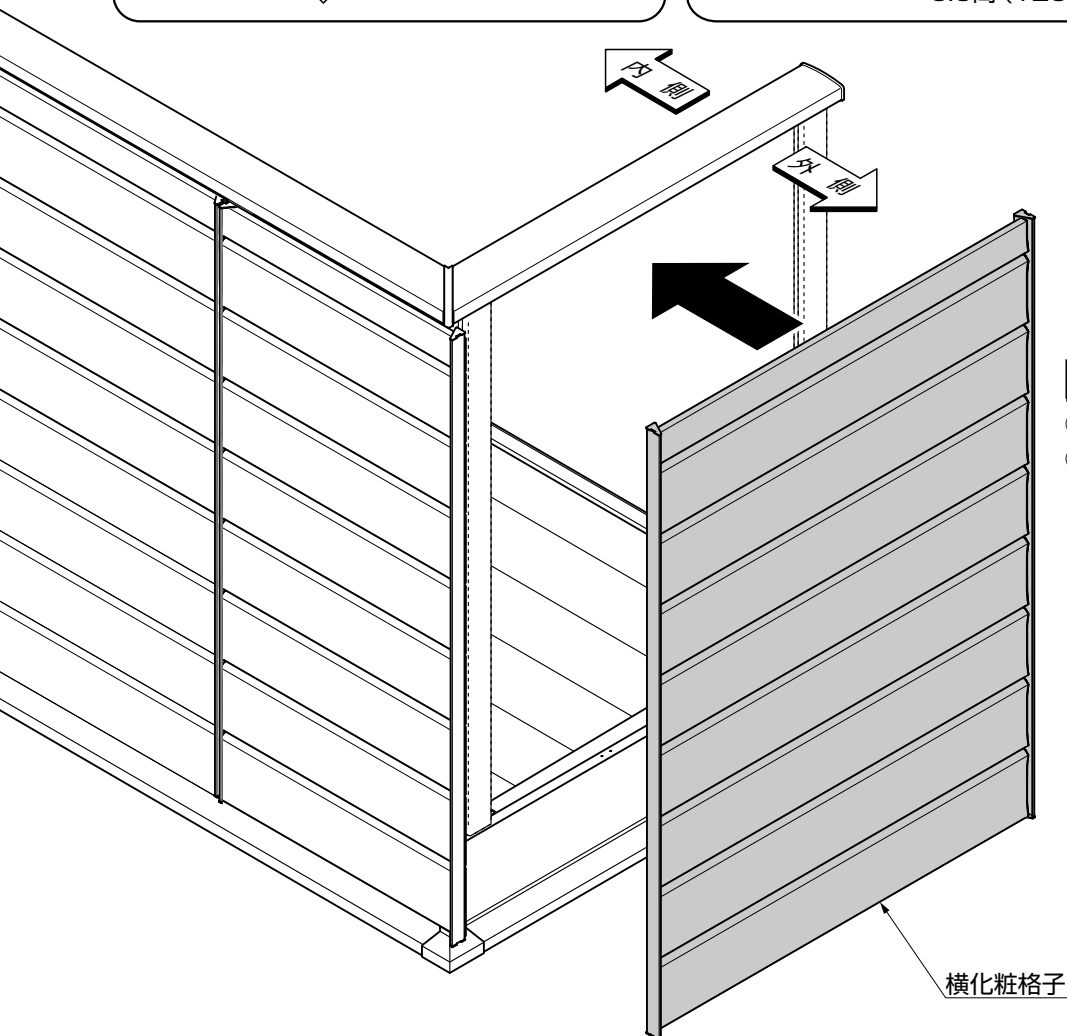
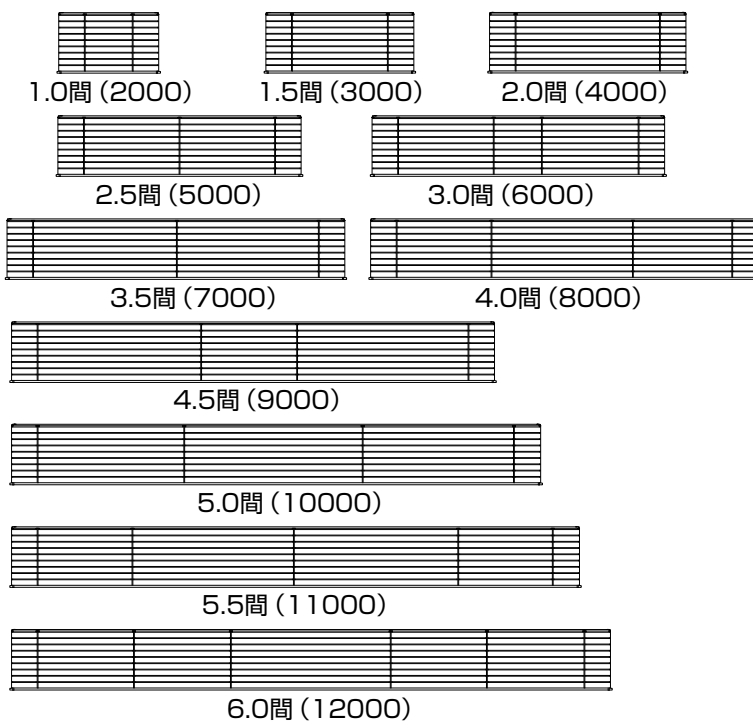
●面材の入れ方



5 面材の取付け



● 面材の割付け



5 面材の取付け

- ① 面材を間柱間に設置してください。
- ② 面材を間柱に「ナベドリルねじ φ4×13」で取付けてください。

4 面材の施工 (つづき)

■全面サイディングの取付け

ポイント

- 「長さ部品セット」、「妻梁部品セット」、「連結根太部品セット」(連棟時)に入っているねじで取付けてください。

【25-5】 【26-5】

六角タッピンねじ1種φ6×70

3 4 笠木

シーリング材

下穴φ4.5

3 笠木固定金具

3 笠木コーナブロック

【25-4】 【26-4】ナベドリル小ねじφ4×16

3 間柱固定金具

【25-4】 【26-4】 【28-1】
ナベドリル小ねじφ4×16

【25-4】 【26-4】
ナベドリル小ねじφ4×16

3 4 笠木

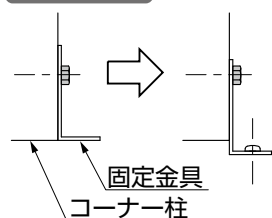
2 柱の取付け

【25-4】 【26-4】 【28-1】
ナベドリル小ねじφ4×16

前桁

妻梁

ポイント



- コーナー柱と固定金具を固定しているねじをゆるめて上下に移動し、桁・笠木を固定してください。

固定金具
コーナー柱

【25-4】 【26-4】 【28-1】 ナベドリル小ねじφ4×16

2 コーナー柱

2 端部柱

【25-4】 【26-4】
ナベドリル小ねじφ4×16

2 間柱台座側面用

妻梁

2 間柱

【25-4】 【26-4】 【28-1】 ナベドリル小ねじφ4×16

2 間柱固定金具

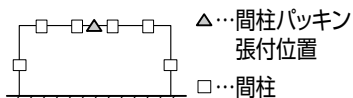
2 間柱台座

3 間柱
パッキン

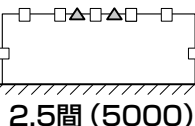
2 柱の取付け (胴差しのみ)

間柱

パッキン



2.0間 (4000)



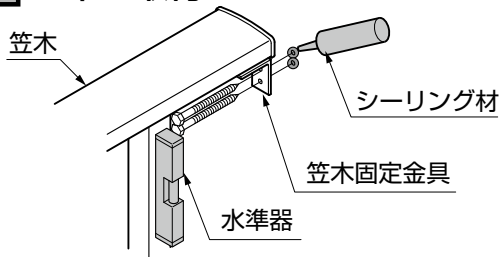
2.5間 (5000)

ポイント

- 2.0間 (4000) と 2.5間 (5000) の場合、間柱が取付かない箇所にも前桁の穴部に間柱パッキンを張付けてください。

前桁

4 笠木の取付け



ポイント

- 指定箇所には、必ずシーリングを充てんしてください。
- 笠木固定金具は垂直になるように取付けてください。

ポイント

- 「ねじ」や「ワッシャー」などは図中の梱包番号(例【28-1】)を参照してください。

1 取付け前の確認事項

- ①柱の使い分けとねじの取付け箇所を確認してください。

2 柱の取付け

- ①各取付金具を桁、妻梁に「ナベドリル小ねじφ4×16」で取付けてください。
- ②間柱、端部柱を各取付金具に「ナベドリル小ねじφ4×16」で取付けてください。
- ③コーナー柱を桁、妻梁に「ナベドリル小ねじφ4×16」で取付けてください。

●連棟の場合

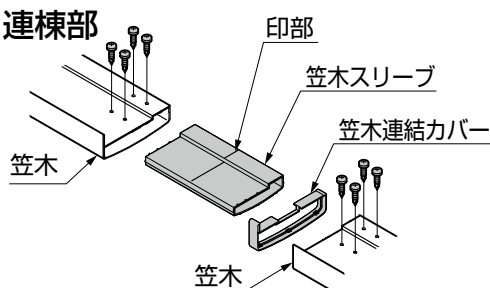
- ④間柱(連棟用)を間柱補強金具に「ナベドリル小ねじφ4×16」で取付けてください。

3 笠木の組立て

●連棟部

ポイント

- 笠木スリーブ中央にある印部に笠木連結カバーがくるようにしてください。



〈連棟部〉

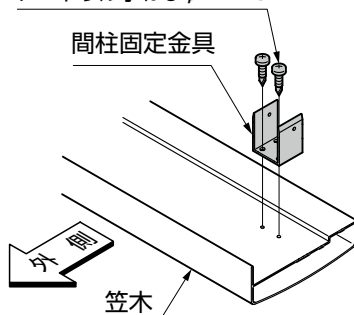
3 笠木スリーブ

3 笠木連結カバー

【27-4】ナベドリル小ねじφ4×16

3 笠木の組立て

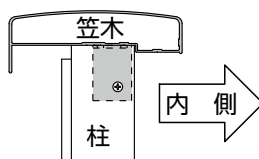
【25-4】【26-4】【28-1】
ナベドリル小ねじφ4×16



内側

外側

4 笠木の取付け



3 笠木の組立て

- ①笠木を笠木コーナブロックに差込み「ナベドリル小ねじφ4×16」で取付けてください。
- ②間柱固定金具を笠木に「ナベドリル小ねじφ4×16」で取付けてください。

●連棟の場合

- ③笠木スリーブを笠木に「ナベドリル小ねじφ4×16」で取付けてください。
- ④笠木連結カバーを笠木にはめ込んでください。

ポイント

- 逆側の笠木は後の手順で取付けます。

4 笠木の取付け

- ①外壁に下穴φ4.5をあけ、シーリングしてください。
- ②笠木を間柱に「ナベドリル小ねじφ4×16」で取付けてください。
- ③笠木固定金具を躯体に「六角タッピンねじ1種φ6×70」で取付けてください。

●連棟の場合

- ④片側の笠木を取付けた後、連結する側の笠木を笠木スリーブに「ナベドリル小ねじφ4×16」で取付けてください。
- ⑤連結した笠木を間柱(連棟用)に「ナベドリル小ねじφ4×16」で取付けてください。

4 面材の施工 (つづき)

■全面サイディングの取付け (つづき)

5 面材の取付け

3 パネルの取付け

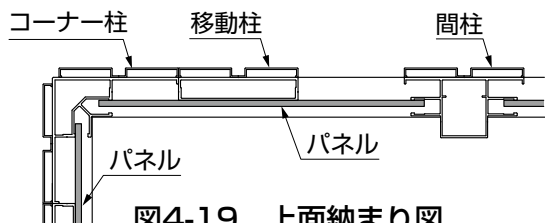


図4-19 上面納まり図

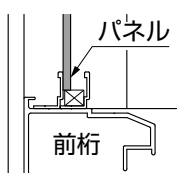


図4-20

前桁側納まり図 (正面)

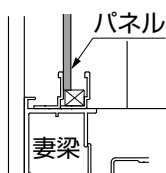
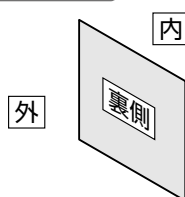


図4-21

妻梁側納まり図 (側面)

ポイント

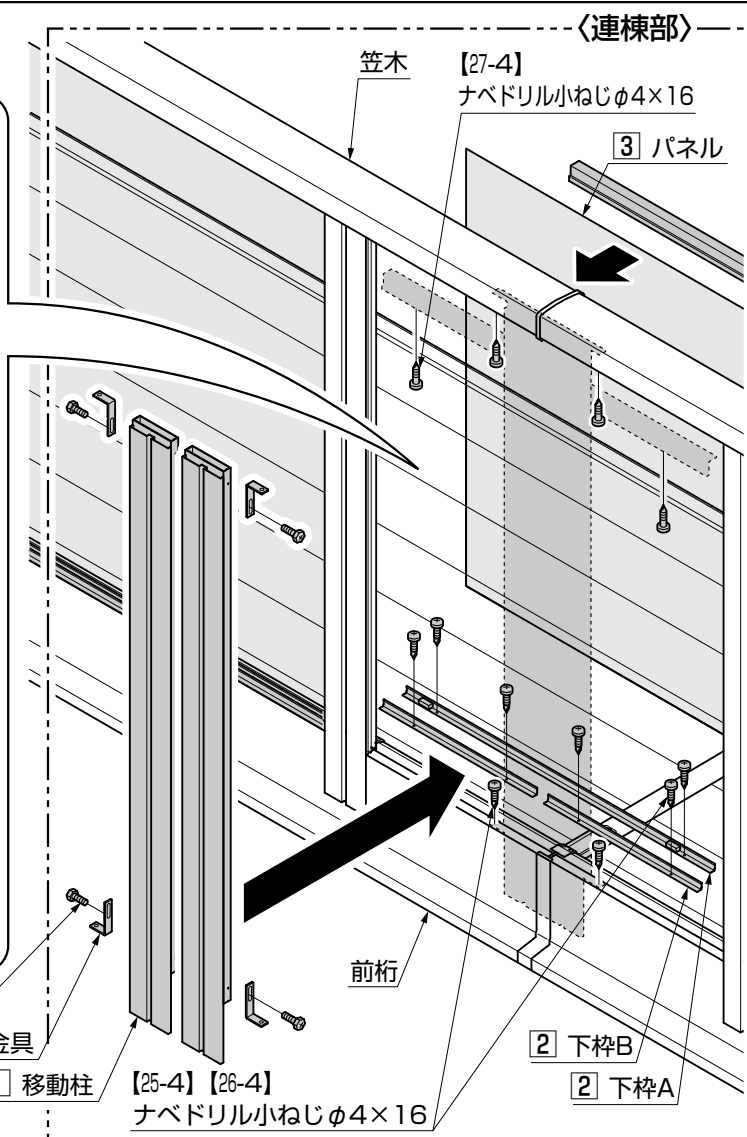


●シールのある方を外側に
向けてください。

【25-6】【26-7】【27-5】【28-13】 十字穴付き六角小ねじM4×10 (仮止め)

1 移動柱固定金具

1 移動柱



〈連棟部〉

笠木

【27-4】
ナベドリル小ねじφ4×16

3 パネル

前桁

【25-4】【26-4】
ナベドリル小ねじφ4×16

2 下枠B

2 下枠A

2 下枠の取付け

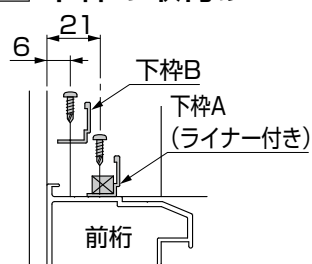


図4-17

前桁側納まり図 (正面)

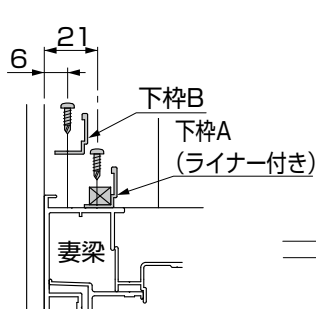


図4-18

妻梁側納まり図 (側面)

下枠A
(ライナー付き)

ポイント

●下枠Aは間柱の
内々に、下枠B
は移動柱～間
柱間に取付け
てください。

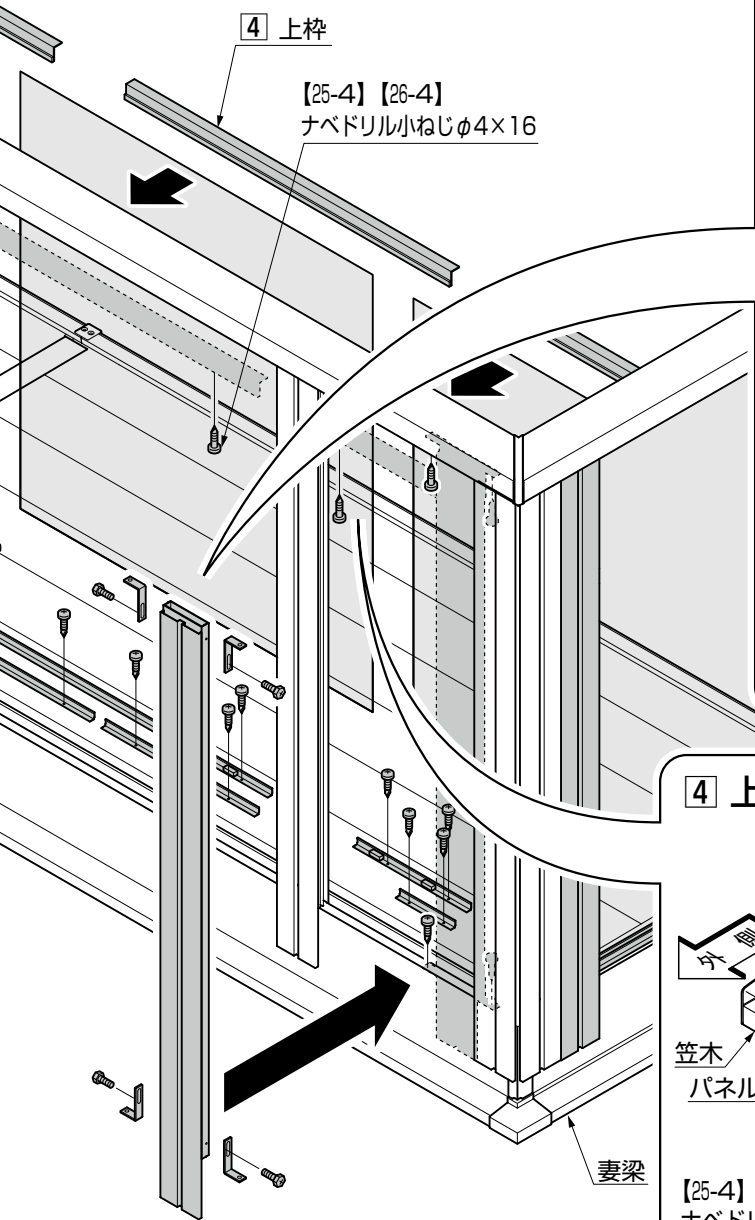
V溝合わせ

1 移動柱の取付け

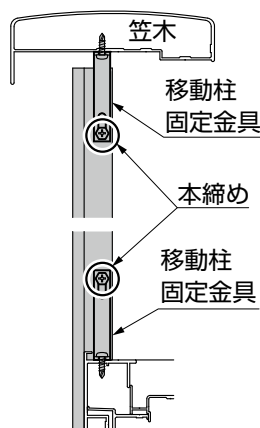
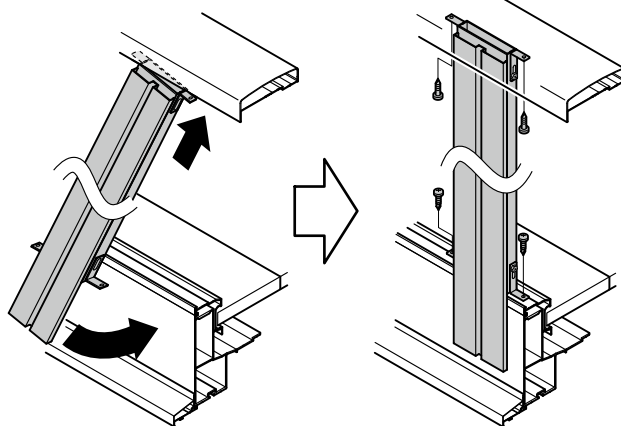
- ①移動柱固定金具を移動柱に「十字穴付き六角小ねじM4×10」で仮止めしてください。
- ②移動柱を笠木と桁または妻梁間に回転させながらはめ込んでください。
- ③移動柱固定金具を笠木と桁または妻梁に「ナベドリル小ねじφ4×16」で取付けてください。
- ④「十字穴付き六角小ねじM4×10」を本締めしてください。

○連棟の場合

- ①移動柱固定金具を移動柱に「十字穴付き六角小ねじM4×10」で仮止めしてください。
- ②柱固定金具を連棟部の笠木と桁に「ナベドリル小ねじφ4×16」で取付けてください。
- ③「十字穴付き六角小ねじM4×10」を本締めしてください。



1 移動柱の取付け

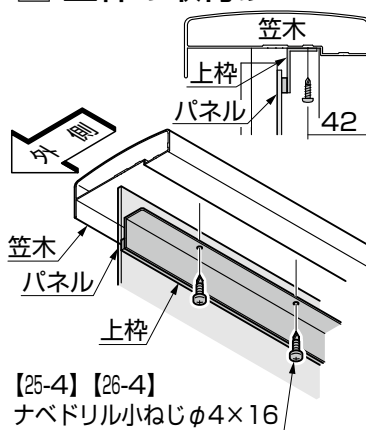


ポイント

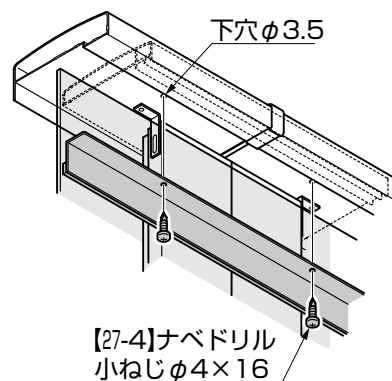
ゆるめる
固定金具
コーナー柱

●コーナー柱と固定金具を固定しているねじをゆるめて上下に移動し、桁・笠木を固定してください。

4 上枠の取付け



○連棟の場合



2 下枠の取付け

- ①下枠Aを前桁または妻梁のV溝に合わせて「ナベドリル小ねじφ4×16」で取付けてください。
- ②下枠Bを前桁または妻梁に「ナベドリル小ねじφ4×16」で取付けてください。

3 パネルの取付け

- ①パネルをはめ込んでください。

4 上枠の取付け

- ①上枠をパネルを押えるようにして、笠木に「ナベドリル小ねじφ4×16」で取付けてください。

○連棟の場合

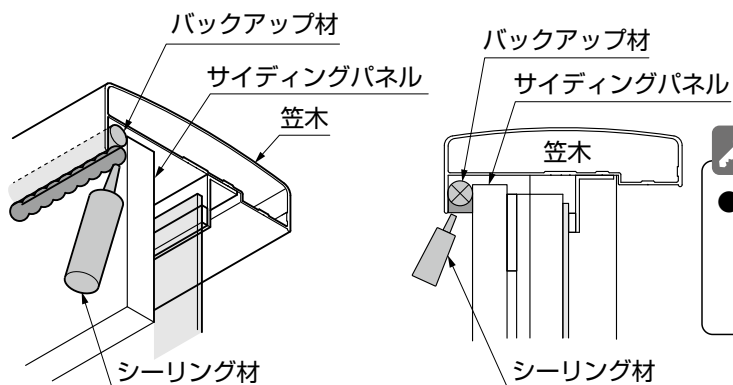
- ②笠木に下穴φ3.5をあけ、上枠を笠木に「ナベドリル小ねじφ4×16」で取付けてください。

4 面材の施工 (つづき)

■全面サイディングの取付け (つづき)

5 面材の取付け (つづき)

6 サイディングパネルの取付け



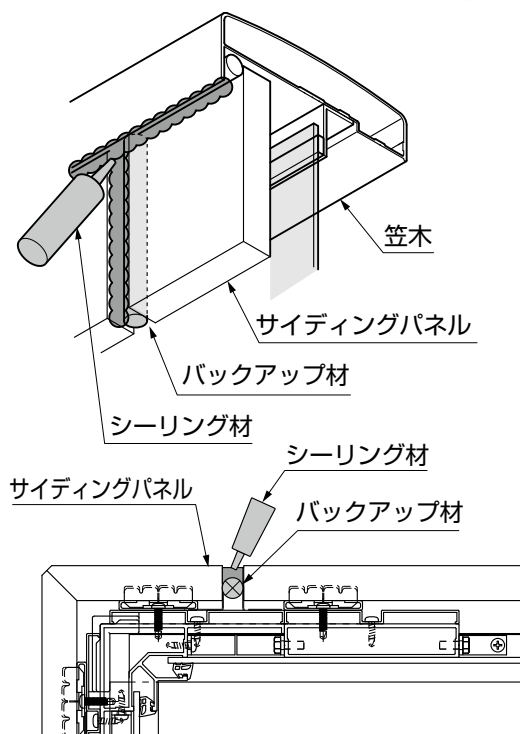
ポイント

●指定個所には、必ずシーリングを充てんしてください。

【25-17】 【26-13】 【27-19】 【28-14】
皿ドリルねじ (フレキ頭) $\phi 4 \times 40$
【51-1】 皿ドリルねじ (フレキ頭) $\phi 4 \times 30$

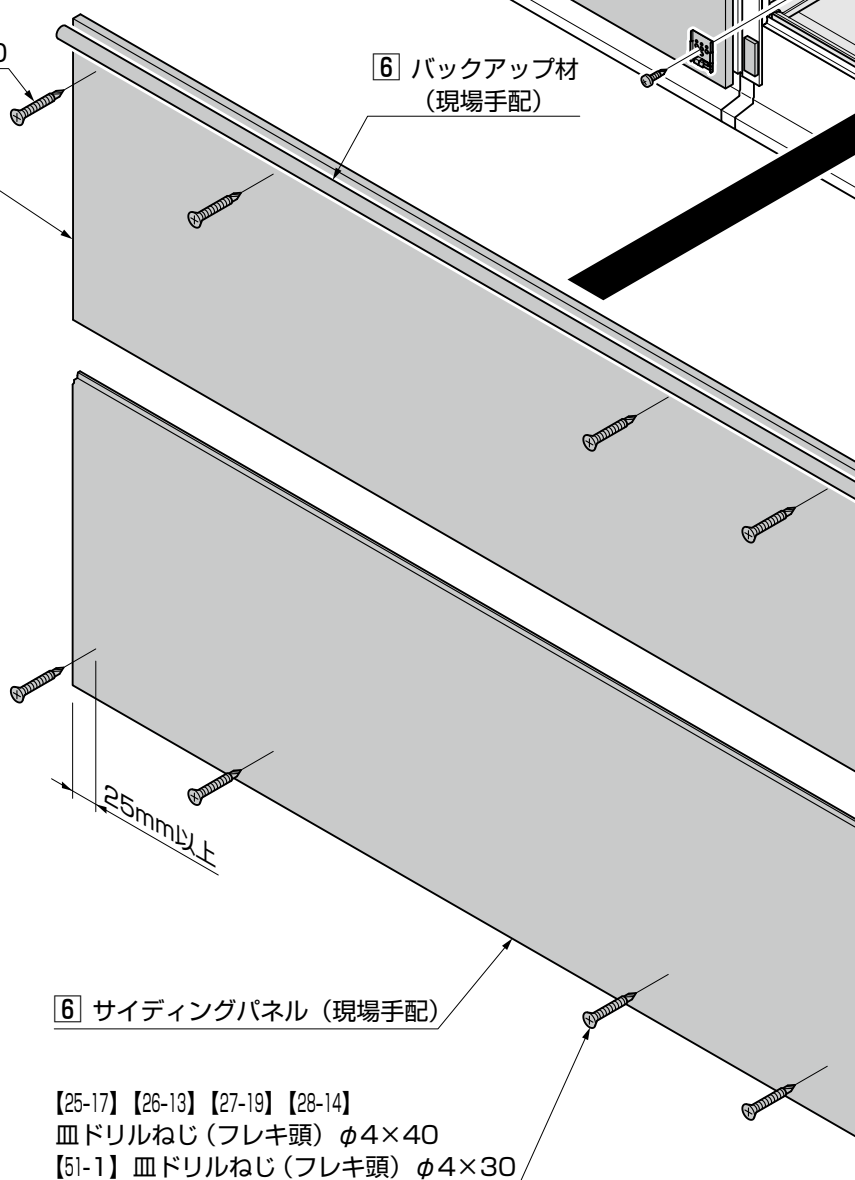
6 サイディングパネル (現場手配)

6 サイディングパネルの取付け



ポイント

●指定個所には、必ずシーリングを充てんしてください。



5 後付けビードの取付け

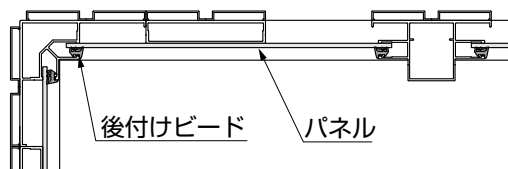


図4-22 上面納まり図

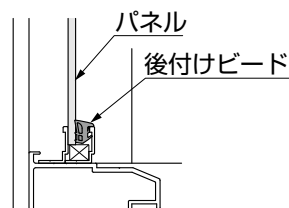
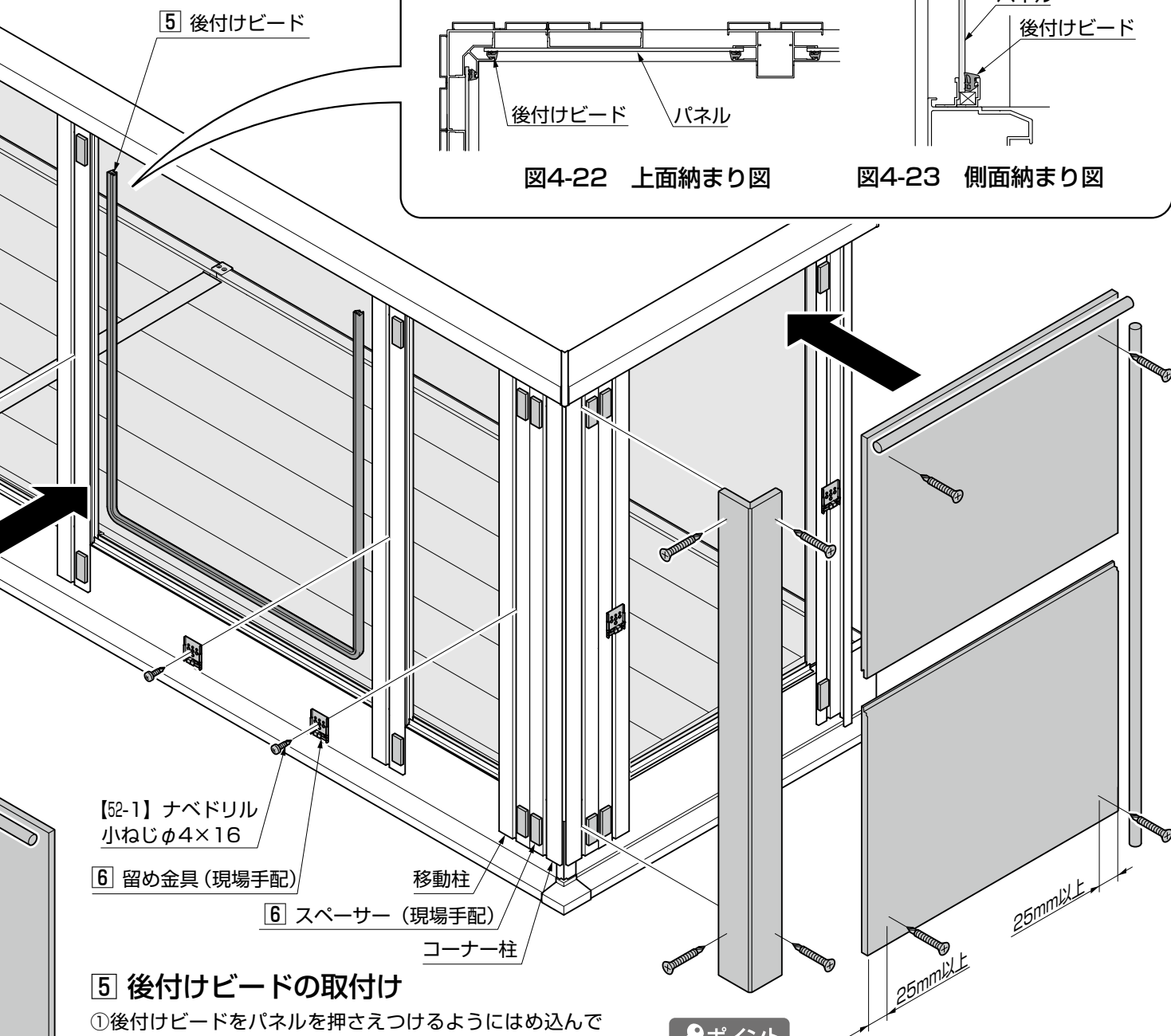


図4-23 側面納まり図



【52-1】ナベドリル
小ねじφ4×16

6 留め金具 (現場手配)

6 スペース (現場手配)

移動柱

コーナー柱

5 後付けビードの取付け

- ① 後付けビードをパネルを押さえつけるようにはめ込んでください。
(コーナー部はビードの外側を一部カットしはめ込んでください。)

6 サイディングパネルの取付け

○金具止め施工

- ① スペース (現場手配) を各柱に取付けてください。
- ② サイディングパネルを各柱に「皿ドリルねじ (フレキ頭) φ4×40」で取付けてください。
- ③ 留め金具 (現場手配) を各柱に「【52-1】ナベドリル小ねじ φ4×16」で取付けてください。
- ④ サイディングパネルと部材 (笠木、サイディングパネル、端部柱) のすき間にバックアップ材を挿入してシーリングしてください。

ポイント

- サイディングのひび割れ防止のため、下記事項をお守りください。
 - ・ サイディングのねじ止めの際は、必ずサイディングパネルに下穴 (φ4.5穴) をあけてください。
 - ・ ねじは斜めに打たないでください。

○ねじ止め施工

- ① サイディングパネルを各柱に「皿ドリルねじ (フレキ頭) φ4×40」、「【51-1】皿ドリルねじ (フレキ頭) φ4×30」で取付けてください。
- ※ 補修塗装をする場合は、ねじ頭を補修用パテで埋めてから行なってください。

4 面材の施工 (つづき)

■サイディング／パンチングの取付け

ポイント

- 「長さ部品セット」、「妻梁部品セット」、「連結根太部品セット」(連棟時)に入っているねじで取付けてください。

【25-5】 【26-5】

六角タッピンねじ1種φ6×70

【3】 【4】 笠木

【25-4】 【26-4】ナベドリル
小ねじφ4×16

シーリング材

下穴φ4.5

【3】 笠木固定金具

【3】 笠木コーナブロック

【2】 間柱 (サイディング用)

【2】 間柱の取付け

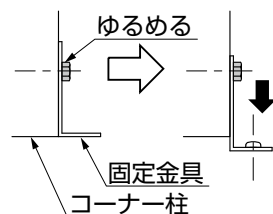
【25-4】 【26-4】

ナベドリル小ねじφ4×16

前桁

妻梁

ポイント



- コーナー柱と固定金具を固定しているねじをゆるめて上下に移動し、桁・笠木を固定してください。

【2】 コーナー柱

【25-4】 【26-4】 【28-1】 ナベドリル小ねじφ4×16

【2】 異パネル用間柱

【25-4】 【26-4】 【28-1】 ナベドリル小ねじφ4×16

【2】 間柱固定金具

【2】 間柱台座

【2】 間柱台座側面用

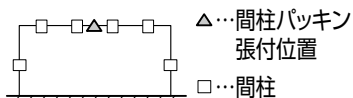
妻梁

異パネル取付側

【3】 間柱
パッキン

【2】 柱の取付け (胴差しのみ)

間柱
パッキン



2.0間 (4000)

2.5間 (5000)

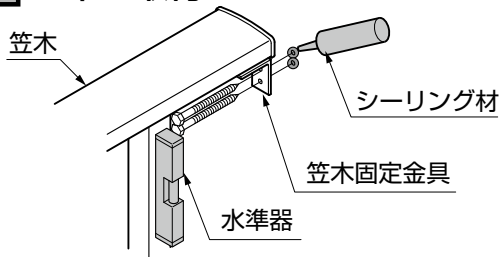
前桁

ポイント

- 2.0間 (4000) と 2.5間 (5000) の場合、間柱が取付かない箇所にも前桁の穴部に間柱パッキンを張付けてください。

前桁

4 笠木の取付け



ポイント

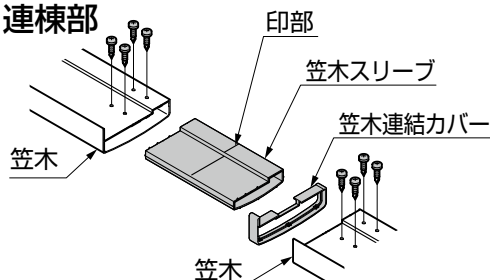
- 指定箇所には、必ずシーリングを充てんしてください。
- 笠木固定金具は垂直になるように取付けてください。

3 笠木の組立て

●連棟部

ポイント

- 笠木スリーブ中央にある印部に笠木連結カバーがくるようにしてください。

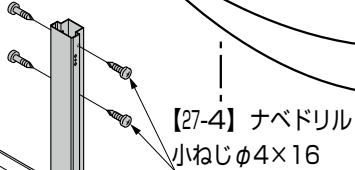


〈連棟部〉

3 笠木スリーブ

3 笠木連結カバー

【27-4】ナベドリル小ねじφ4×16



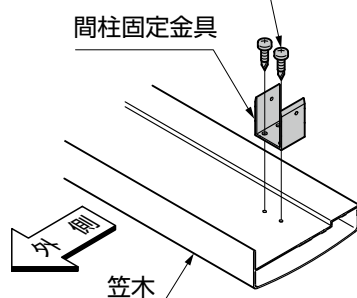
【27-4】ナベドリル小ねじφ4×16

2 間柱(連棟用)

間柱補強金具

3 笠木の組立て

【25-4】【26-4】【28-1】
ナベドリル小ねじφ4×16

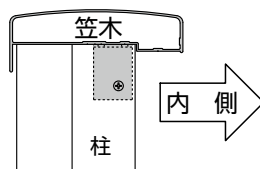


外側

内側

外側

4 笠木の取付け



柱

ポイント

- 「ねじ」や「ワッシャー」などは図中の梱包番号(例【28-1】)を参照してください。

1 取付け前の確認事項

- ①柱の使い分けとねじの取付け箇所を確認してください。

2 柱の取付け

- ①各取付金具を桁、妻梁に「ナベドリル小ねじφ4×16」で取付けてください。
- ②間柱、端部柱を各取付金具に「ナベドリル小ねじφ4×16」で取付けてください。
- ③コーナー柱を桁、妻梁に「ナベドリル小ねじφ4×16」で取付けてください。

●連棟の場合

- ④間柱(連棟用)を間柱補強金具に「ナベドリル小ねじφ4×16」で取付けてください。

3 笠木の組立て

- ①笠木を笠木コーナブロックに差込み「ナベドリル小ねじφ4×16」で取付けてください。
- ②間柱固定金具を笠木に「ナベドリル小ねじφ4×16」で取付けてください。

●連棟の場合

- ③笠木スリーブを笠木に「ナベドリル小ねじφ4×16」で取付けてください。
- ④笠木連結カバーを笠木にはめ込んでください。

ポイント

- 逆側の笠木は後の手順で取付けます。

4 笠木の取付け

- ①外壁に下穴φ4.5をあけ、シーリングしてください。
- ②笠木を間柱に「ナベドリル小ねじφ4×16」で取付けてください。
- ③笠木固定金具を躯体に「六角タッピンねじ1種φ6×70」で取付けてください。

●連棟の場合

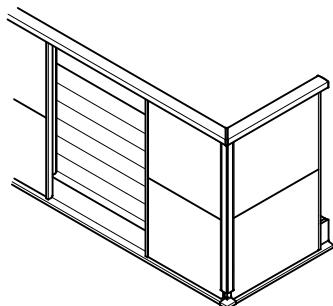
- ④片側の笠木を取付けた後、連結する側の笠木を笠木スリーブに「ナベドリル小ねじφ4×16」で取付けてください。
- ⑤連結した笠木を間柱(連棟用)に「ナベドリル小ねじφ4×16」で取付けてください。

4 面材の施工 (つづき)

■サイディング／パンチングの取付け (つづき)

5 面材の取付け

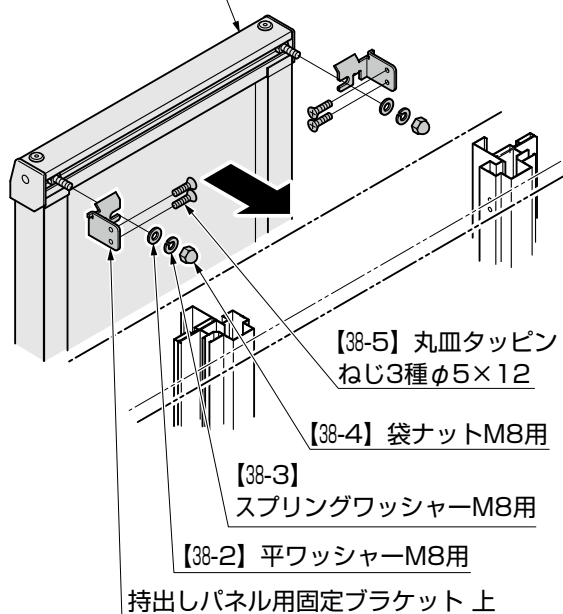
ポイント



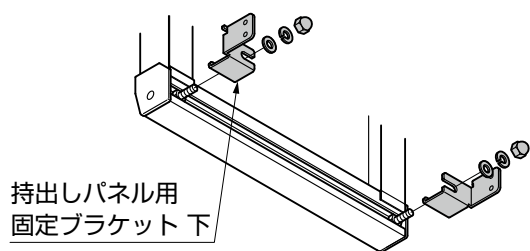
- パンチングパネルは、正面側の間柱間のみ取付け可能です。
- パンチングパネル以外の取付けについては「●全面サイディングの取付け」(P.38)を参照してください。

2 パンチングパネルの取付け

パンチングパネル



ポイント



- 下側も同様に取付けてください。

【38-4】袋ナットM8用

【38-3】スプリング
ワッシャーM8用

【38-2】
平ワッシャーM8用

2 持出しパネル用
固定ブラケット 上

【38-5】丸皿タッピン
ねじ3種φ5×12

2 パンチングパネル

① 下胴縁の取付け

○連棟の場合

【38-1】

ナベドリル小ねじ $\phi 4 \times 16$

サイディング下胴縁連結カバー

下胴縁

ポイント

- 2.0間、2.5間通しを施工の場合、下胴縁をねじ止めできない場合があります。その際はねじ止め位置をズラして取付けてください。
- 既存の穴には穴ふさぎシールを張ってください。

① 下胴縁の取付け

- ① 下胴縁を前桁に「ナベドリル小ねじ $\phi 4 \times 16$ 」で取付けてください。

○連棟の場合

- ② サイディング下胴縁連結カバーを下胴縁に「ナベドリル小ねじ $\phi 4 \times 16$ 」で取付けてください。

② パンチングパネルの取付け

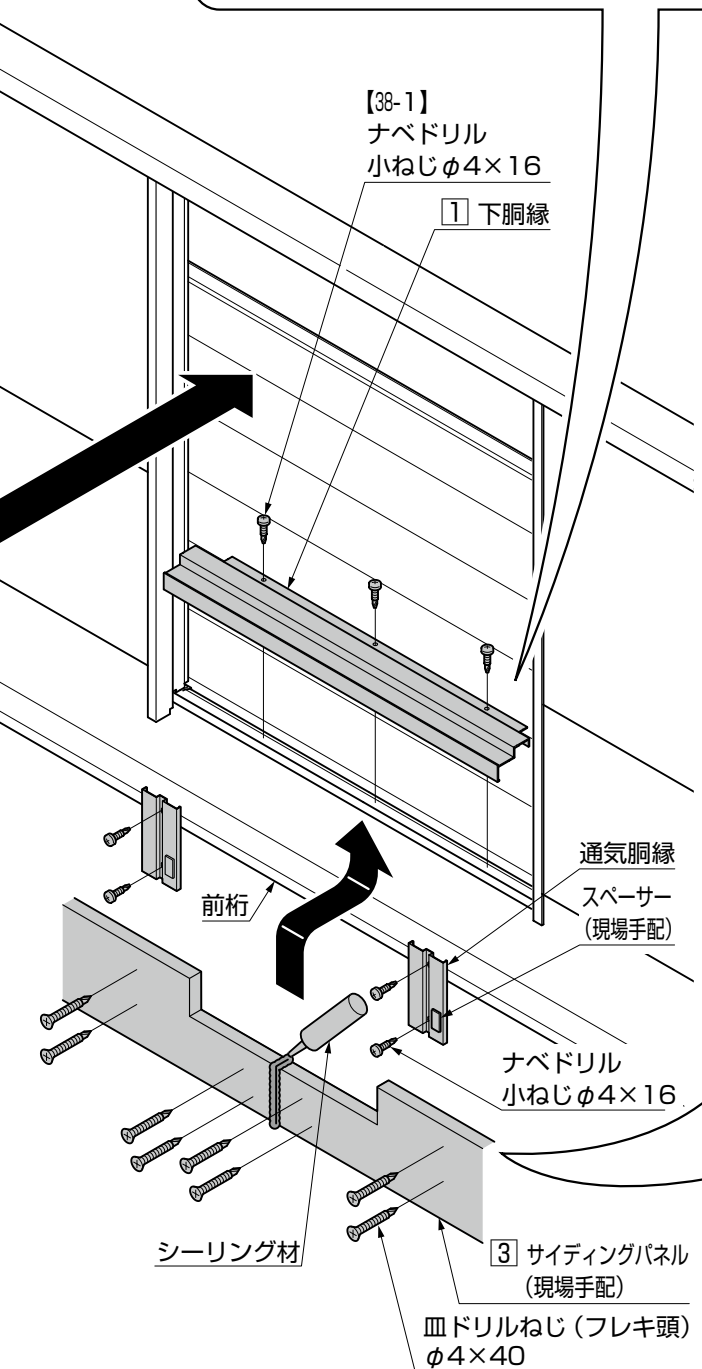
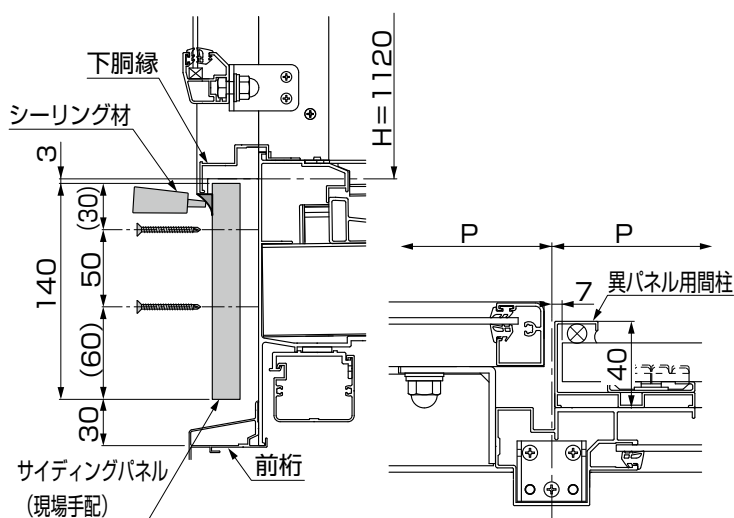
- ① 持出しパネル用固定ブラケットをパンチングパネルに「平ワッシャーM8用」「スプリングワッシャーM8用」「袋ナットM8用」で取付けてください。
- ② パンチングパネルを柱に「丸皿タッピンねじ3種 $\phi 5 \times 12$ 」で取付けてください。

③ サイディングパネルの取付け

- ① サイディングパネルを下胴縁に差し込み、前桁に皿ドリルねじ（フレキ頭） $\phi 4 \times 40$ で取付けてください。

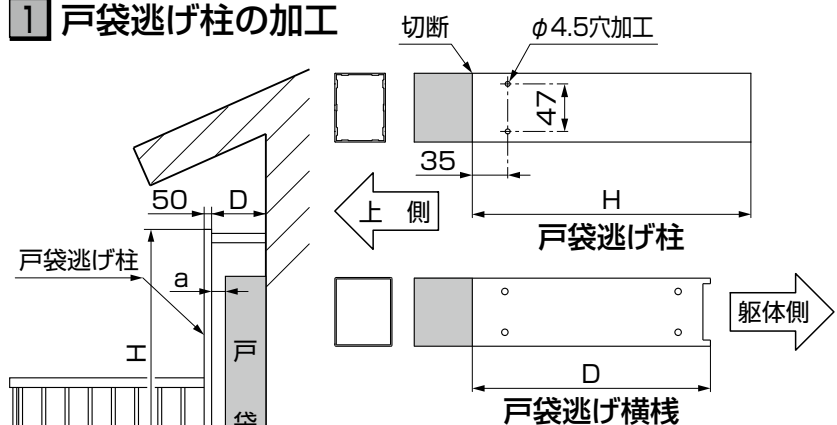
※補修塗装をする場合は、ねじ頭を補修用パテで埋めてから行なってください。

③ サイディングパネルの取付け



5 戸袋逃げ柱の施工

1 戸袋逃げ柱の加工



- ① 戸袋逃げ柱のH、Dを実測してください。
- ② 戸袋逃げ柱、戸袋逃げ横棧を加工してください。

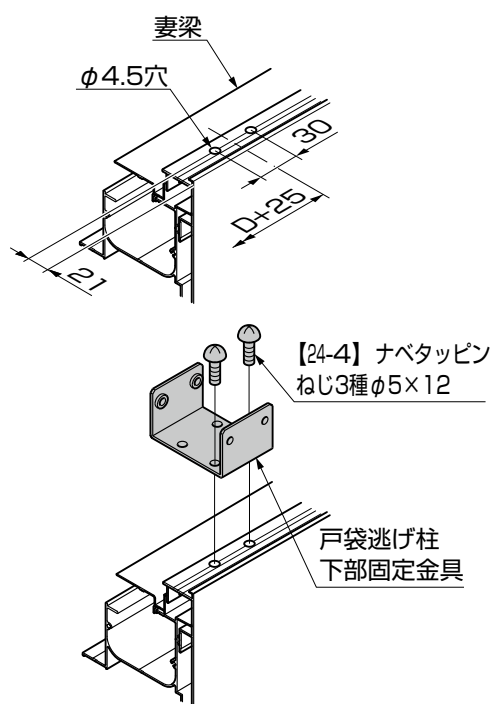
ポイント

- 戸袋逃げ柱は上側を加工してください。

警告

- 戸袋と戸袋逃げ柱などの各部材までの隙間(a,b,c)は、110mm以下にしてください。転落のおそれがあります。

2 固定金具の取付け



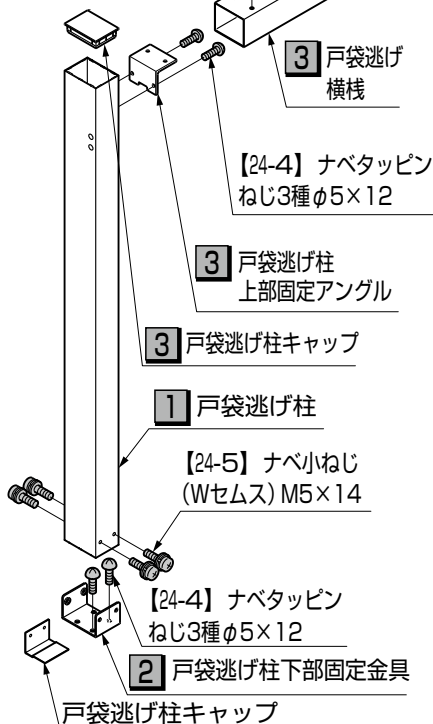
- ① 妻梁を加工してください。
- ② 戸袋逃げ柱下部固定金具を妻梁に【24-4】で取付けてください。

3 戸袋逃げ柱調整棧躯体取付アングル

4 【24-3】 六角タッピンねじ 1種φ6×70

【24-5】 ナベ小ねじ (Wセムス) M5×14

【24-5】 ナベ小ねじ (Wセムス) M5×14

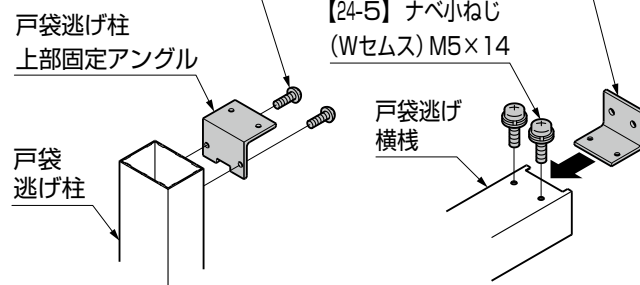


3 戸袋逃げ柱の組立て

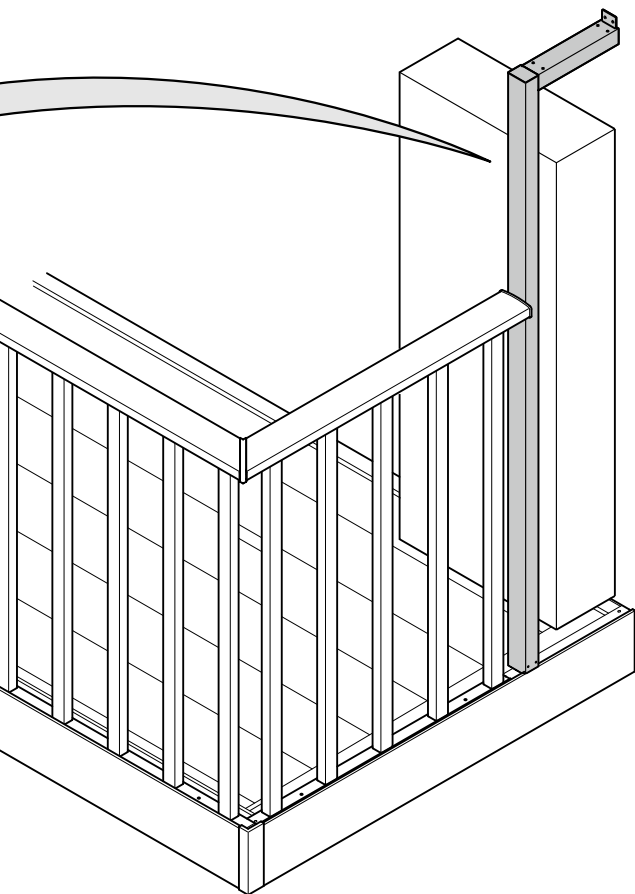
【24-4】 ナベタッピンねじ3種φ5×12

戸袋逃げ柱調整棧躯体取付アングル

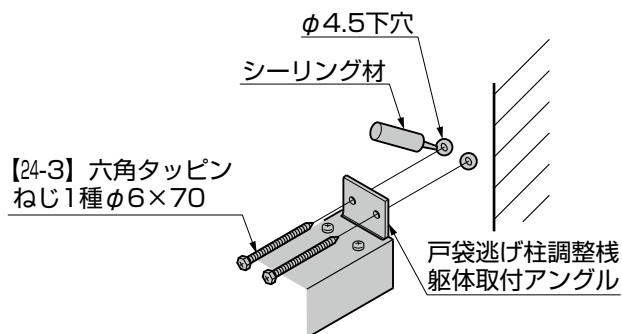
【24-5】 ナベ小ねじ (Wセムス) M5×14



- ① 各アングルを戸袋逃げ柱、戸袋逃げ横棧に【24-4】【24-5】で取付けてください。



4 戸袋逃げ柱の取付け

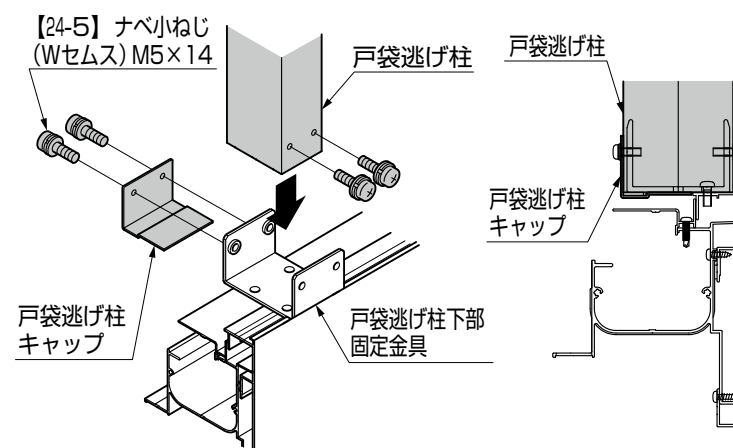


- ① φ4.5の穴を躯体にあけてください。
- ② 下穴にシーリング材を充てんしてください。

ポイント

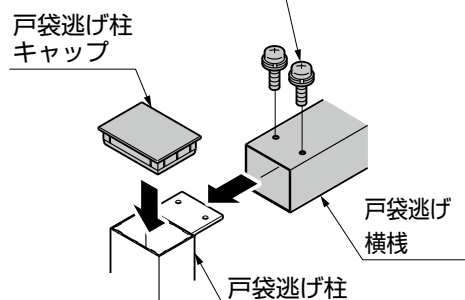
- 指定個所には、必ずシーリングを充てんしてください。

- ③ 戸袋逃げ柱調整棧躯体取付アングルを躯体に【24-3】で取付けてください。



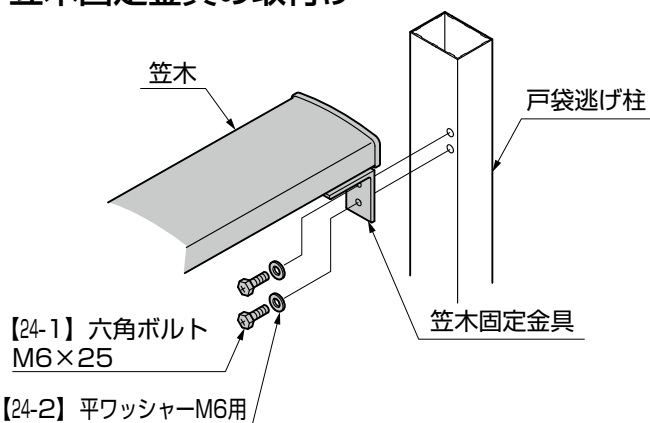
- ④ 戸袋逃げ柱を戸袋逃げ柱下部固定金具と戸袋逃げ柱キャップに【24-5】で取付けてください。

【24-5】
ナベ小ねじ (Wセムス) M5×14



- ② 戸袋逃げ横棧を戸袋逃げ柱上部固定アングルに【24-5】で取付けてください。
- ③ 戸袋逃げ柱に戸袋逃げ柱キャップを取付けてください。

5 笠木固定金具の取付け

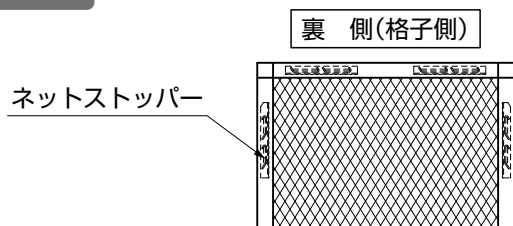


- ① 笠木固定金具を戸袋逃げ柱に【24-1】【24-2】で取付けてください。

6 足掛かり防止ネットの施工

1 取付け位置の確認

ポイント



- 足掛かり防止ネットには表裏があります。ネットストッパーがついている側が裏側になります。

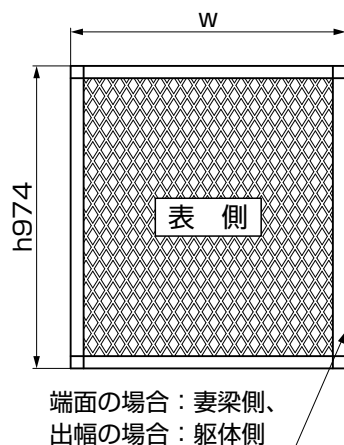


図6-1

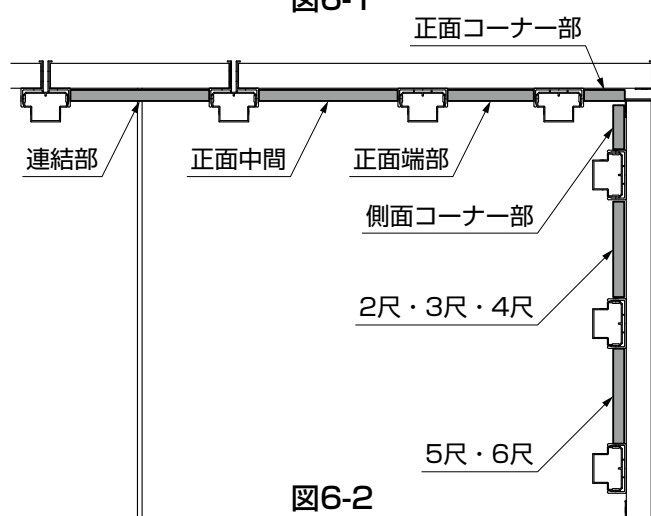


図6-2

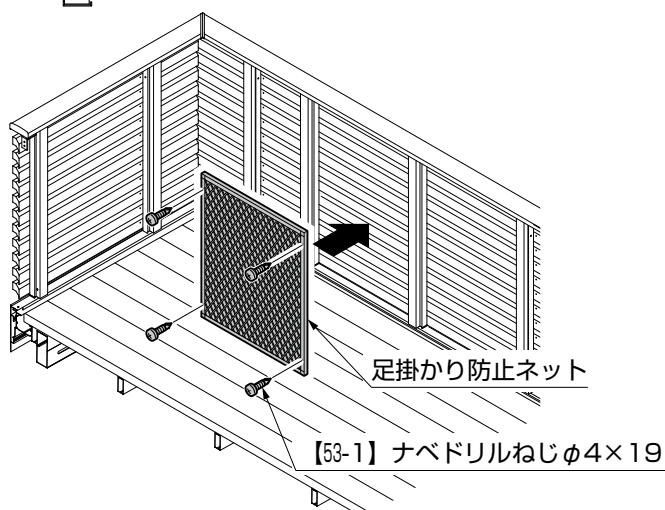
表6-1

		W寸法
関東間	正面中間	844
	正面端部	299
	連結部	844
	正面コーナー部	100
メーターモジュール	正面中間	934
	正面端部	344
	連結部	934
	正面コーナー部	100
2尺	側面コーナー部(前桁側)	115
	躯体側	224
3尺	側面コーナー部(前桁側)	115
	躯体側	524
4尺	側面コーナー部(前桁側)	115
	躯体側	824
5尺	側面コーナー部(前桁側)	115
	中間	524
	躯体側	534
6尺	側面コーナー部(前桁側)	115
	中間	824
	躯体側	534

- ①図6-1、図6-2、表6-1を参照して足掛け防止ネットの取付け位置を確認してください。

2 足掛かり防止ネットの取付け

- ①足掛かり防止ネットを面材に【53-1】で取付けてください。



注意

取付け位置は必ず図6-3～8のとおりに取り付けてください。指を挟む原因になります。

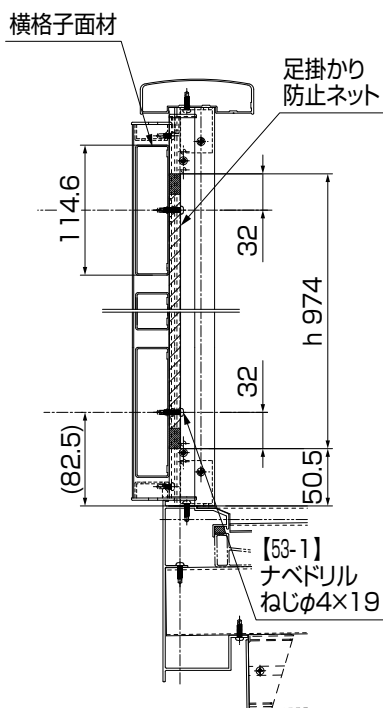


図6-3 横格子面材

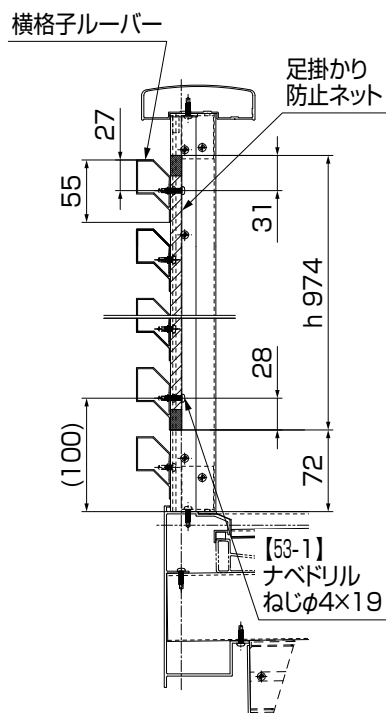


図6-4 横格子ルーバー

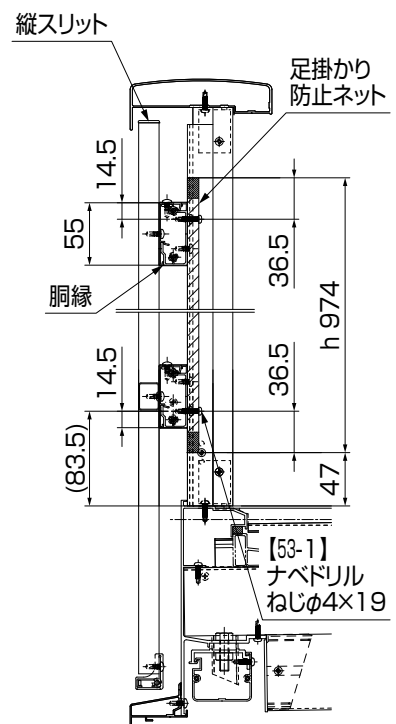


図6-5 縦スリット

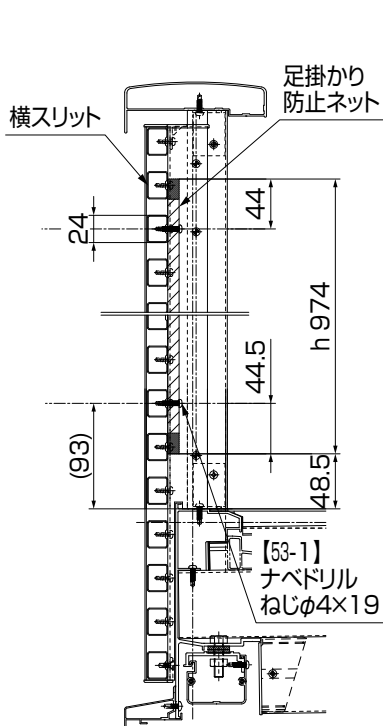


図6-6 横スリット

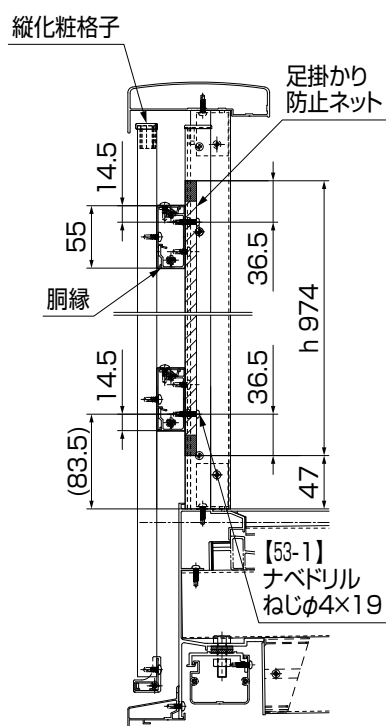


図6-7 縦化粧格子

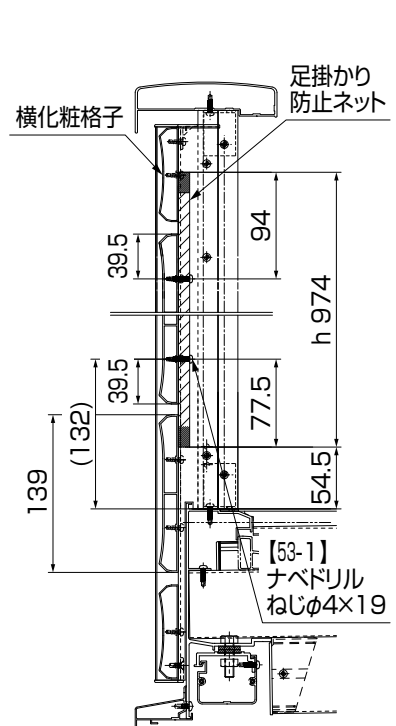
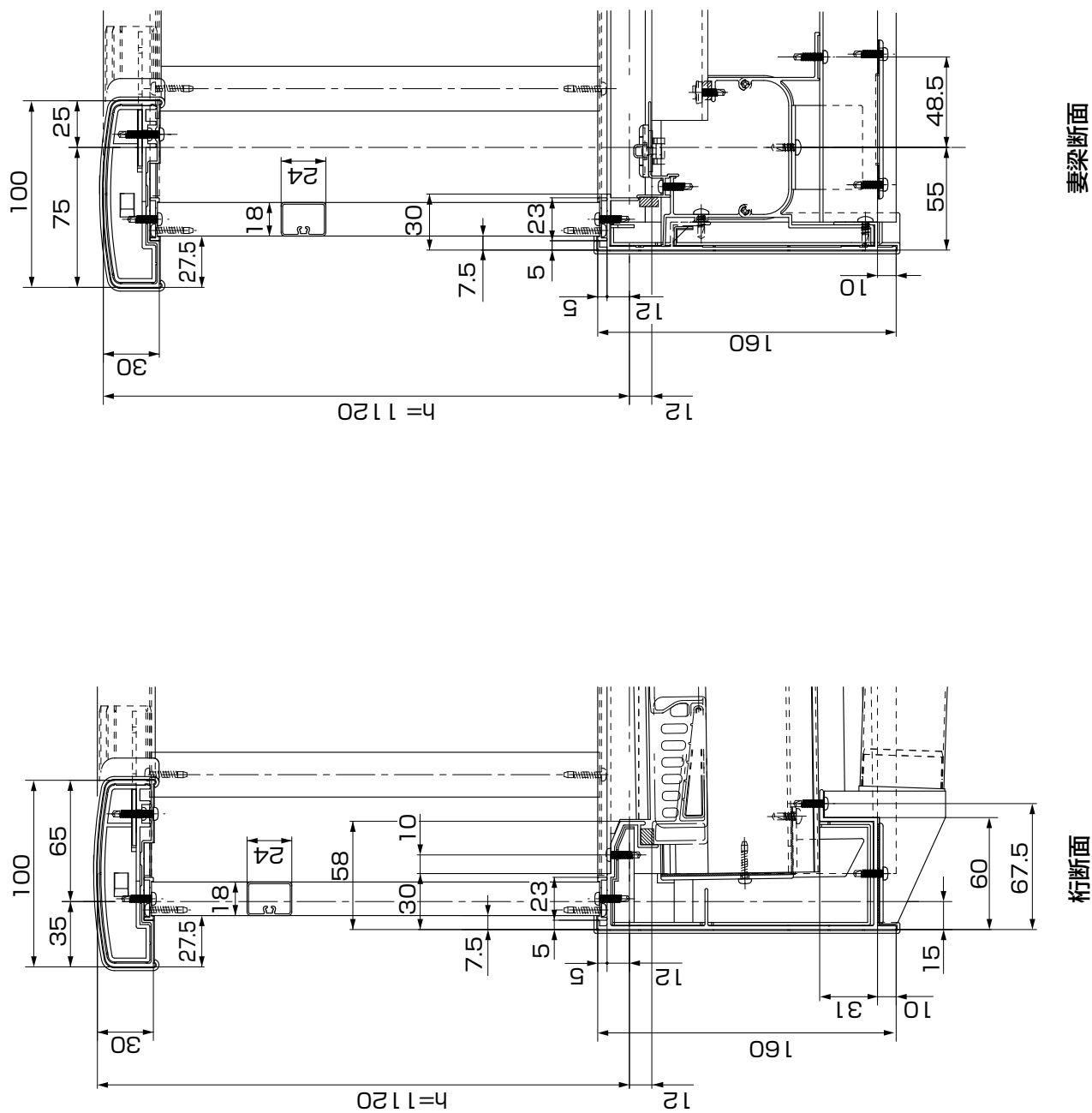


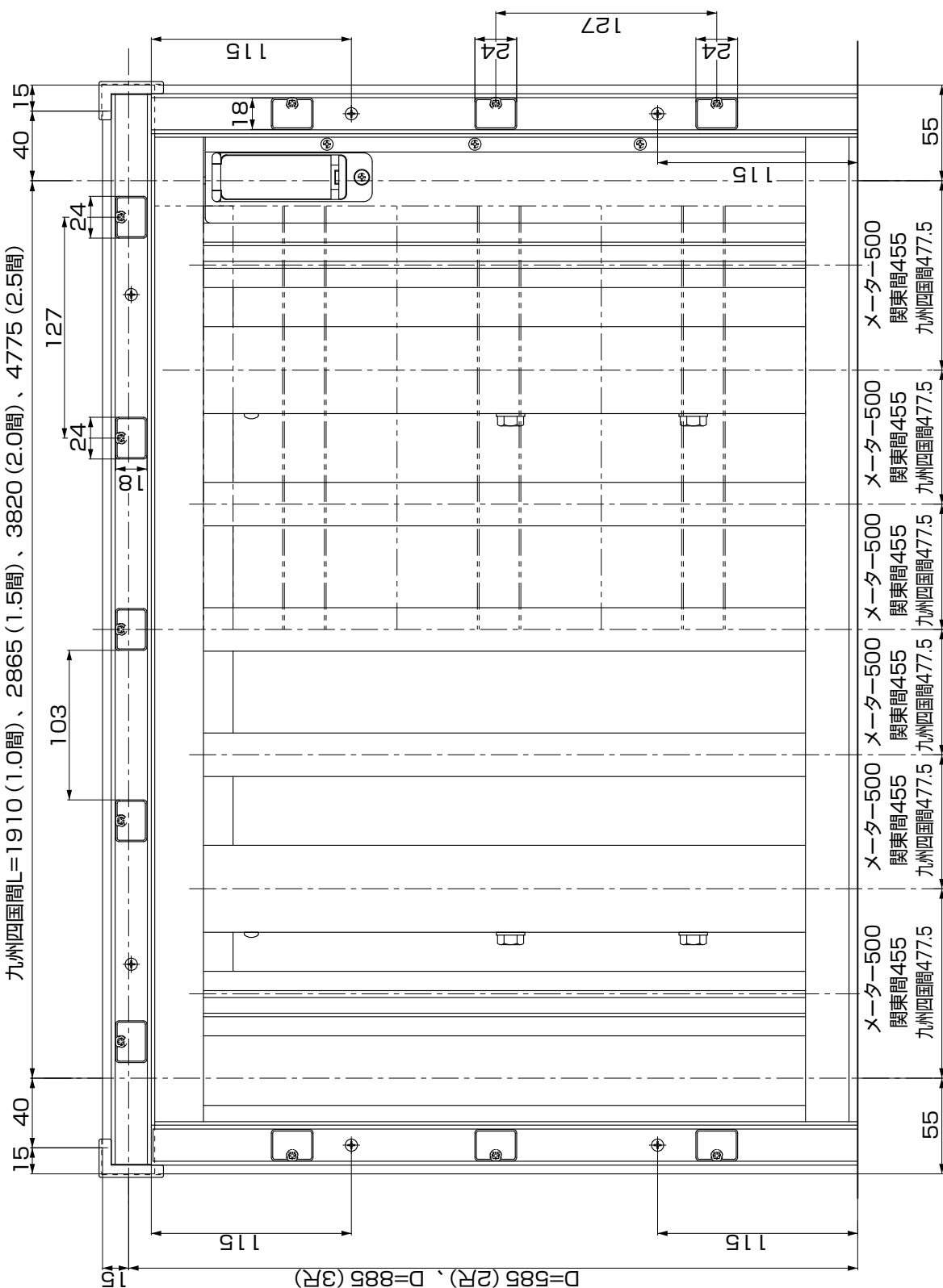
図6-8 横化粧格子

7 納まり図

●縦格子



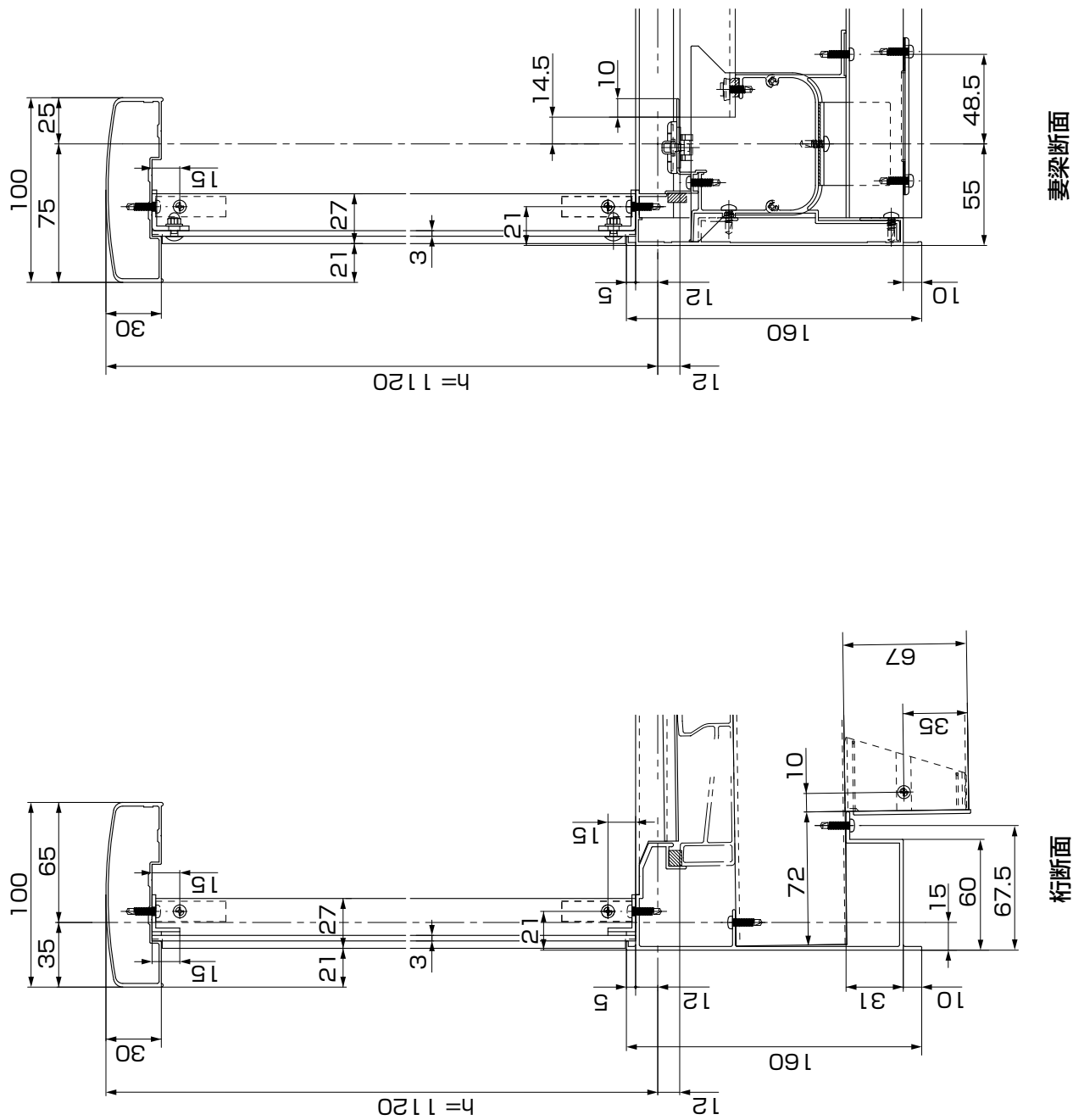
メーターL=2000 (2000)、3000 (3000)、4000 (4000)、5000 (5000)
 関東間L=1820 (1.0間)、2730 (1.5間)、3640 (2.0間)、4550 (2.5間)
 九州四国間L=1910 (1.0間)、2865 (1.5間)、3820 (2.0間)、4775 (2.5間)



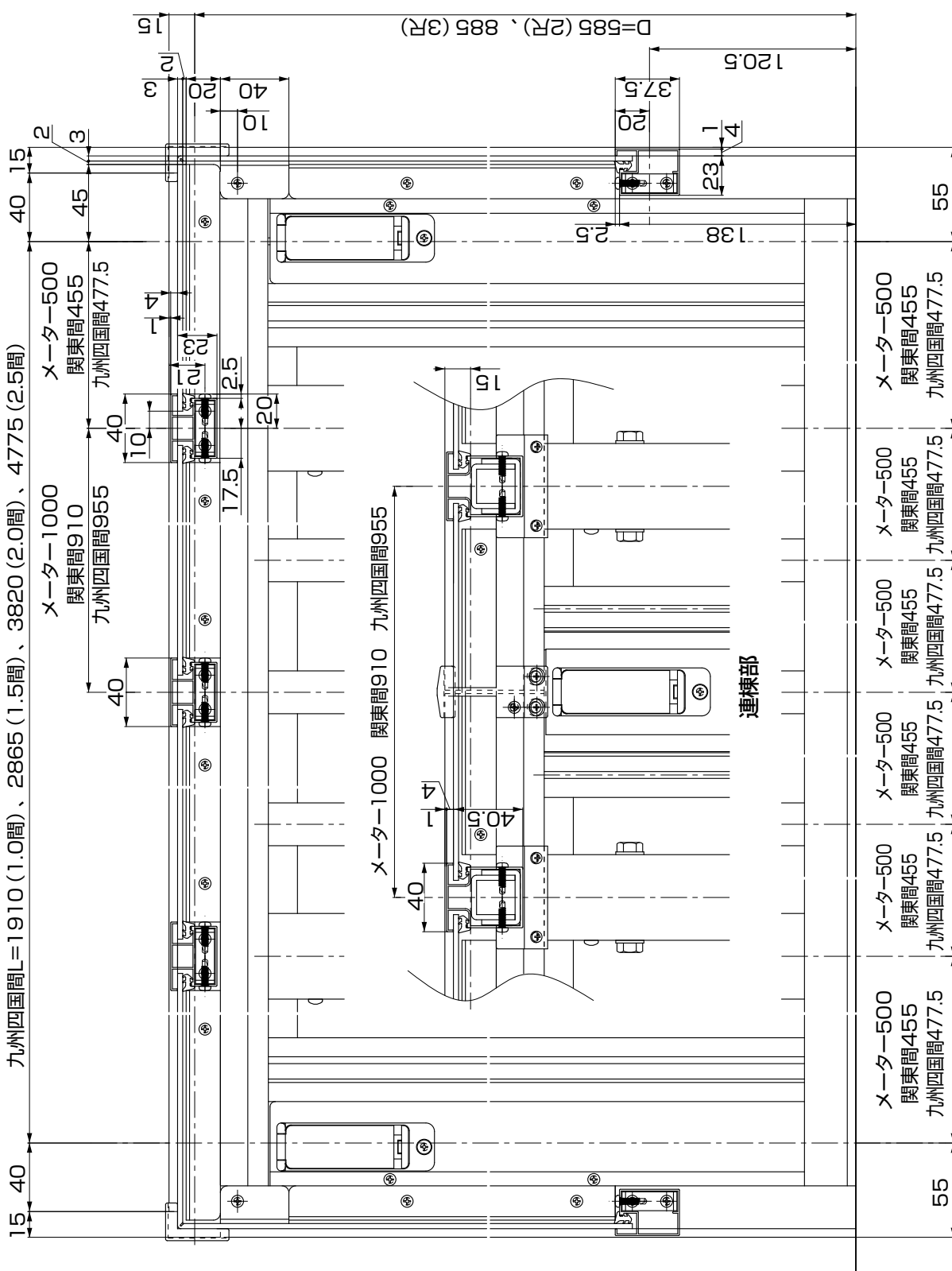
上面図

7 納まり図 (つづき)

●パンチングパネル



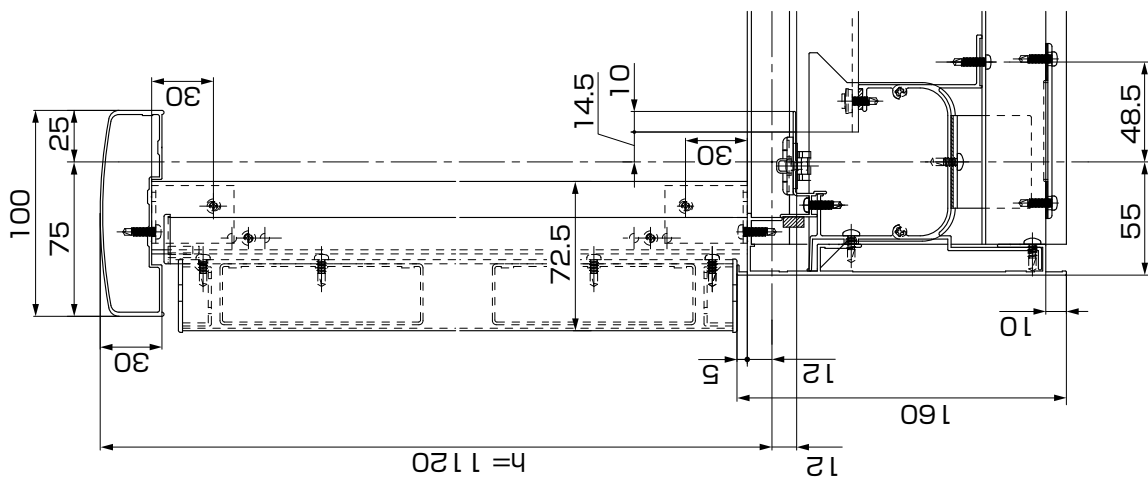
メーター-L=2000 (2000)、3000 (3000)、4000 (4000)、5000 (5000)
 関東間L=1820 (1.0間)、2730 (1.5間)、3640 (2.0間)、4550 (2.5間)
 九州四国間L=1910 (1.0間)、2865 (1.5間)、3820 (2.0間)、4775 (2.5間)



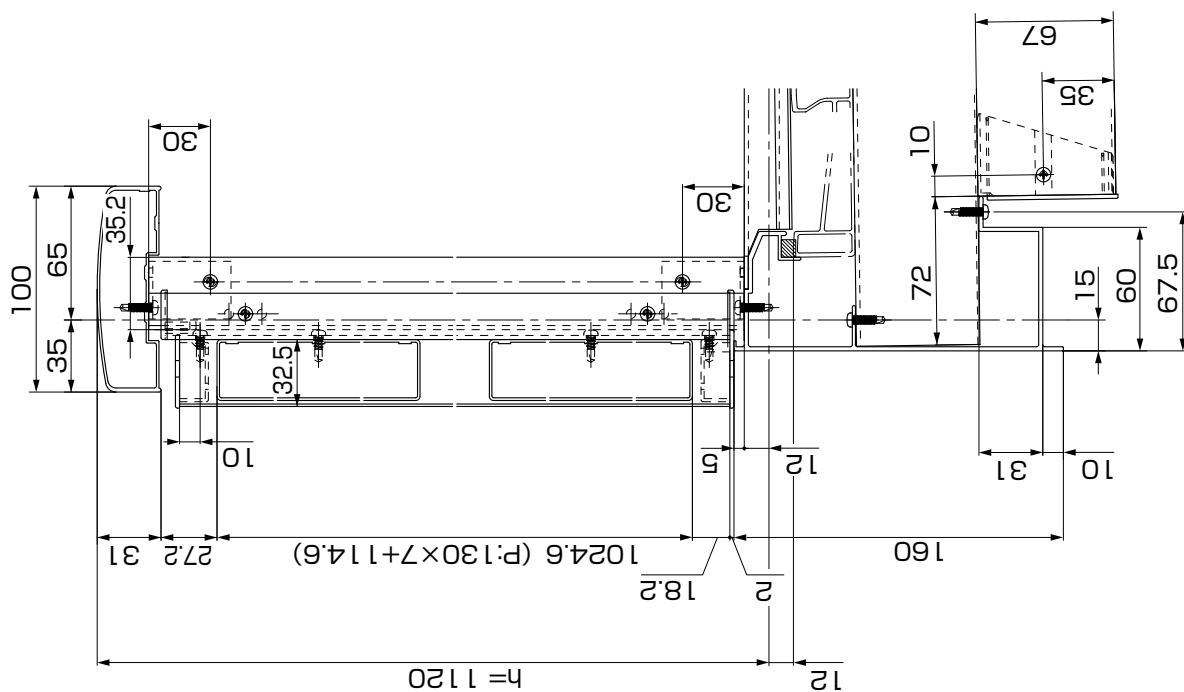
上面図

7 納まり図 (つづき)

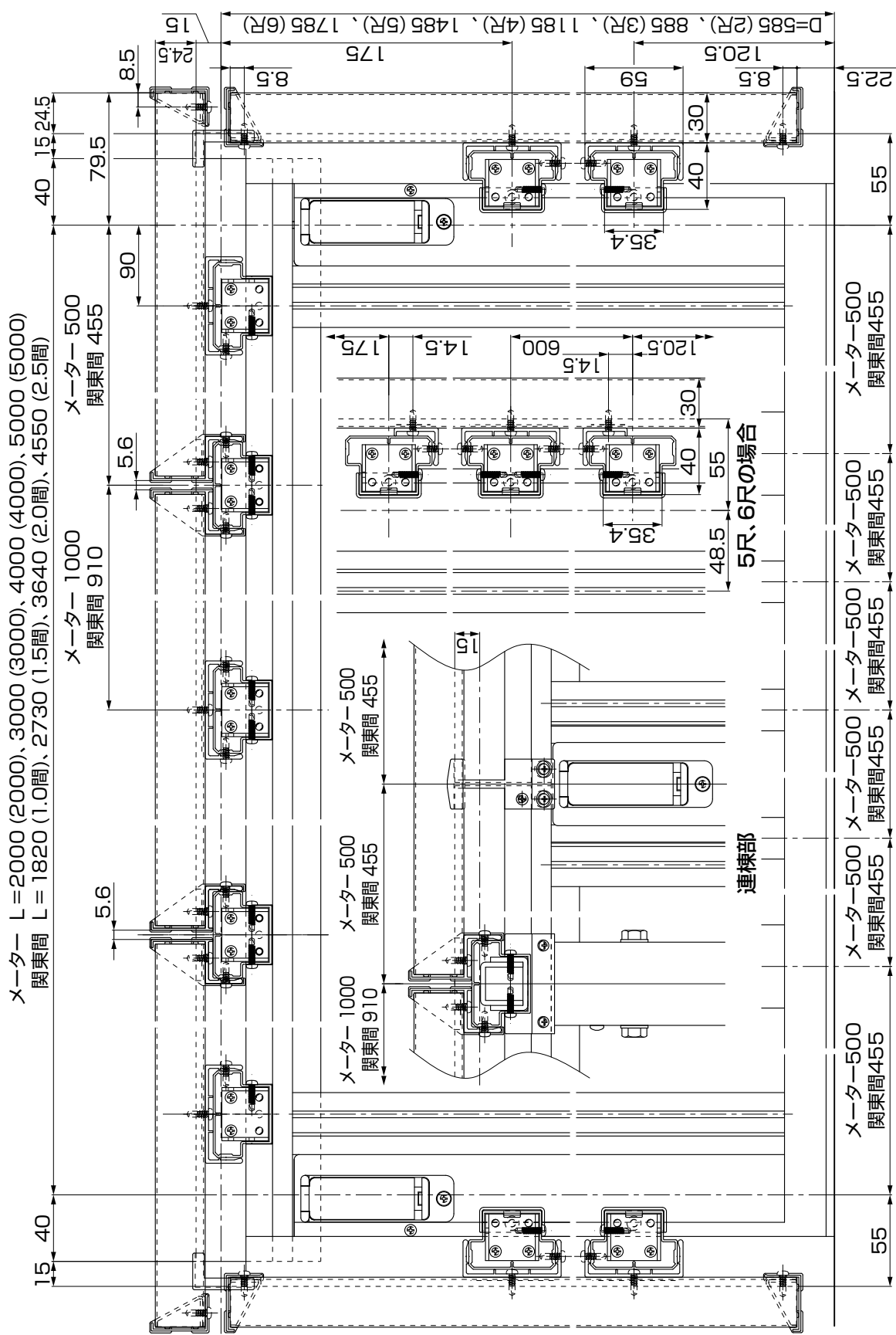
● 横格子面材



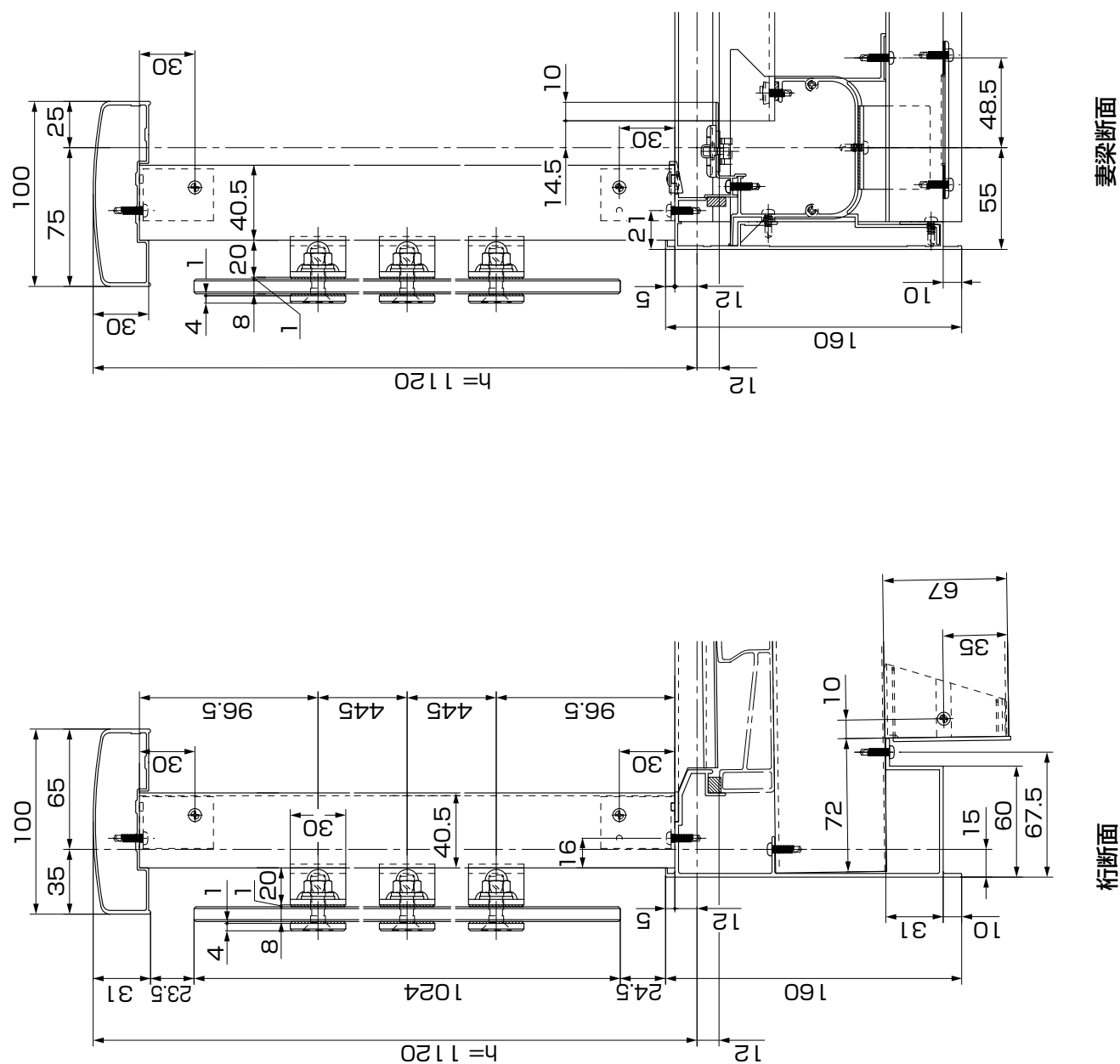
妻梁断面



桁断面



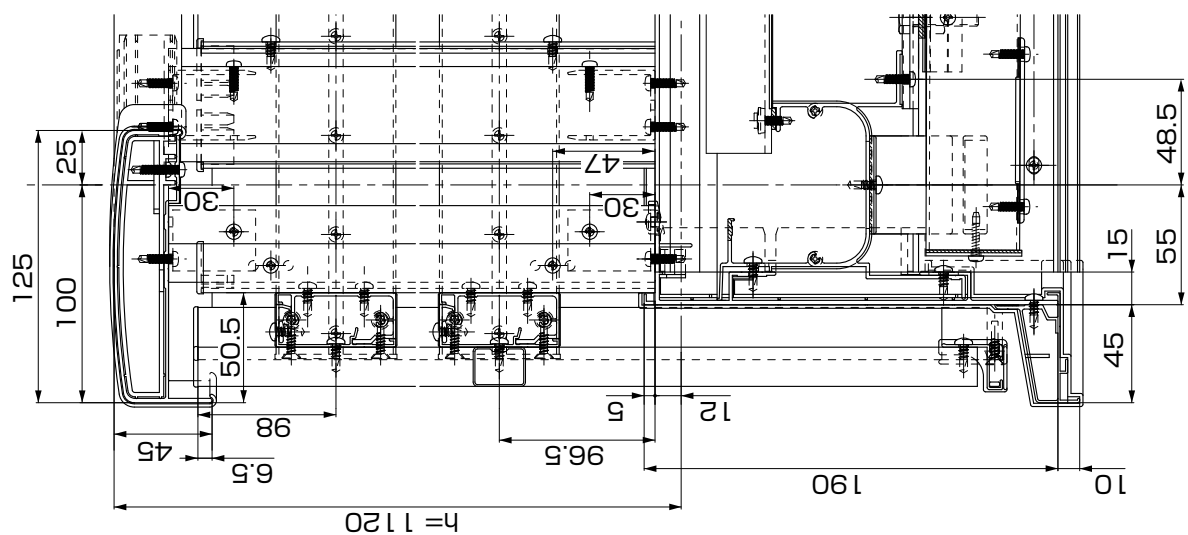
7 納まり図(つづき)



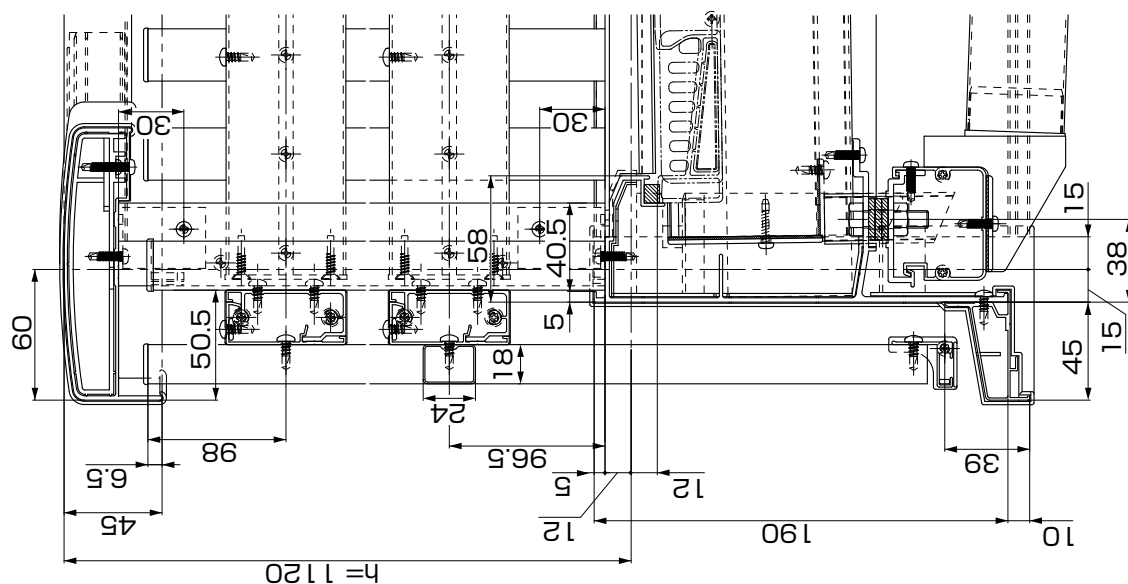
●スウェーデン●

7 納まり図 (つづき)

●縦スリット

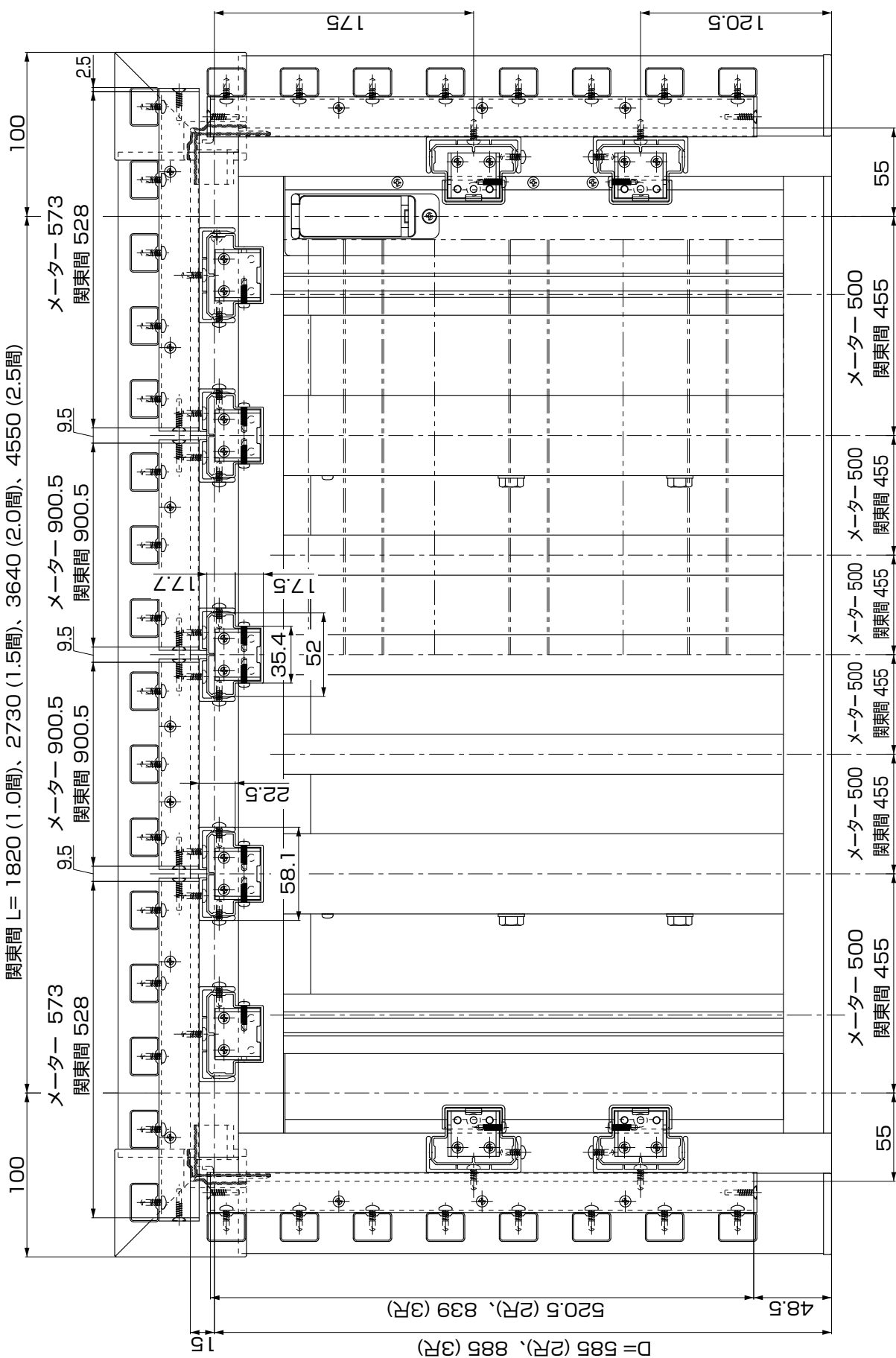


縦断面



桁断面

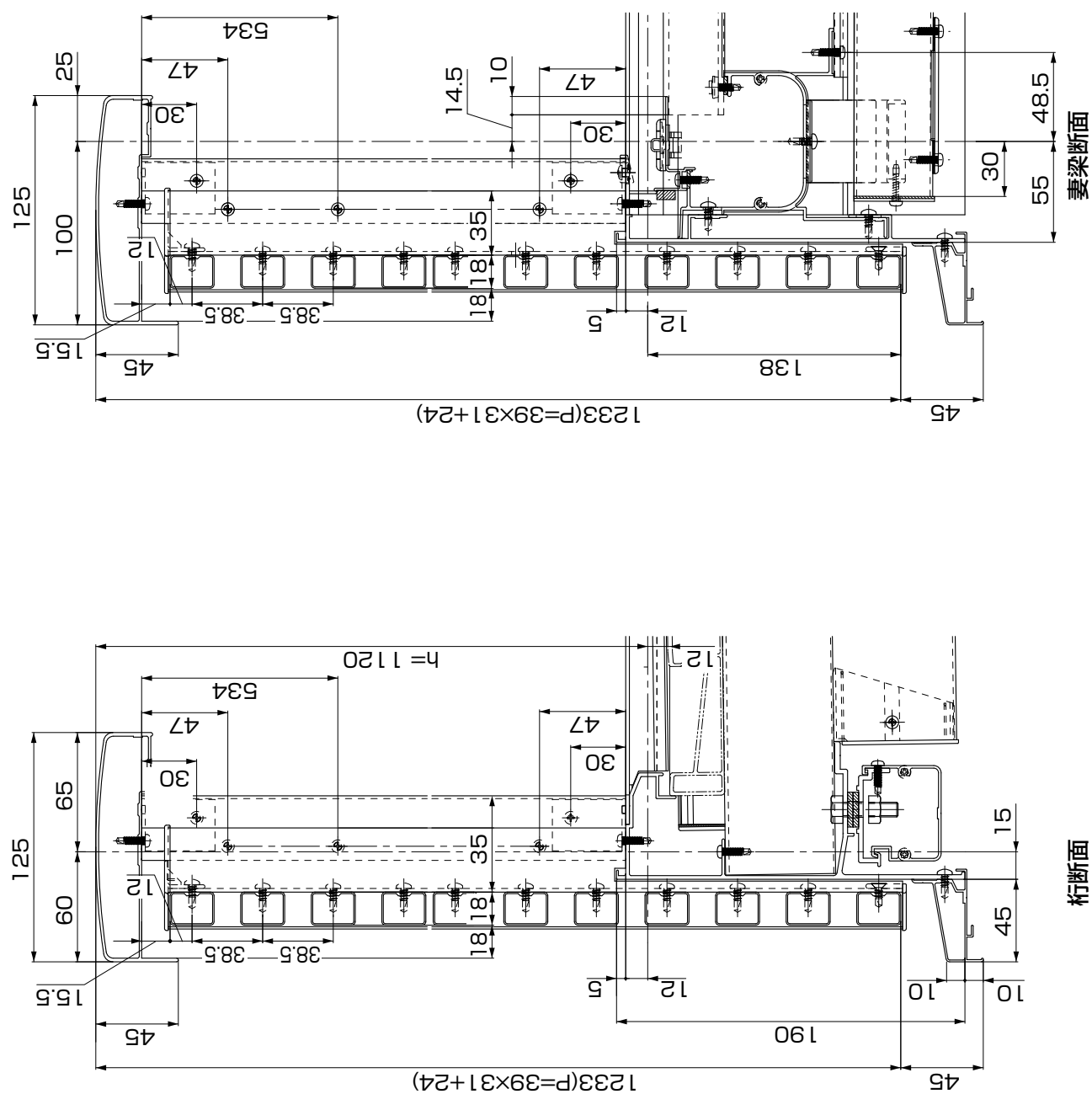
メーター L= 2000 (2000)、3000 (3000)、4000 (4000)、5000 (5000)
 関東間 L= 1820 (1.0間)、2730 (1.5間)、3640 (2.0間)、4550 (2.5間)

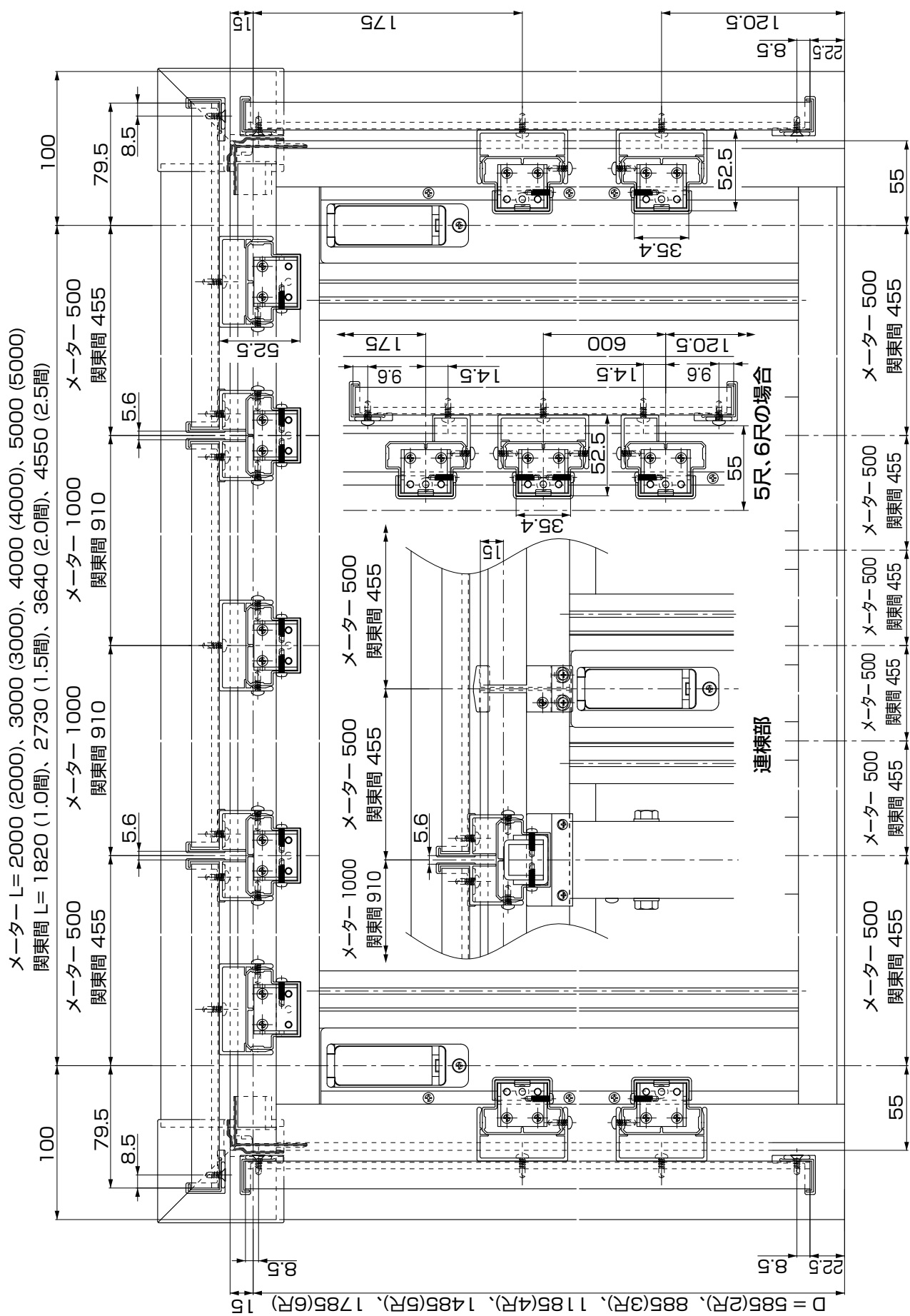


上面図

7 納まり図 (つづき)

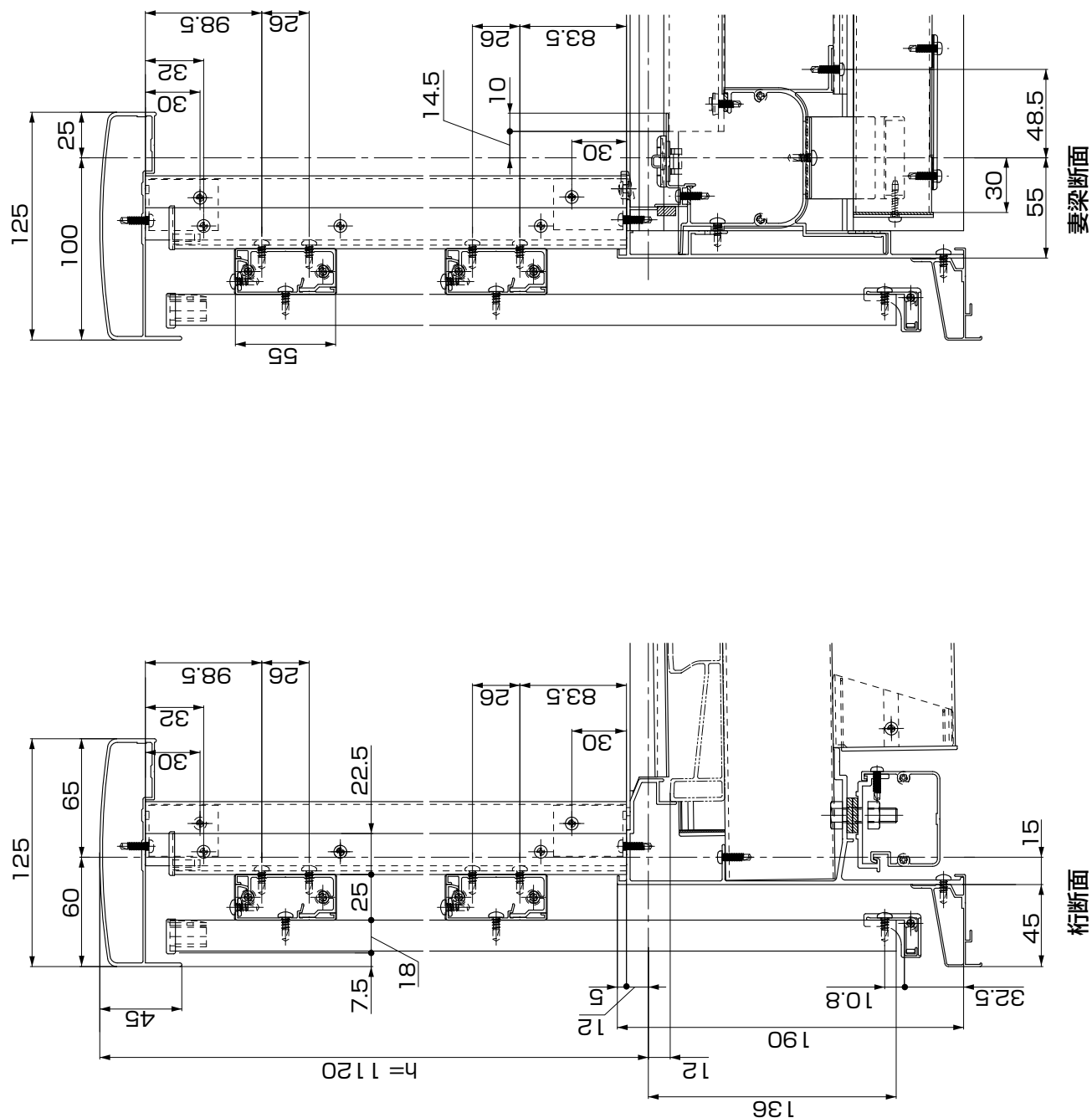
●横スリット

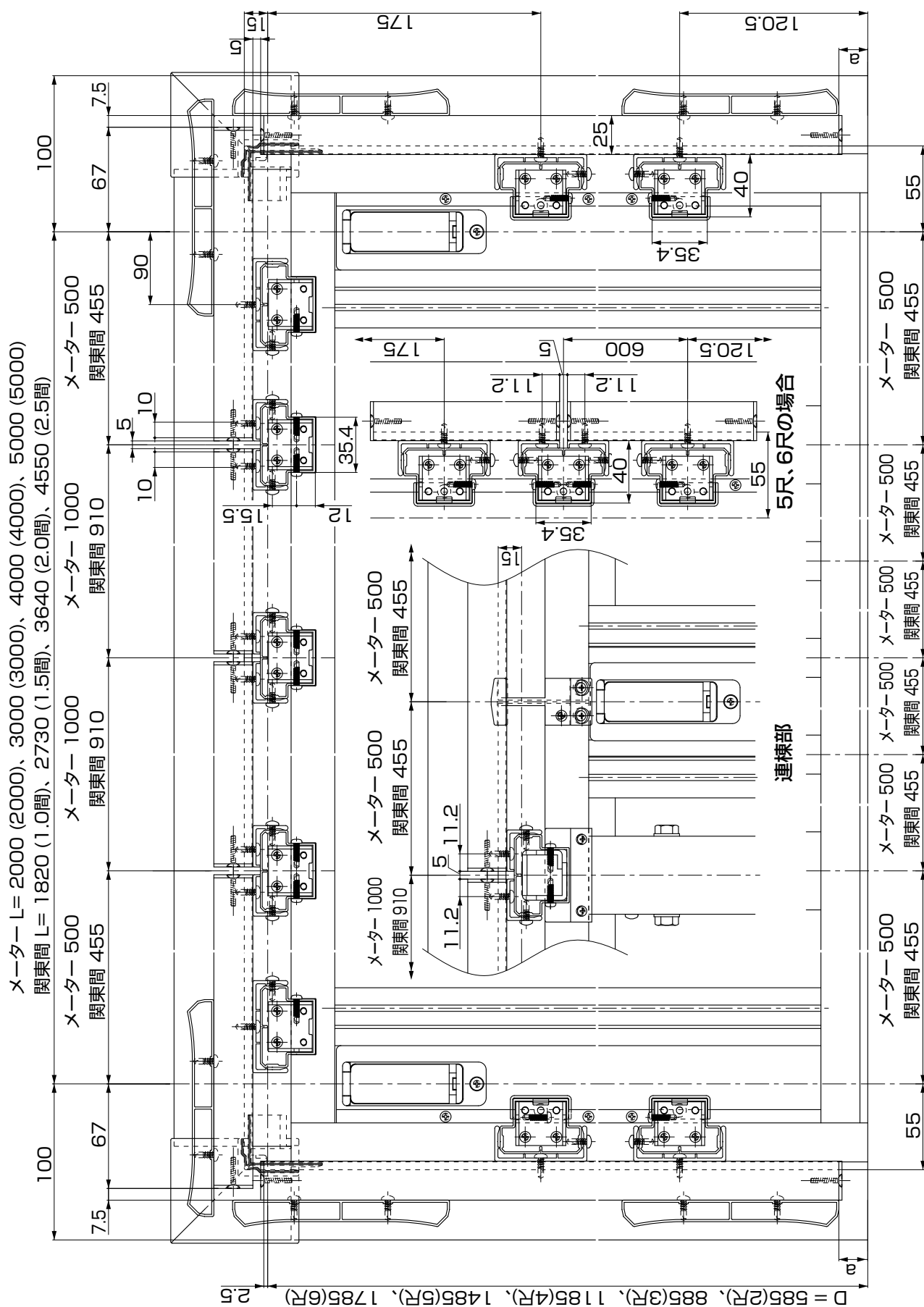




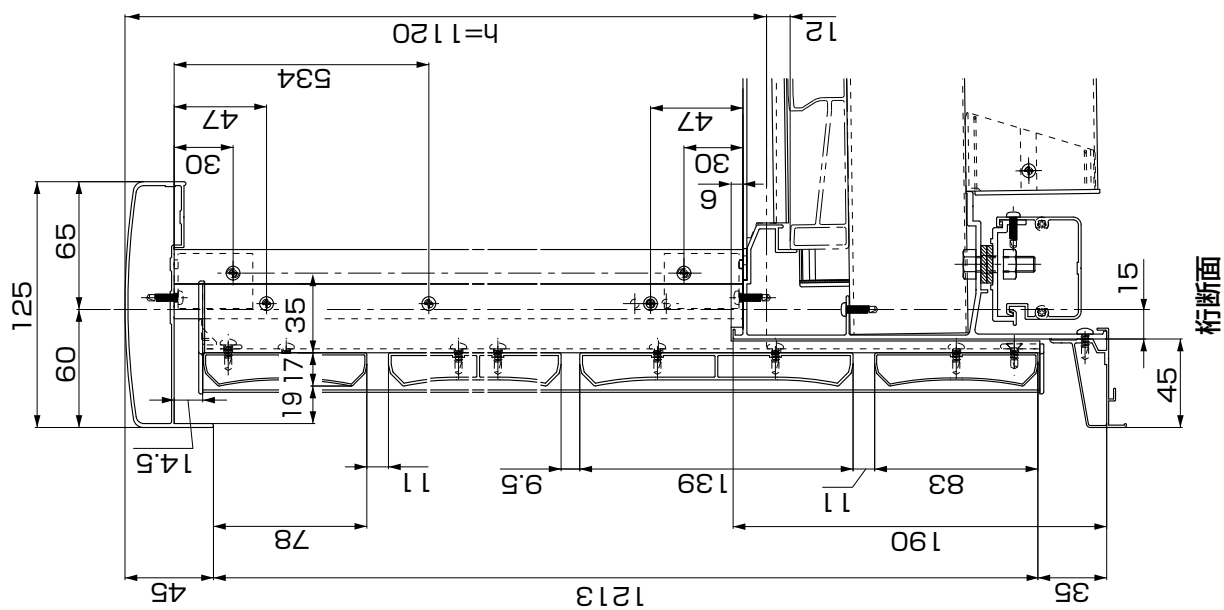
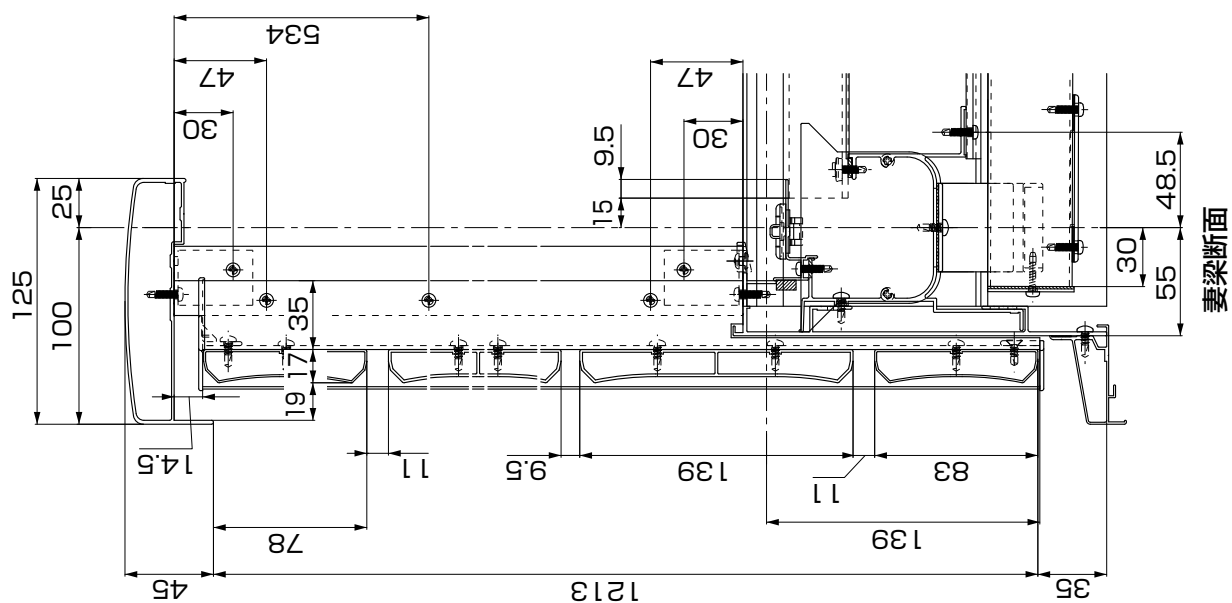
7 納まり図 (つづき)

●縦化粧格子

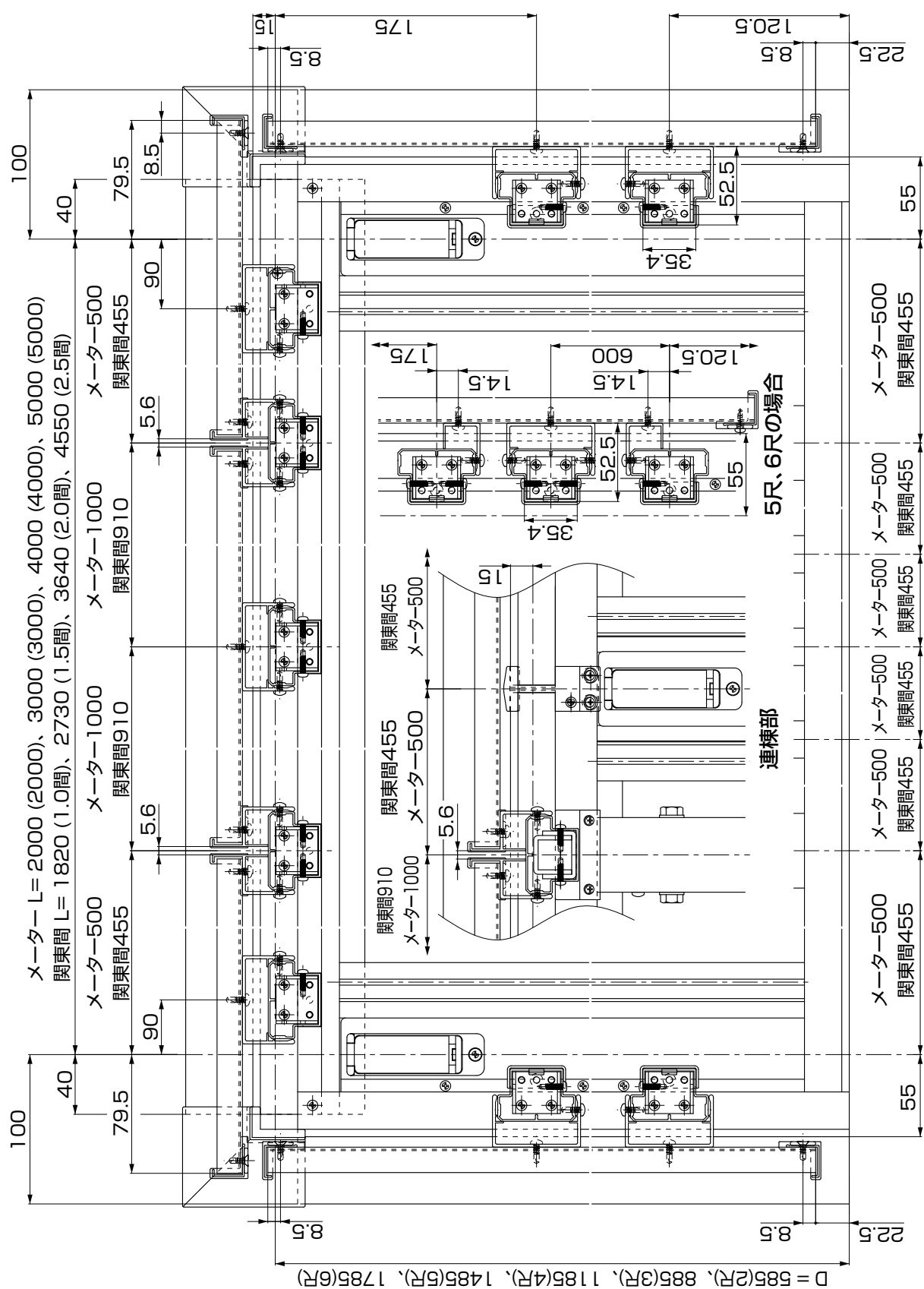




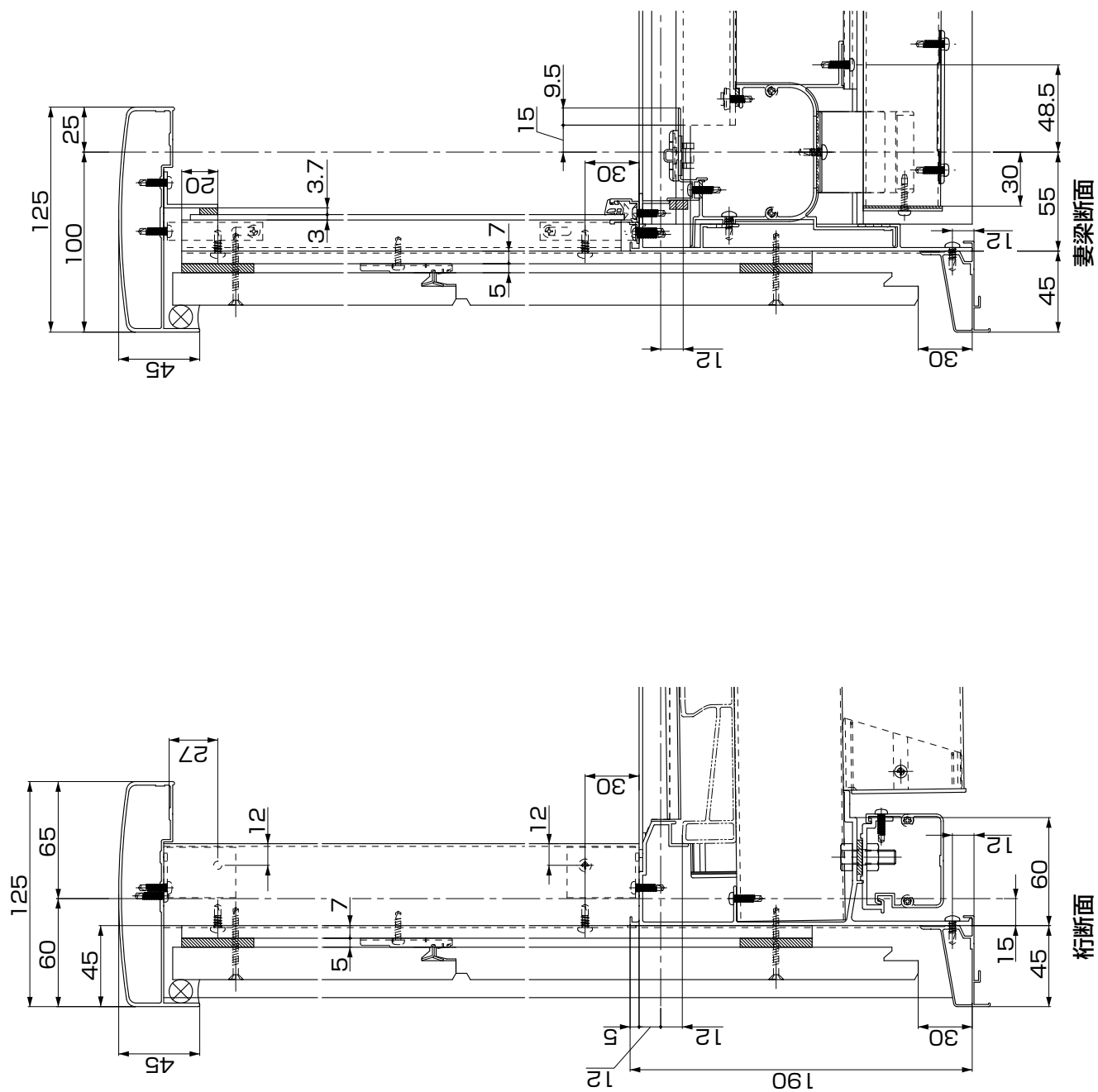
7 納まり図 (つづき)



●横化粧格子



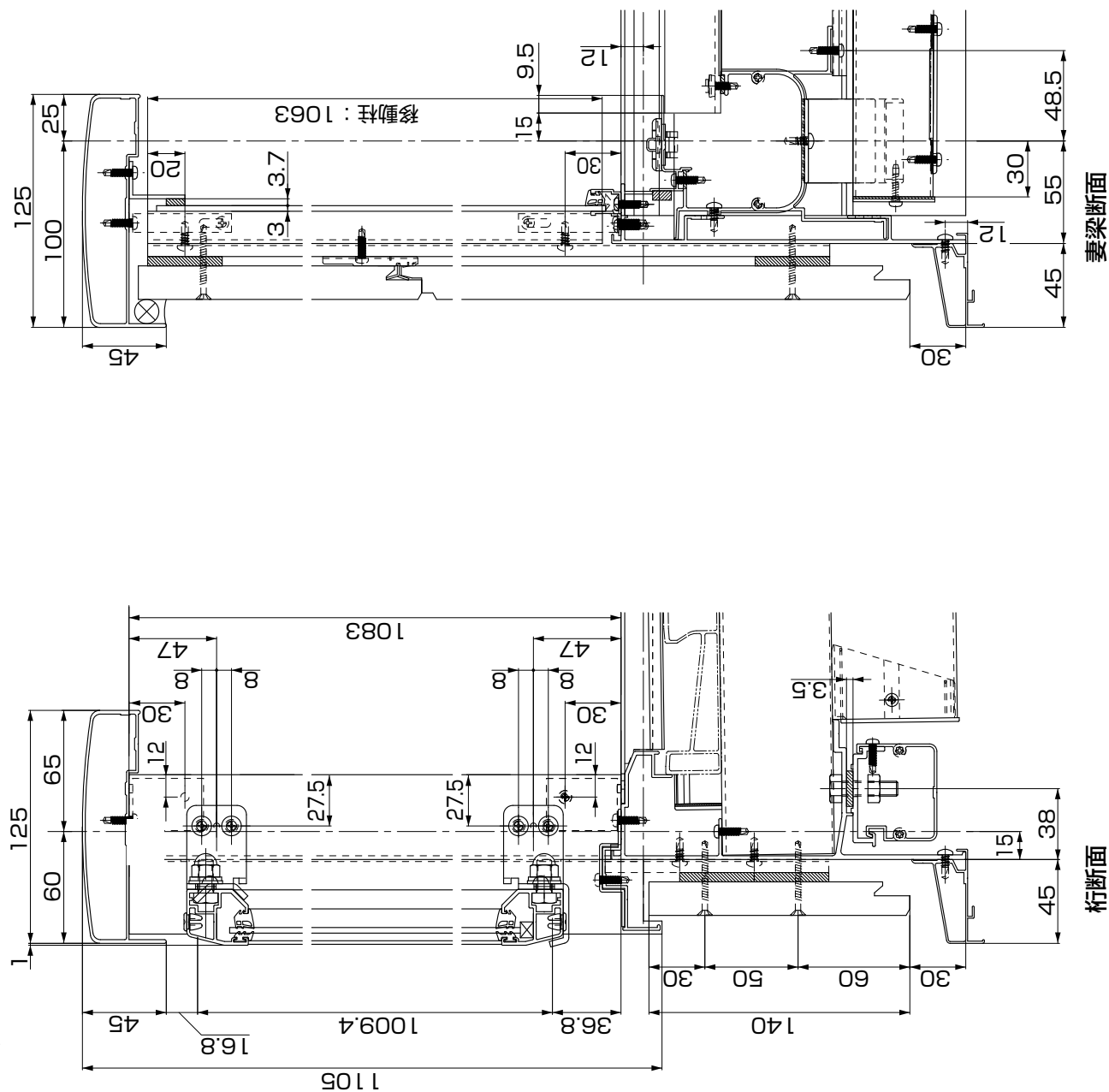
7 納まり図(つづき)



●全面サイディング

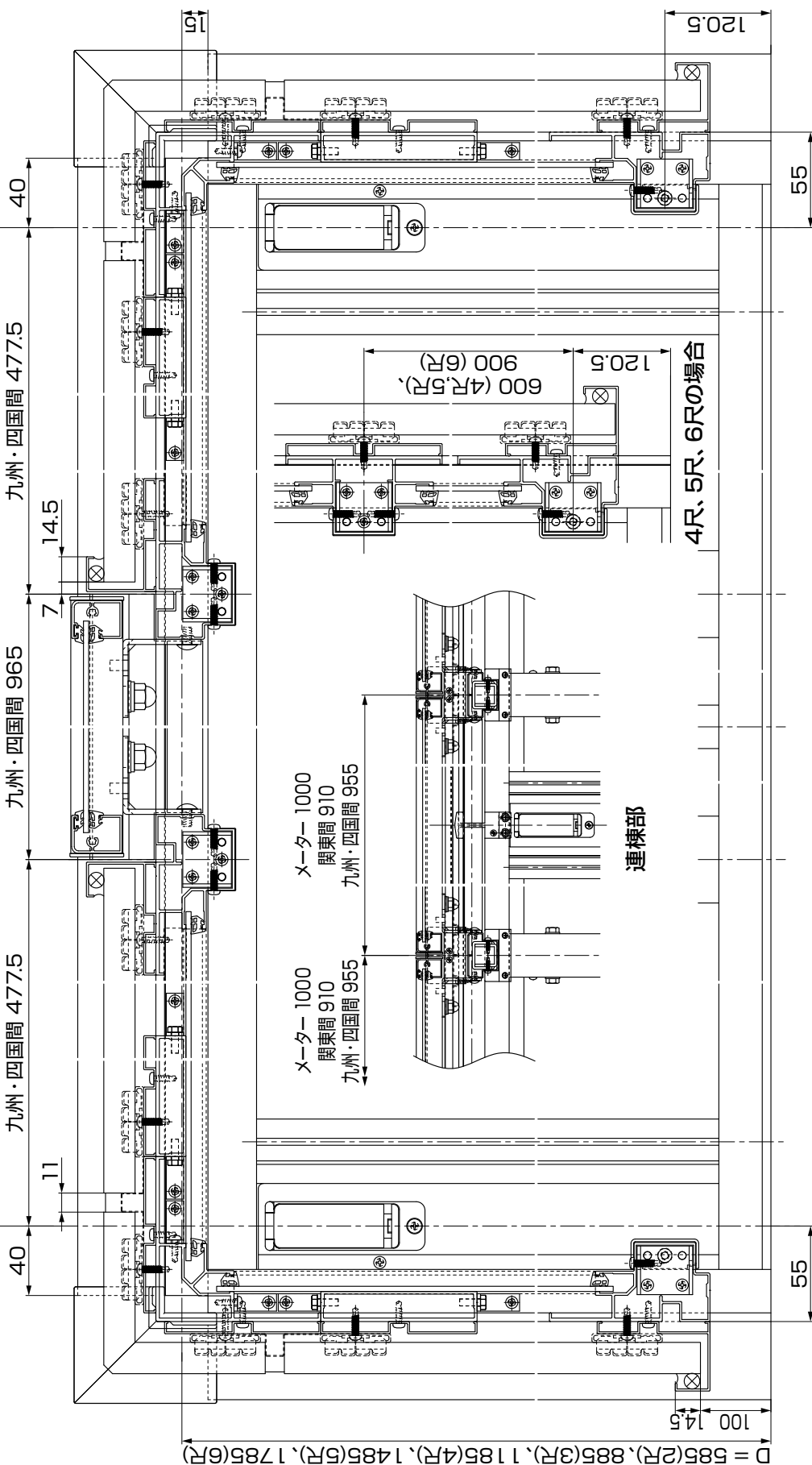
7 納まり図 (つづき)

●サイディング+パンチング



X-ター L=2000 (2000)、3000 (3000)、4000 (4000)、5000 (5000)
 関東間 L=1820 (1.0間)、2730 (1.5間)、3640 (2.0間)、4550 (2.5間)
 九州・四国間 L=1920 (1.0間)、2865 (1.5間)、3820 (2.0間)、4775 (2.5間)

X-ター 500 関東間 455 九州・四国間 477.5
 X-ター 1000 関東間 910 九州・四国間 965



上面図

株式会社 LIXIL

